

深谷市 子どもの生活に関する実態調査

【分析報告書】

目 次

1	保護者の生活状況.....	1
1.1	経済的な状況、暮らしの状況.....	1
	(1) 世帯全体の年間収入.....	1
	(2) 暮らしの認識について.....	3
	(3) 食料が買えなかった経験.....	4
	(4) 衣服が買えなかった経験.....	5
	(5) 公共料金における未払いの経験.....	6
	(6) 養育費の取り決めの有無.....	7
1.2	就労の状況.....	8
	(1) 母親の就労状況.....	8
	(2) 父親の就労状況.....	9
1.3	子どもとの関わり方.....	10
	(1) テレビ等のルールについて.....	10
	(2) 本や新聞を読むことについて.....	11
	(3) 絵本の読み聞かせについて.....	12
	(4) 勉強や成績のことについて.....	13
	(5) 一緒に食事をとることについて.....	14
	(6) 休日、一緒に過ごすことについて.....	15
1.4	学校との関わり・参加.....	16
	(1) 学校行事への参加.....	16
	(2) PTA活動等への参加.....	17
	(3) 放課後学習支援等のボランティアなどへの参加.....	18
1.5	進学期待・展望.....	19
	(1) 子どもの進学段階の展望.....	19
	(2) 子どもの進学段階の展望の理由.....	20
1.6	頼れる人の有無・相談相手.....	21
	(1) 子育てに関する相談.....	21
	(2) 重要な事柄の相談.....	24
	(3) いざという時のお金の相談.....	27
2	子どもの生活状況、貧困の連鎖リスク発生状況.....	30
2.1	学習の状況.....	30
	(1) ふだんの勉強の仕方.....	30
	(2) 1日あたりの勉強時間.....	34
	(3) クラスの中での成績.....	38
	(4) 授業の理解度.....	40
	(5) 授業がわからなくなった時期.....	43
2.2	進学希望.....	45

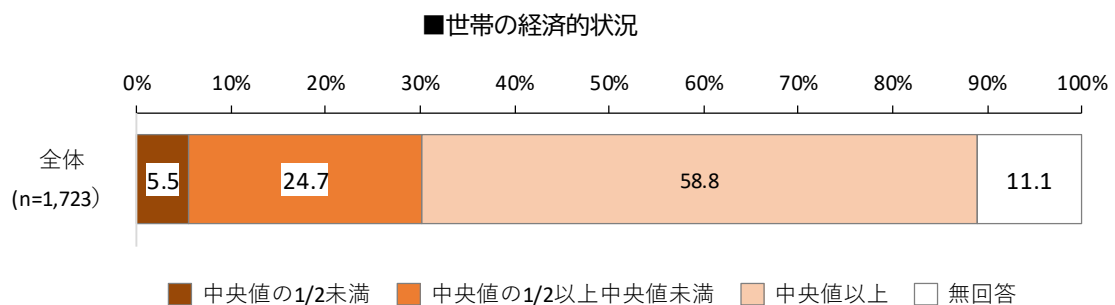
(1) 進学したいと思う教育段階.....	45
(2) 進学希望の教育段階についてそう考える理由.....	47
2.3 地域活動や部活動等への参加状況.....	51
(1) 地域活動や部活動等への参加状況.....	51
(2) 部活動等に参加していない理由.....	53
2.4 日常的な生活の状況.....	57
(1) 食事の摂取状況.....	57
(2) 孤食の状況.....	63
(3) 就寝時間.....	67
(4) 家族との関わり.....	70
(5) 相談できると思う相手.....	78
(6) 気持ちや考えの表明.....	82
(7) 生活満足度.....	84
2.5 子どもの心理的な状態.....	86
(1) 自分自身について.....	86
(2) 情緒の問題.....	96
(3) 仲間関係の問題.....	98
(4) 向社会性.....	100
(5) 逆境体験.....	102
3 支援制度の利用状況.....	105
3.1 保護者の利用状況.....	105
(1) 就学援助.....	105
(2) 生活保護.....	107
(3) 生活困窮者の自立支援相談窓口.....	109
(4) 児童扶養手当.....	111
(5) 母子家庭等就業・自立支援センター.....	113
3.2 子どもの利用状況.....	115
(1) 晩ごはんを無料か安く食べることができる場所.....	115
(2) 勉強を無料でみてくれる場所.....	117
(3) 何でも相談できる場所.....	119

1 保護者の生活状況

1.1 経済的な状況、暮らしの状況

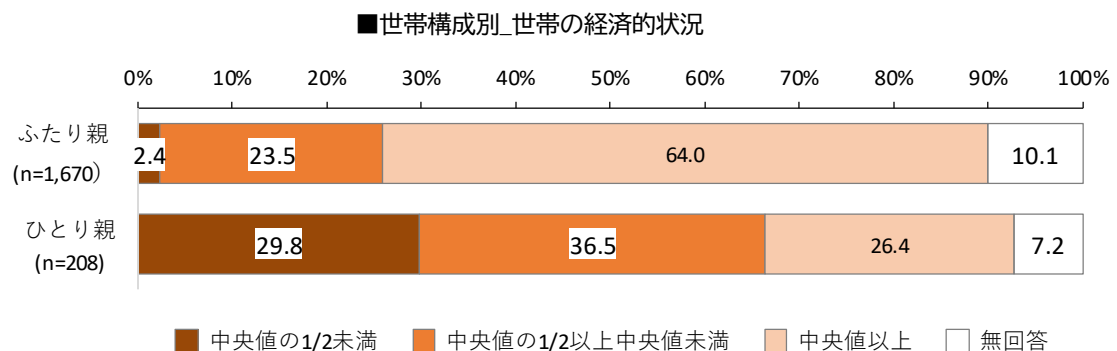
(1) 世帯全体の年間収入

- 世帯全体のおおよその年間収入と同居家族の人数から等価世帯収入を算出し、経済的状況を区分すると、等価世帯収入が中央値※の2分の1未満の世帯が5.5%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯が24.7%、中央値以上の世帯が58.8%となっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、中央値の2分の1未満の世帯が29.8%、中央値の2分の1以上中央値未満の世帯が36.5%と高く、7割弱の世帯が中央値未満となっています。



(参考) 国調査 (R3) の結果

	中央値の1/2未満	中央値の1/2以上 中央値未満	中央値以上
n			
2,623	12.9	36.9	50.2



(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	中央値の1/2未満	中央値の1/2以上 中央値未満	中央値以上
全体	2,623	12.9	36.9	50.2
ふたり親	1,670	7.5	36.7	55.8
ひとり親	208	50.2	37.5	12.3

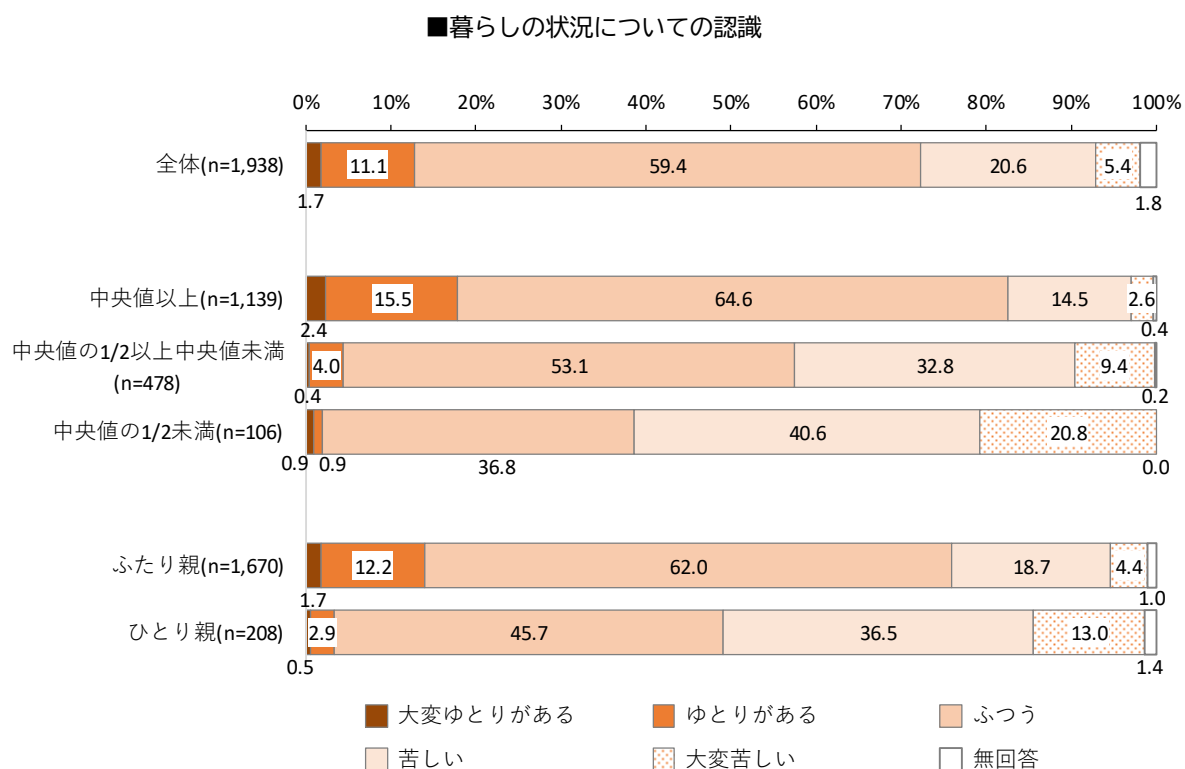
本調査における経済的状況について、保護者アンケート問2の回答(家族の人数)及び問 23 の回答(年収)により世帯の等価可処分所得を算出し、以下の基準により区分しました。なお、各選択肢の中央値をその世帯の収入の値として判別しています。

世帯人員数(人)		2	3	4	5	6	7	8	9	10
等価可処分所得が中央値の1/2(貧困線)※(万円)		180	220	254	284	311	336	359	381	402
該当する選択肢	中央値の1/2	1～4		1～5	1～6		1～7		1～8	
	中央値の1/2以上 中央値未満	5～7	5～9	6～10	7～11		8～12		9～13	
	中央値以上	8～	10～	11～	12～		13～		14～	

※2022(令和4)年 国民生活基礎調査の結果(2021(令和3)年所得分)

(2) 暮らしの認識について

- 現在の暮らしの状況についてどのように感じているかについて、「大変ゆとりがある」が1.7%、「ゆとりがある」が11.1%、「ふつう」が59.4%、「苦しい」が20.6%、「大変苦しい」が5.4%となっています。
- 「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい』は26.0%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど『苦しい』の割合が高く、中央値の1/2未満の世帯では『苦しい』が61.4%となっています。
- 世帯構成別にみると、ふたり親世帯では『苦しい』が23.1%、ひとり親世帯では『苦しい』が49.5%となっています。

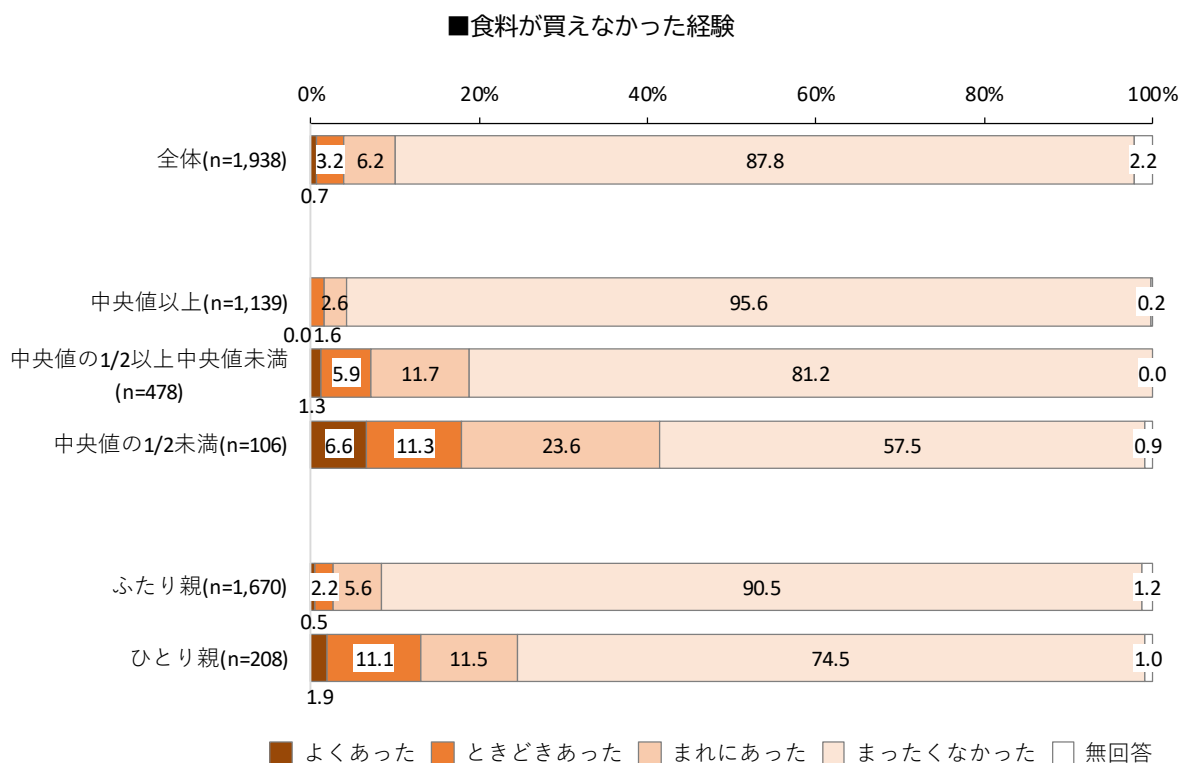


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
全体	2,715	1.5	14.0	58.5	19.7	5.6	0.7
中央値以上	1,312	2.7	24.9	63.3	7.3	1.7	—
中央値の1/2以上中央値未満	961	0.2	3.6	59.3	30.5	6.3	—
中央値の1/2未満	336	0.3	2.7	39.9	37.5	19.6	—
ふたり親	2,346	1.7	15.3	61.4	17.5	4.0	—
ひとり親	334	0.0	5.7	42.5	36.2	15.6	—

(3) 食料が買えなかった経験

- 過去1年間に必要とする食料が買えなかった経験の有無について、「よくあった」が0.7%、「ときどきあった」が3.2%、「まれにあった」が6.2%、「まったくなかった」が87.8%となっています。
- 「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた『あった』の割合は3.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど『あった』の割合が高く、中央値の1/2未満の世帯では、「よくあった」が6.6%、「ときどきあった」が11.3%で、合わせると17.9%の人が『あった』と回答しています。
- 世帯構成別にみると、ふたり親世帯では『あった』が2.7%、ひとり親世帯では『あった』が13.0%となっています。

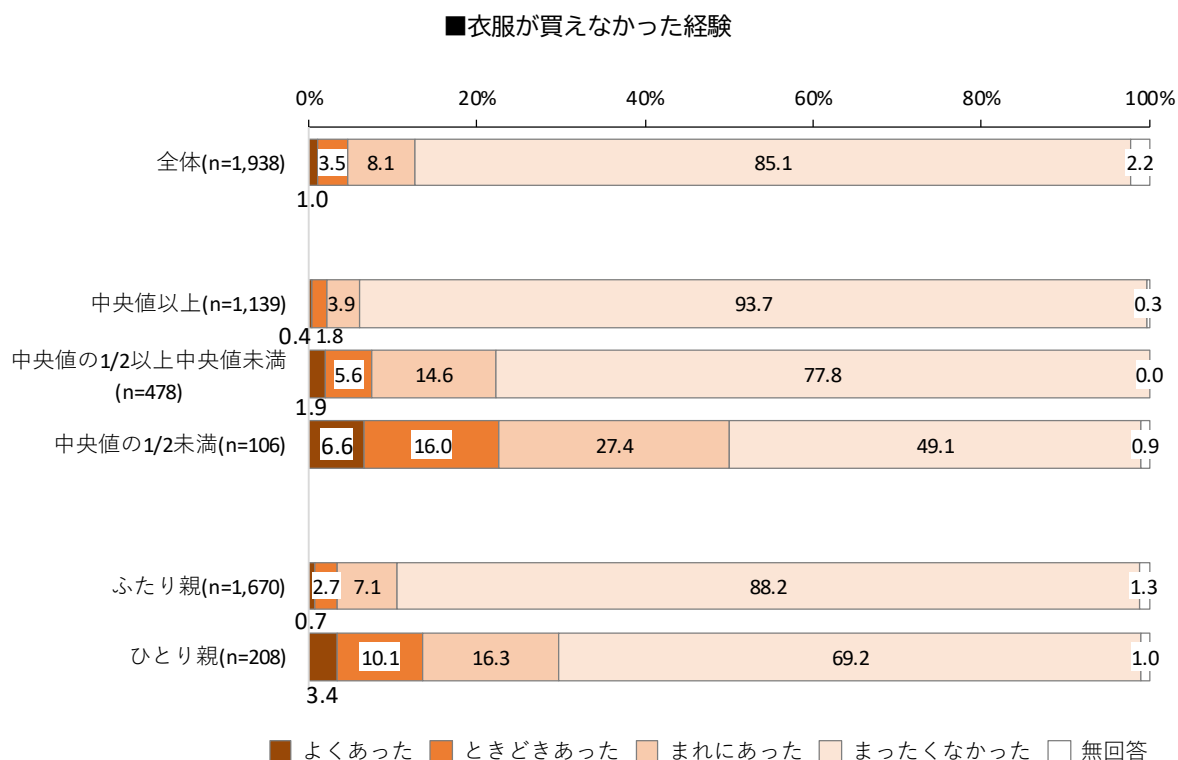


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全体	2,715	1.7	2.7	6.9	87.8	0.9
中央値以上	1,316	0.1	0.3	1.5	98.1	—
中央値の1/2以上中央値未満	965	1.8	3.6	9.6	85.0	—
中央値の1/2未満	337	8.3	10.1	19.3	62.3	—
ふたり親	2,338	1.0	2.1	5.4	91.6	—
ひとり親	336	6.5	7.4	16.4	69.6	—

(4) 衣服が買えなかった経験

- 過去1年間に必要とする衣服が買えなかった経験の有無について、「よくあった」が1.0%、「ときどきあった」が3.5%、「まれにあった」が8.1%、「まったくなかった」が85.1%となっています。
- 「よくあった」と「ときどきあった」を合わせた『あった』の割合は4.5%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど『あった』の割合が高く、中央値の1/2未満の世帯では、「よくあった」が6.6%、「ときどきあった」が16.0%で、合わせると22.6%の人が『あった』と回答しています。
- 世帯構成別にみると、ふたり親世帯では『あった』が3.4%、ひとり親世帯では『あった』が13.5%となっています。

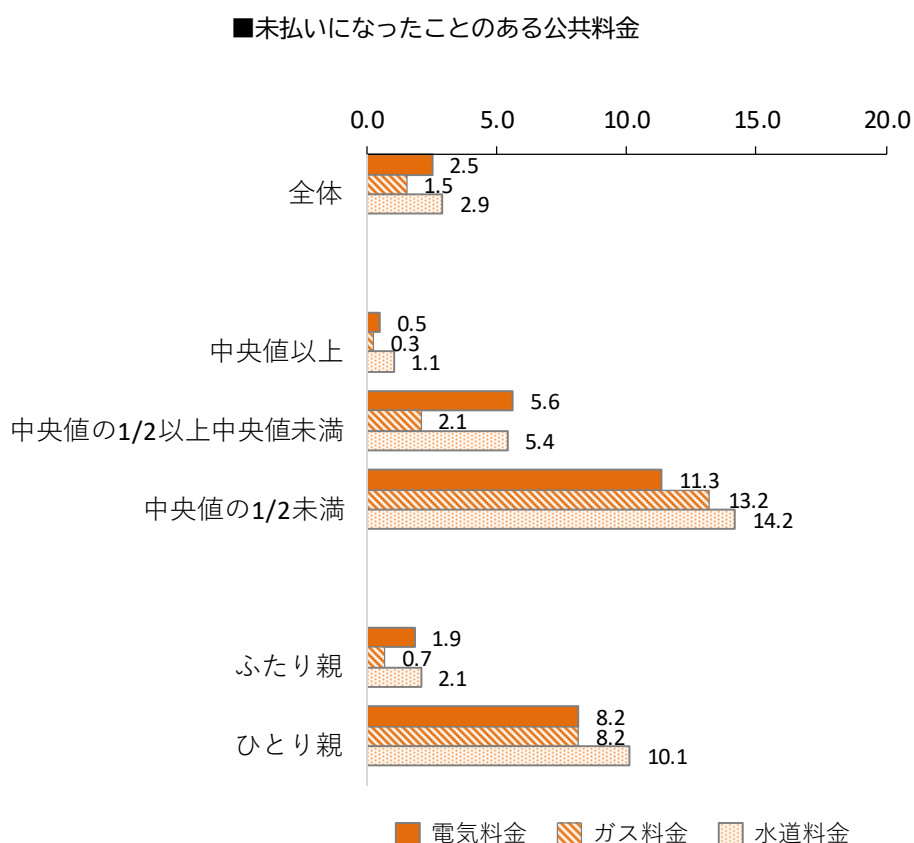


(参考) 国調査 (R3) の結果

		よくあ った	ときど きあ った	まれに あ った	ま た た く な か っ た	無回 答
	n					
全体	2,715	2.4	3.7	10.2	82.9	0.8
中央値以上	1,317	0.4	0.7	3.1	95.8	-
中央値の1/2以上中央値未満	965	2.8	4.8	15.4	77.0	-
中央値の1/2未満	337	9.8	13.4	22.6	54.3	-
ふたり親	2,340	1.5	2.6	9.0	86.9	-
ひとり親	336	8.3	11.3	19.3	59.0	-

(5) 公共料金における未払いの経験

- 過去1年間に経済的な理由で未払いになったことのある公共料金について、「電気料金」が2.5%、「ガス料金」が1.5%、「水道料金」が2.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど未払い経験のある世帯の割合が高く、中央値の1/2未満の世帯では、「電気料金」が11.3%、「ガス料金」が13.2%、「水道料金」が14.2%となっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、「電気料金」及び「ガス料金」がそれぞれ8.2%、「水道料金」が10.1%となっています。

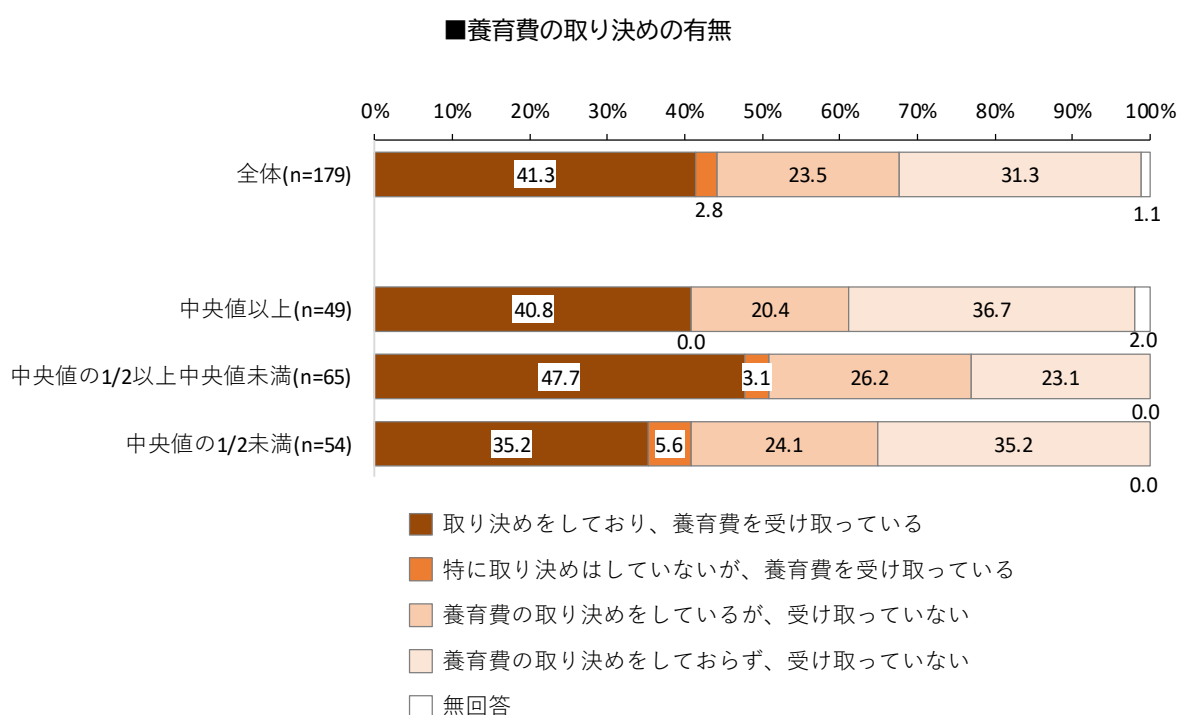


(参考) 国調査 (R3) の結果

		電気料金	ガス料金	水道料金
	n			
全体	2,715	3.8	3.5	3.7
中央値以上	1,318	0.7	0.4	0.0
中央値の1/2以上中央値未満	967	4.3	3.9	4.6
中央値の1/2未満	338	14.5	14.2	12.4
ふたり親	2,358	2.7	2.2	3.1
ひとり親	340	11.5	12.4	8.2

(6) 養育費の取り決めの有無

- 婚姻状況が「離婚」と回答した人に養育費の取り決めの有無をうかがったところ、「取り決めでしており、養育費を受け取っている」が 41.3%で最も高く、次いで「取り決めでしておらず、受け取っていない」が 31.3%、「養育費の取り決めでしているが、受け取っていない」が 23.5%と続いています。
- 「養育費の取り決めでしているが、受け取っていない」と「養育費の取り決めでしておらず、受け取っていない」を合わせた『受け取っていない』は 54.8%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の 1/2 以上中央値未満の世帯で『受け取っている』の割合が高くなっています。



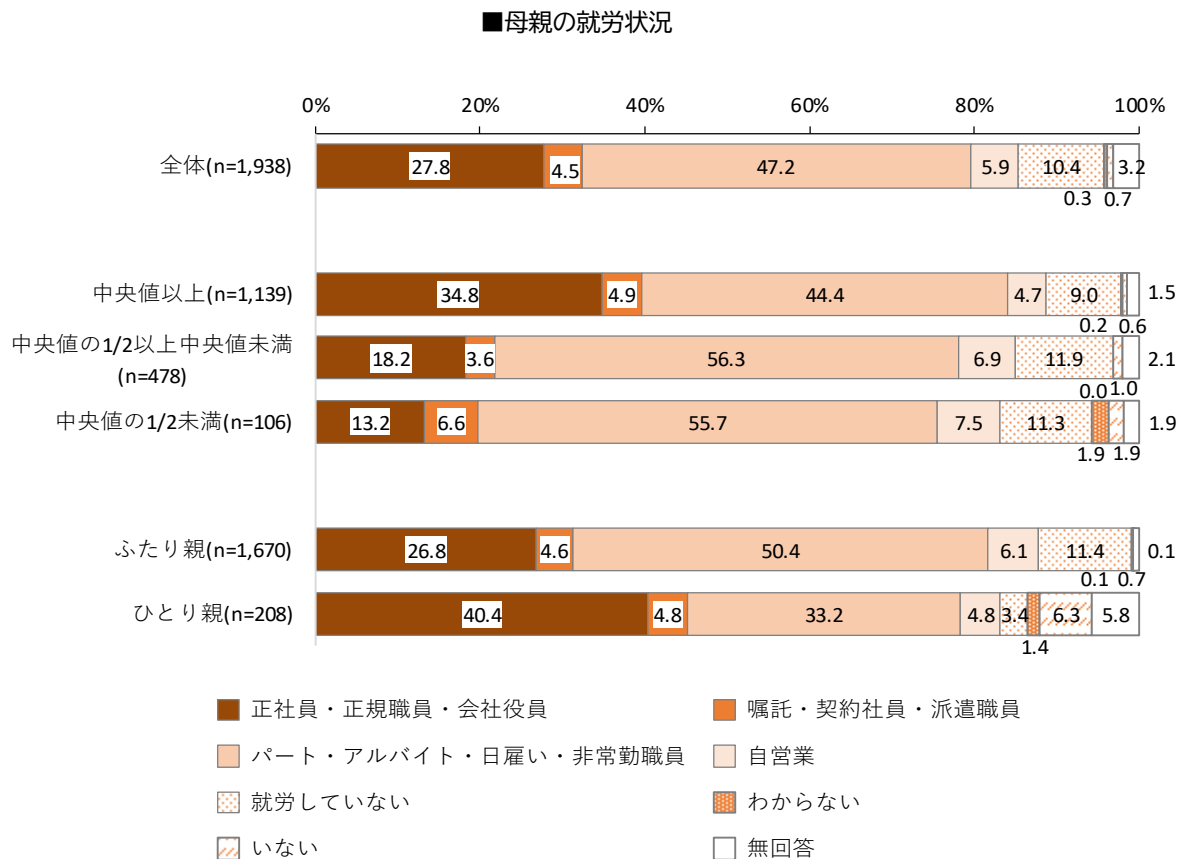
(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	取り決めで しており、 養育費を受 け取ってい る	特に取り決 めはしてい ないが、養 育費を受け 取っている	養育費の取 り決めでし ているが、 受け取って いない	養育費の取 り決めでし ておらず、 受け取って いない	無回答
全体	283	29.3	4.2	17.7	48.4	0.4

1.2 就労の状況

(1) 母親の就労状況

- 母親の就労状況について、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.2%で最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が27.8%、「就労していない」が10.4%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「正社員・正規職員・会社役員」の割合が低く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では「正社員・正規職員・会社役員」が40.4%で最も高く、ふたり親世帯と比べて「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が低くなっています。

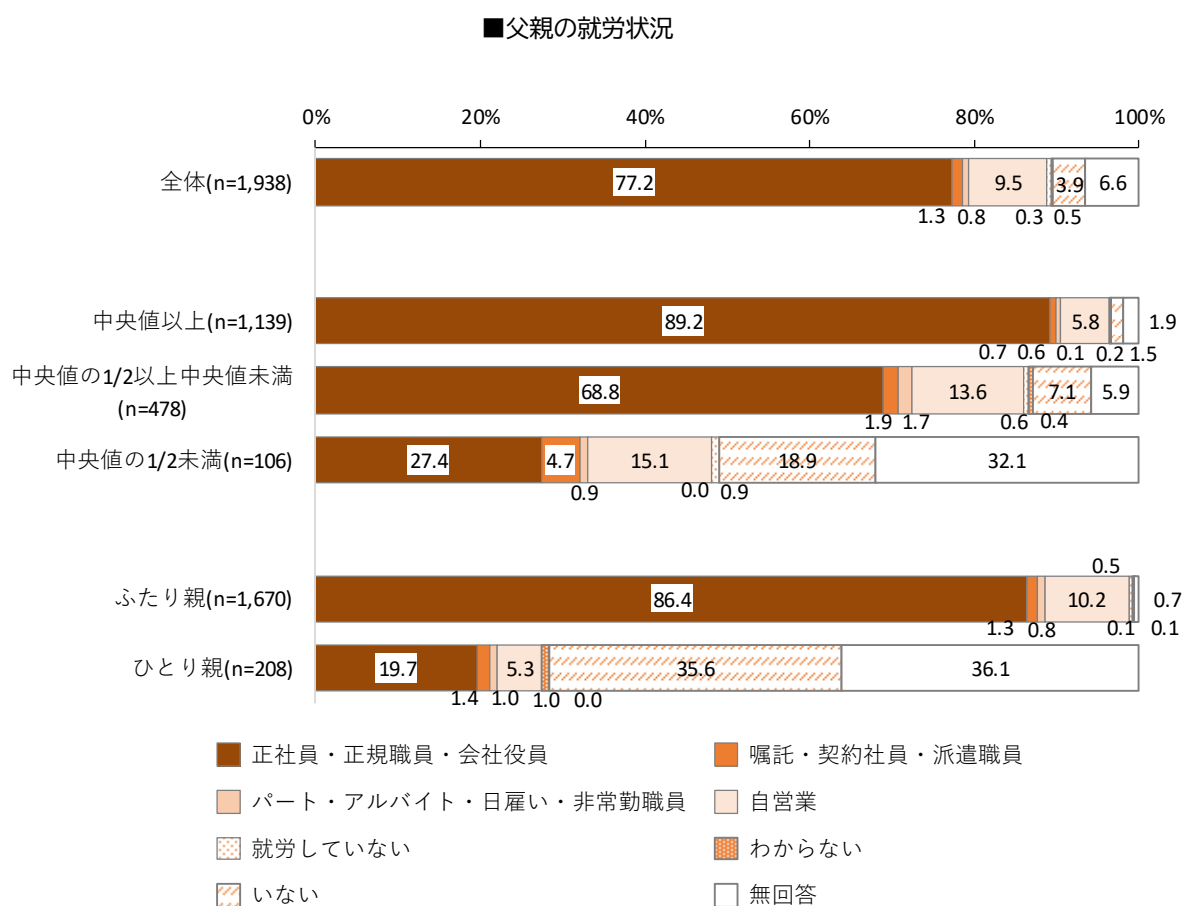


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	正社員・ 正規職員・会社 役員	嘱託・ 契約社員・派 遣職員	パート・ アルバイト・日 雇い・非常 勤職員	自営業	就労して いない	いない、 わからない	無回答
全体	2,715	27.4	6.4	42.8	6.4	14.6	0.7	1.6
中央値以上	1,037	34.4	6.2	37.7	5.2	16.1	0.5	—
中央値の1/2以上中央値未満	947	22.7	6.2	50.2	6.7	13.4	0.8	—
中央値の1/2未満	327	17.4	9.2	49.8	10.1	12.8	0.6	—
ふたり親	2,341	26.4	6.2	45.0	6.5	15.8	0.1	—
ひとり親	291	40.2	10.7	35.1	6.2	7.9	0.0	—

(2) 父親の就労状況

- 父親の就労状況について、「正社員・正規職員・会社役員」が 77.2%で最も高く、次いで「自営業」が9.5%、「いない」が3.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「正社員・正規職員・会社役員」の割合が低く、「自営業」、「いない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、「いない」が 35.6%、「正社員・正規職員・会社役員」が 19.7%、「自営業」が 5.3%などとなっています。



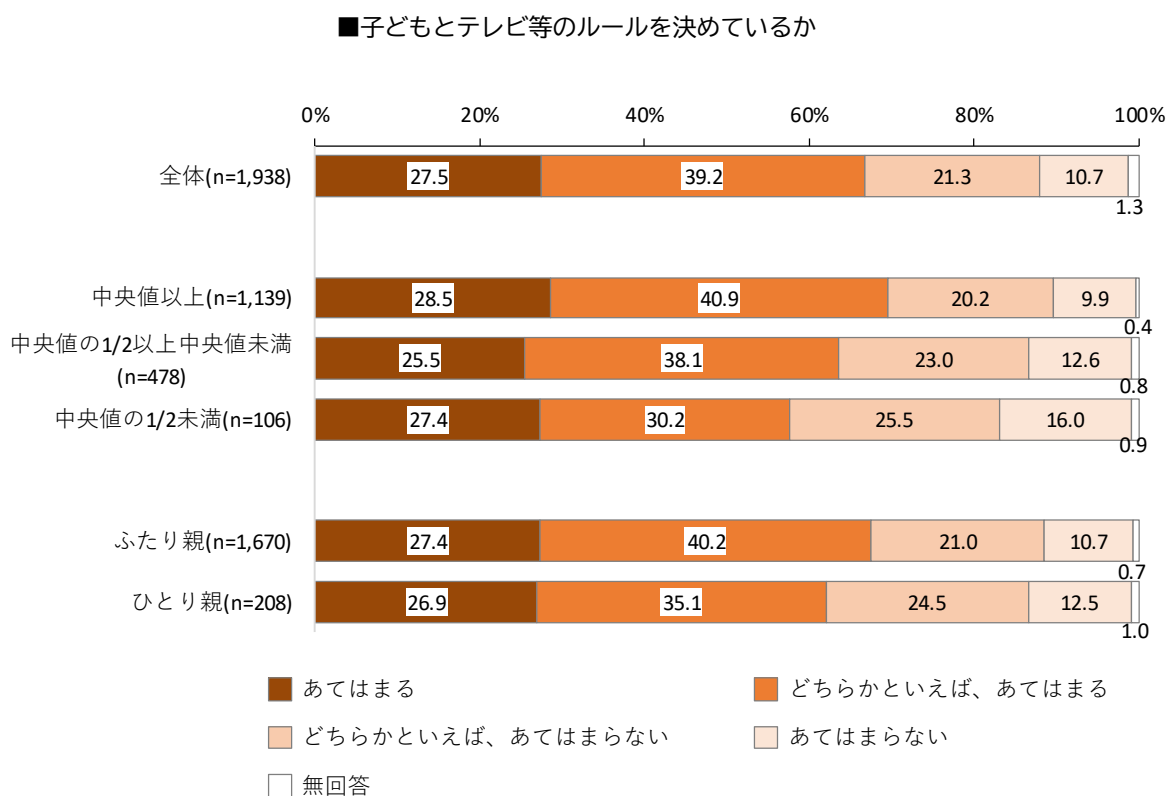
(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	正社員・ 正規職員・会社 役員	嘱託・ 契約社員・派 遣職員	パート・ アルバイト・日雇 い・非常 勤職員	自営業	就労し ていな い	いない、 わから ない	無回答
全体	2,715	78.1	1.6	0.7	9.8	1.1	3.2	5.5
中央値以上	1,302	91.5	0.2	0.1	7.5	0.3	0.5	—
中央値の1/2以上中央値未満	929	80.5	3.2	1.2	10.7	1.1	3.3	—
中央値の1/2未満	258	48.1	3.5	2.7	21.7	6.6	17.4	—
ふたり親	2,338	86.1	1.6	0.7	1.5	1.1	0.0	—
ひとり親	37	81.1	0.0	2.7	10.8	5.4	0.0	—

1.3 子どもとの関わり方

(1) テレビ等のルールについて

- 子どもとテレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかどうかについて、「あてはまる」27.5%と「どちらかといえば、あてはまる」39.2%を合わせた『あてはまる』が66.7%、「どちらかといえば、あてはまらない」21.3%と「あてはまらない」10.7%を合わせた『あてはまらない』が32.0%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど、『あてはまらない』の割合が高くなっており、中央値の1/2未満の世帯では、『あてはまらない』が41.5%となっています。
- 世帯構成別にみると、ふたり親世帯では『あてはまらない』が31.7%、ひとり親世帯では『あてはまらない』が37.0%となっています。

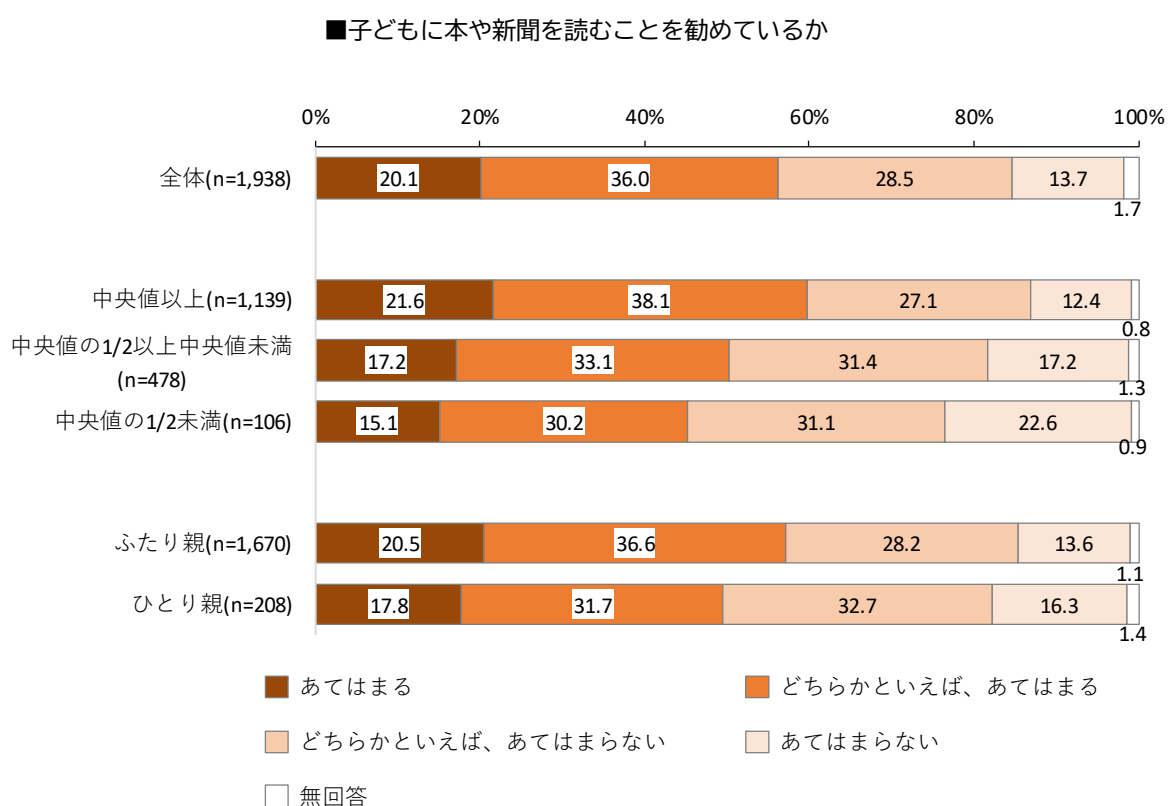


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	あてはまる	どちらかとい えば、あ てはまる	どちらかとい えば、あ てはまら ない	あてはまら ない	無回答
全体	2,715	24.5	37.6	22.3	15.0	0.6
中央値以上	1,312	26.1	39.6	20.9	13.5	—
中央値の1/2以上中央値未満	963	24.4	37.5	22.0	16.1	—
中央値の1/2未満	333	18.9	33.9	29.1	18.0	—
ふたり親	2,345	25.3	38.8	22.3	13.6	—
ひとり親	338	19.8	31.1	24.3	24.9	—

(2) 本や新聞を読むことについて

- 子どもに本や新聞を読むように勧めているかどうかについて、「あてはまる」20.1%と「どちらかといえば、あてはまる」36.0%を合わせた『あてはまる』が56.1%、「どちらかといえば、あてはまらない」28.5%と「あてはまらない」13.7%を合わせた『あてはまらない』が42.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど、『あてはまらない』の割合が高くなっており、中央値の1/2未満の世帯では、『あてはまらない』が53.7%となっています。
- 世帯構成別にみると、ふたり親世帯では『あてはまらない』が41.8%、ひとり親世帯では『あてはまらない』が49.0%となっています。

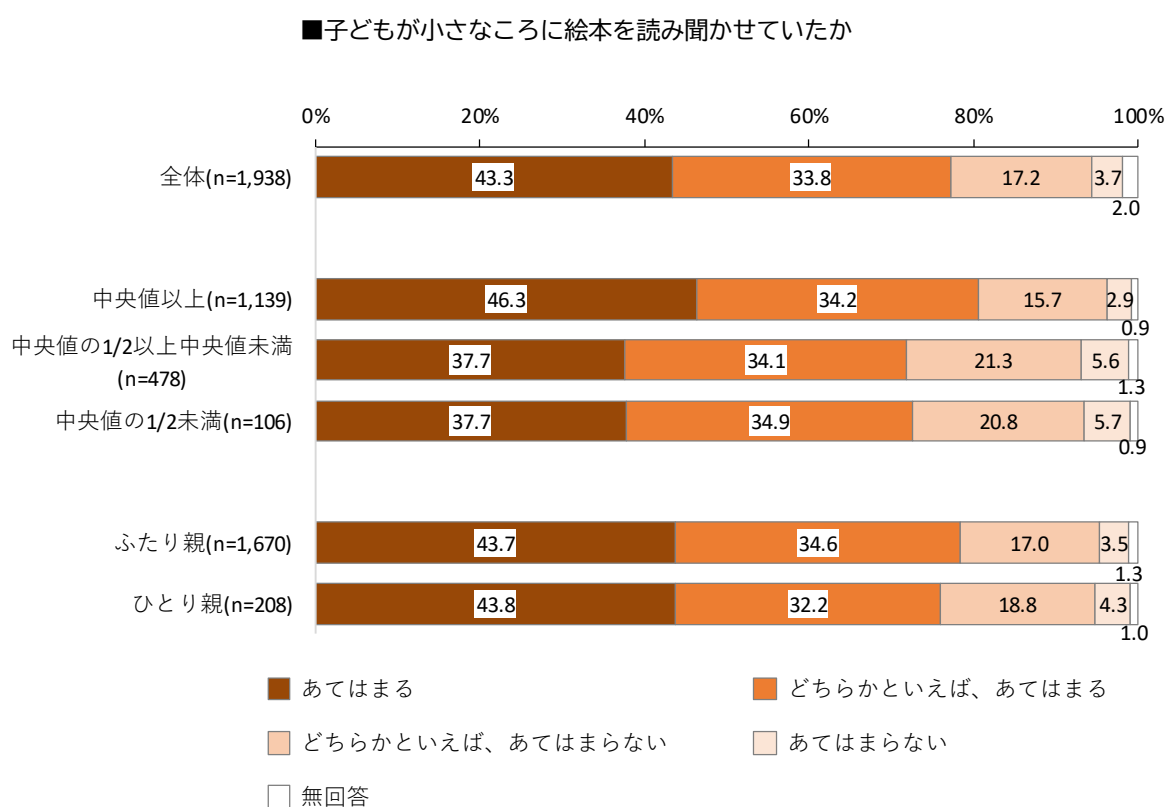


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	あてはまる	どちらかとい えば、あ てはまる	どちらかとい えば、あ てはまらな い	あてはまら ない	無回答
全体	2,715	22.4	37.9	24.8	14.3	0.6
中央値以上	1,313	26.3	39.9	23.8	10.1	-
中央値の1/2以上中央値未満	960	18.8	37.5	25.5	18.2	-
中央値の1/2未満	335	18.5	33.1	27.2	21.2	-
ふたり親	2,345	23.1	38.7	25.1	13.1	-
ひとり親	337	18.4	34.7	24.0	22.8	-

(3) 絵本の読み聞かせについて

- 子どもが小さいころに絵本を読み聞かせしていたかどうかについて、「あてはまる」43.3%と「どちらかといえば、あてはまる」33.8%を合わせた『あてはまる』が77.1%、「どちらかといえば、あてはまらない」17.2%と「あてはまらない」3.7%を合わせた『あてはまらない』が20.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯と比べて、『あてはまらない』の割合が高く、「あてはまる」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別による大きな違いはみられません。

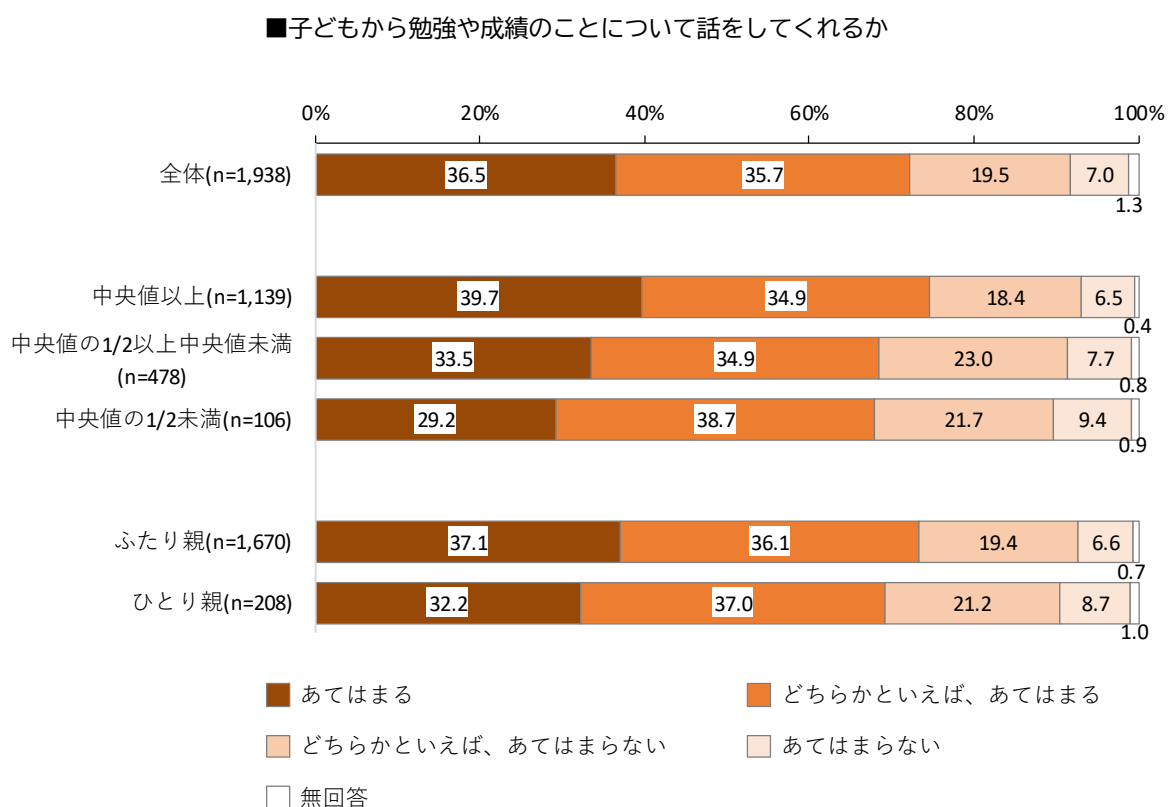


(参考) 国調査 (R3) の結果

	合計	あてはまる	どちらかとい えば、あ てはまる	どちらかとい えば、あ てはまら ない	あてはまら ない	無回答
全体	2,715	45.9	32.3	16.1	5.1	0.6
中央値以上	1,313	52.4	29.8	14.0	3.8	-
中央値の1/2以上中央値未満	961	42.1	34.8	17.5	5.6	-
中央値の1/2未満	334	34.4	35.6	21.0	9.0	-
ふたり親	2,346	46.9	32.4	16.2	4.6	-
ひとり親	336	40.8	34.2	17.3	7.7	-

(4) 勉強や成績のことについて

- 子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかどうかについて、「あてはまる」36.5%と「どちらかといえば、あてはまる」35.7%を合わせた『あてはまる』が72.2%、「どちらかといえば、あてはまらない」19.5%と「あてはまらない」7.0%を合わせた『あてはまらない』が26.5%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高い世帯ほど「あてはまる」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別による大きな違いはみられません。

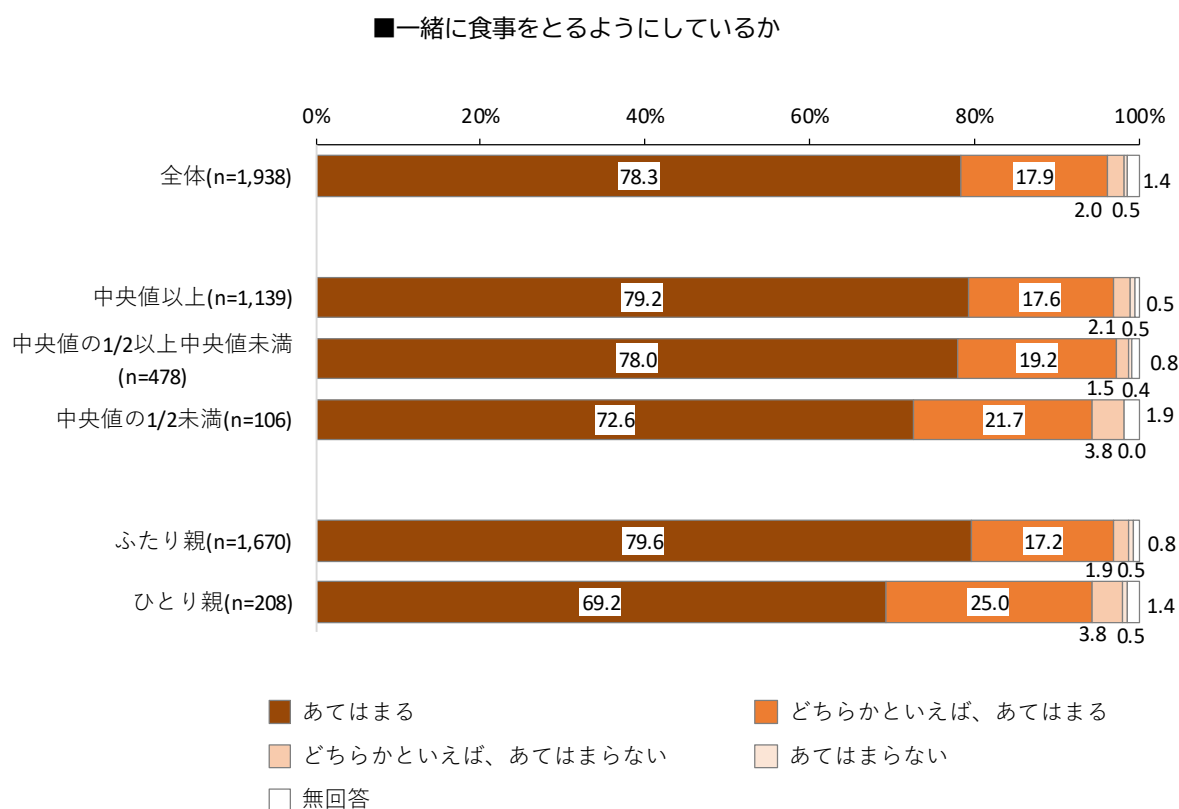


(参考) 国調査 (R3) の結果

	合計	あてはまる	どちらかとい えば、あ てはまる	どちらかとい えば、あ てはまら ない	あてはまら ない	無回答
全体	2,715	45.0	33.4	14.8	6.3	0.6
中央値以上	1,312	48.3	33.1	13.6	5.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	962	41.8	34.8	16.7	6.7	—
中央値の1/2未満	335	40.9	35.2	14.3	9.6	—
ふたり親	2,346	46.2	33.5	14.8	5.5	—
ひとり親	337	40.9	35.2	14.3	9.6	—

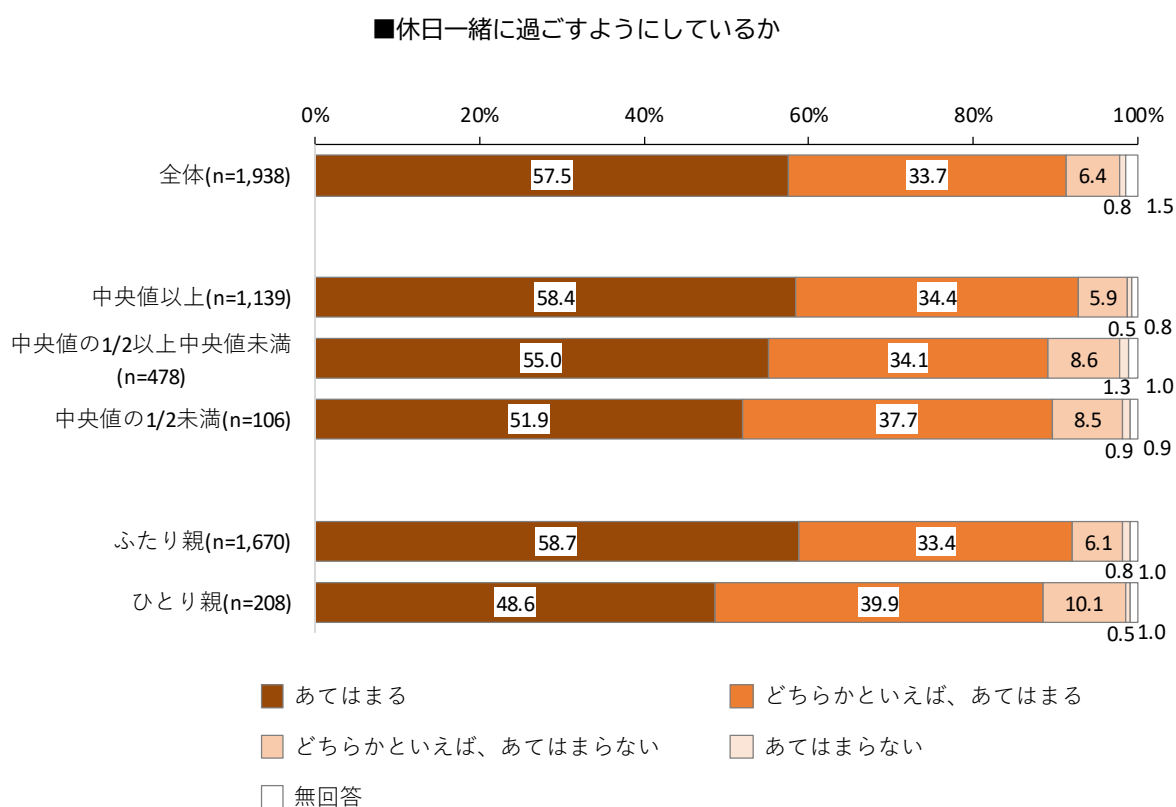
(5) 一緒に食事をとることについて

- 一緒に食事をとるようにしているかどうかについて、「あてはまる」78.3%と「どちらかといえば、あてはまる」17.9%を合わせた『あてはまる』が96.2%、「どちらかといえば、あてはまらない」2.0%と「あてはまらない」0.5%を合わせた『あてはまらない』が2.5%となっています。
- 世帯収入による大きな違いはみられません。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「あてはまる」の割合が低く、「どちらかといえばあてはまる」の割合が高くなっています。



(6) 休日、一緒に過ごすことについて

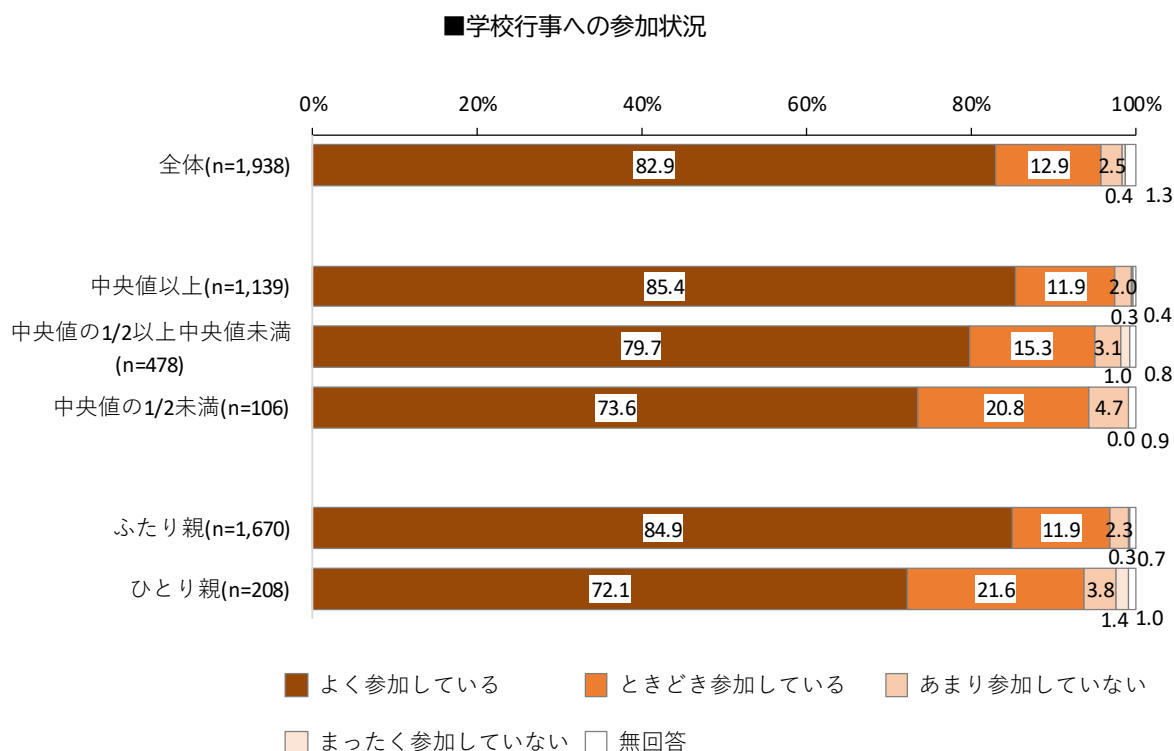
- 休日は一緒に過ごすようにしているかどうかについて、「あてはまる」57.5%と「どちらかといえば、あてはまる」33.7%を合わせた『あてはまる』が91.2%、「どちらかといえば、あてはまらない」6.4%と「あてはまらない」0.8%を合わせた『あてはまらない』が7.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高い世帯ほど「あてはまる」の割合が高くなっていますが、『あてはまる』の割合に大きな差はみられません。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「あてはまる」の割合が低くなっていますが、『あてはまる』の割合に大きな差はみられません。



1.4 学校との関わり・参加

(1) 学校行事への参加

- 授業参観や運動会などの学校行事への参加状況について、「よく参加している」82.9%と「ときどき参加している」12.9%を合わせた『参加している』が95.8%、「あまり参加していない」2.5%と「まったく参加していない」0.4%を合わせた『参加していない』が2.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高い世帯ほど「よく参加している」の割合が高くなっていますが、『参加している』の割合に大きな差はみられません。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「よく参加している」の割合が低くなっていますが、『参加している』の割合に大きな差はみられません。

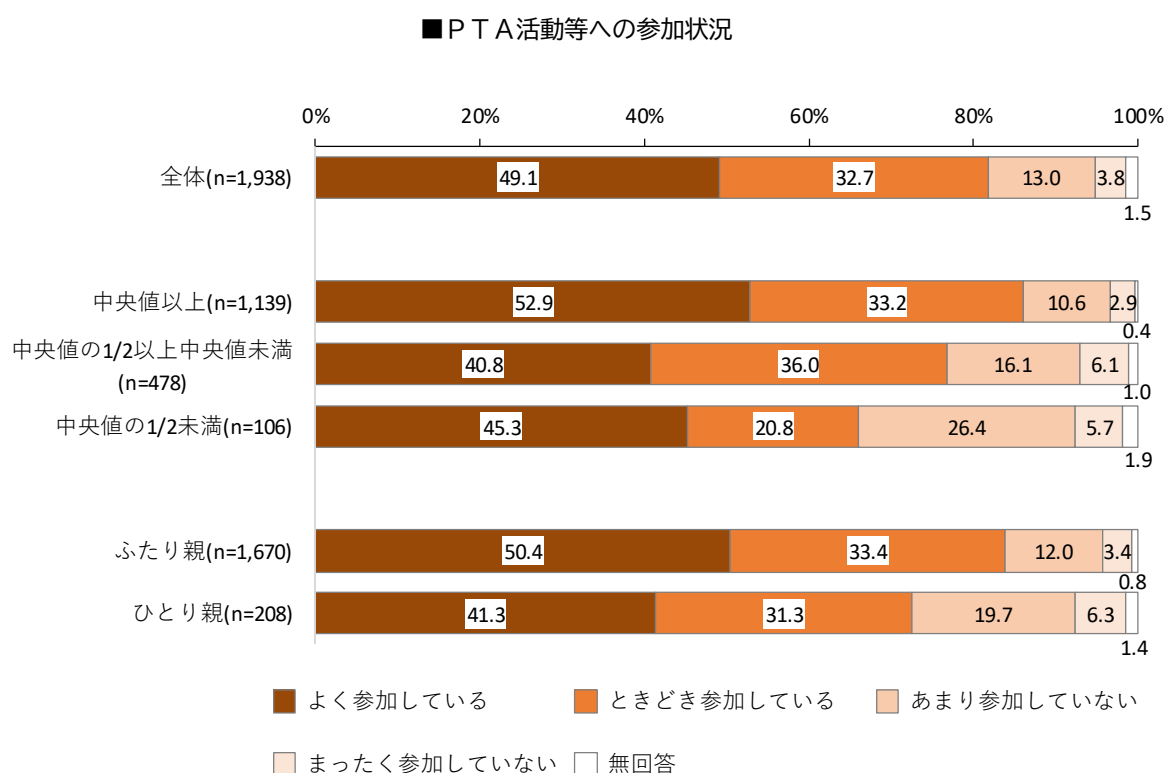


(参考) 国調査 (R3) の結果

	合計	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体	2,715	73.1	17.6	5.3	3.4	0.5
中央値以上	1,312	76.1	16.8	4.2	3.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	960	72.9	17.4	6.1	3.5	—
中央値の1/2未満	338	66.3	22.2	8.0	3.6	—
ふたり親	2,347	75.2	16.9	4.6	3.2	—
ひとり親	338	62.0	23.7	10.4	3.9	—

(2) P T A活動等への参加

- P T A活動等への参加状況について、「よく参加している」49.1%と「ときどき参加している」32.7%を合わせた『参加している』が81.8%、「あまり参加していない」13.0%と「まったく参加していない」3.8%を合わせた『参加していない』が16.8%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高いほど『参加している』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて、『参加している』の割合が低くなっています。

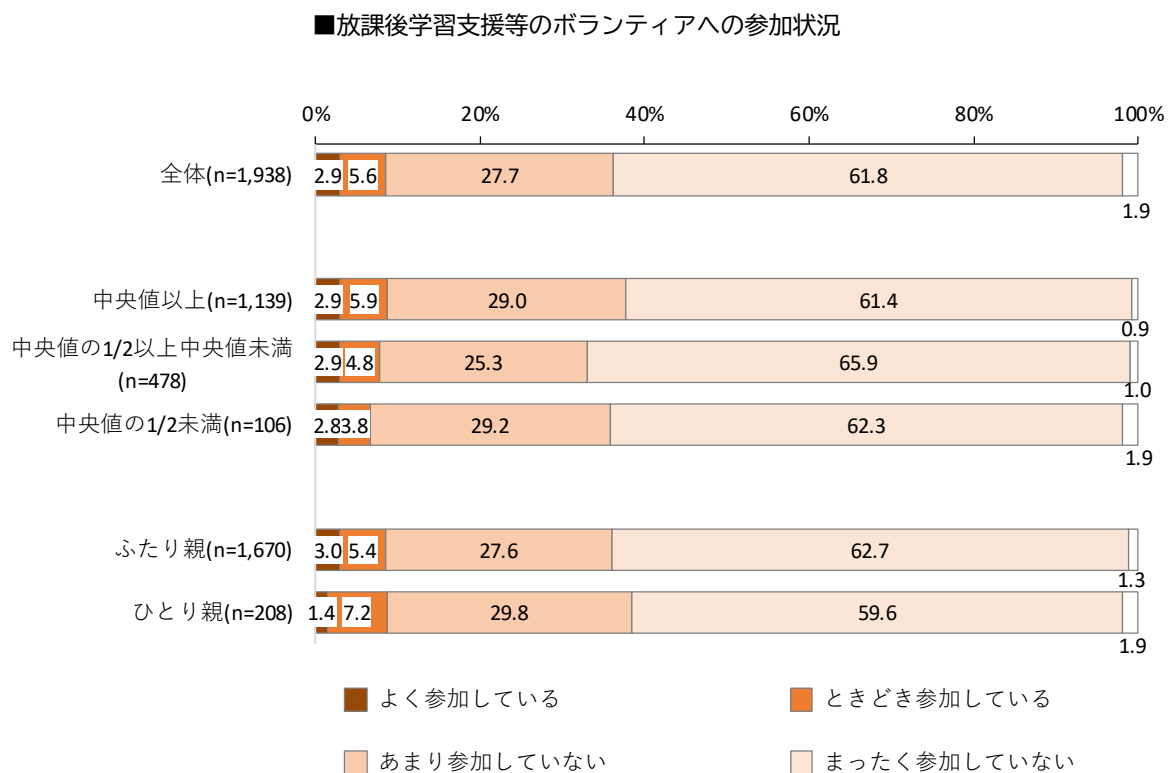


(参考) 国調査 (R3) の結果

	合計	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体	2,715	33.4	36.1	19.1	10.7	0.7
中央値以上	1,308	35.4	37.1	18.5	9.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	960	33.0	36.6	19.4	11.0	—
中央値の1/2未満	336	28.3	34.5	22.3	14.9	—
ふたり親	2,342	35.2	37.1	18.4	9.4	—
ひとり親	336	22.6	32.7	25.6	19.0	—

(3) 放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

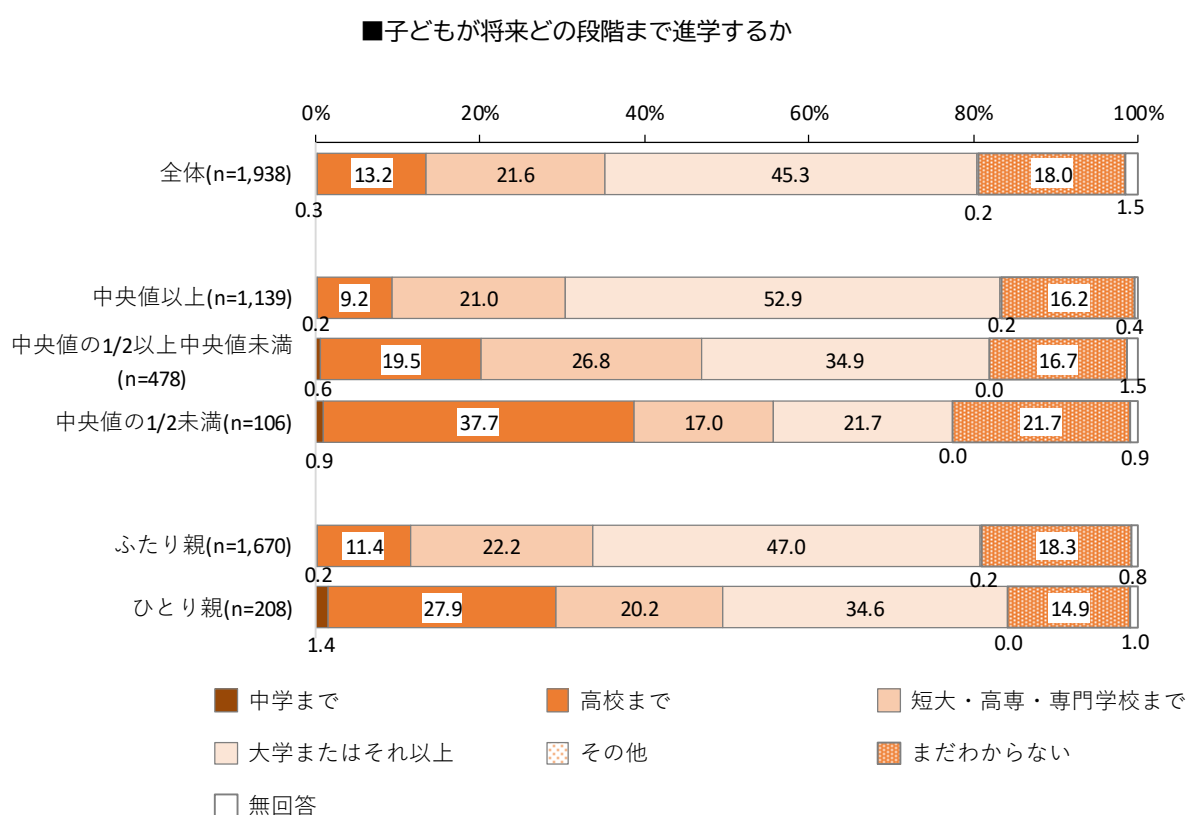
- 放課後学習支援等のボランティアへの参加状況について、「よく参加している」2.9%と「ときどき参加している」5.6%を合わせた『参加している』が8.5%、「あまり参加していない」27.7%と「全く参加していない」61.8%を合わせた『参加していない』が89.5%となっています。
- 世帯収入や世帯構成による大きな差はみられません。



1.5 進学期待・展望

(1) 子どもの進学段階の展望

- 子どもが将来、現実的にみてどの段階まで進学すると思うかについて、「大学またはそれ以上」が45.3%で最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が21.6%、「まだわからない」が18.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高いほど「大学またはそれ以上」の割合が高く、世帯収入が低いほど「高校まで」の割合が高くなっており、中央値の1/2未満では、「高校まで」が37.7%で最も高くなっています。
- 世帯構成別みると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「高校まで」の割合が高く、「大学またはそれ以上」の割合が低くなっています。



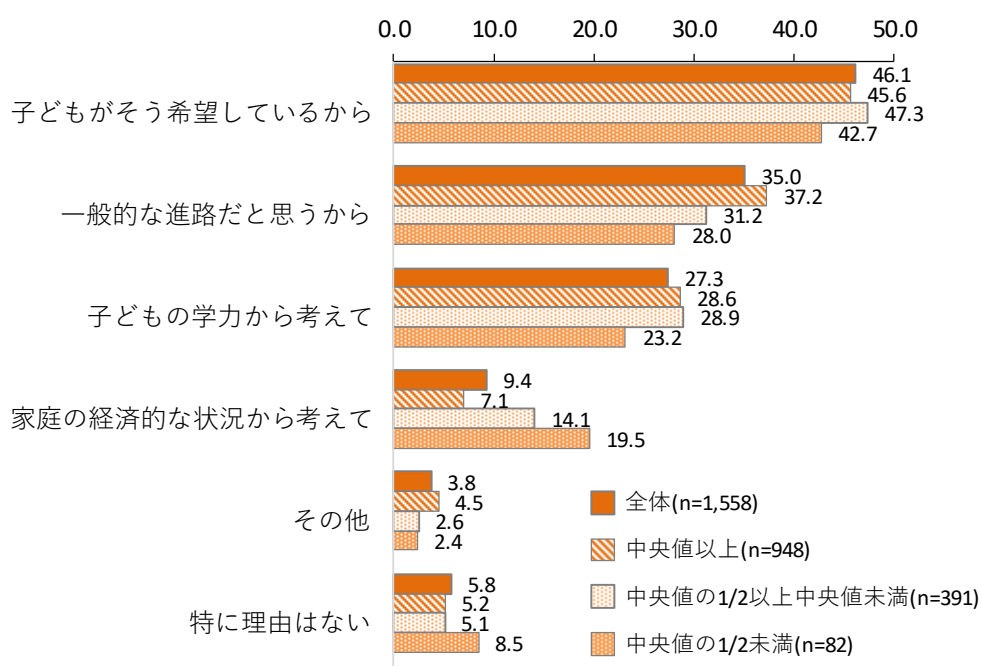
(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
全体	2,715	0.5	16.3	19.7	50.1	12.8	0.6
中央値以上	1,311	0.3	7.8	15.9	67.2	8.8	—
中央値の1/2以上中央値未満	962	0.6	20.8	24.3	36.5	17.8	—
中央値の1/2未満	336	0.9	37.5	22.0	25.9	13.7	—
ふたり親	2,346	0.4	13.9	19.2	53.5	13.1	—
ひとり親	336	0.9	33.6	24.1	29.8	11.6	—

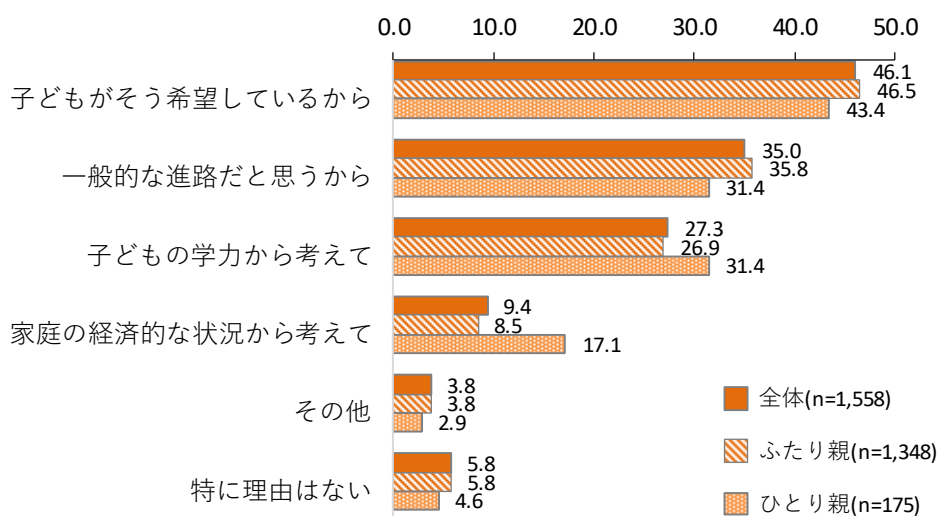
(2) 子どもの進学段階の展望の理由

- 子どもの将来の進学段階を保護者がそう考える理由について、「お子さんがそう希望しているから」が 46.1%で最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 35.0%、「お子さんの学力から考えて」が 27.3%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっています。

■子どもの進学段階でそう考える理由（世帯収入別）



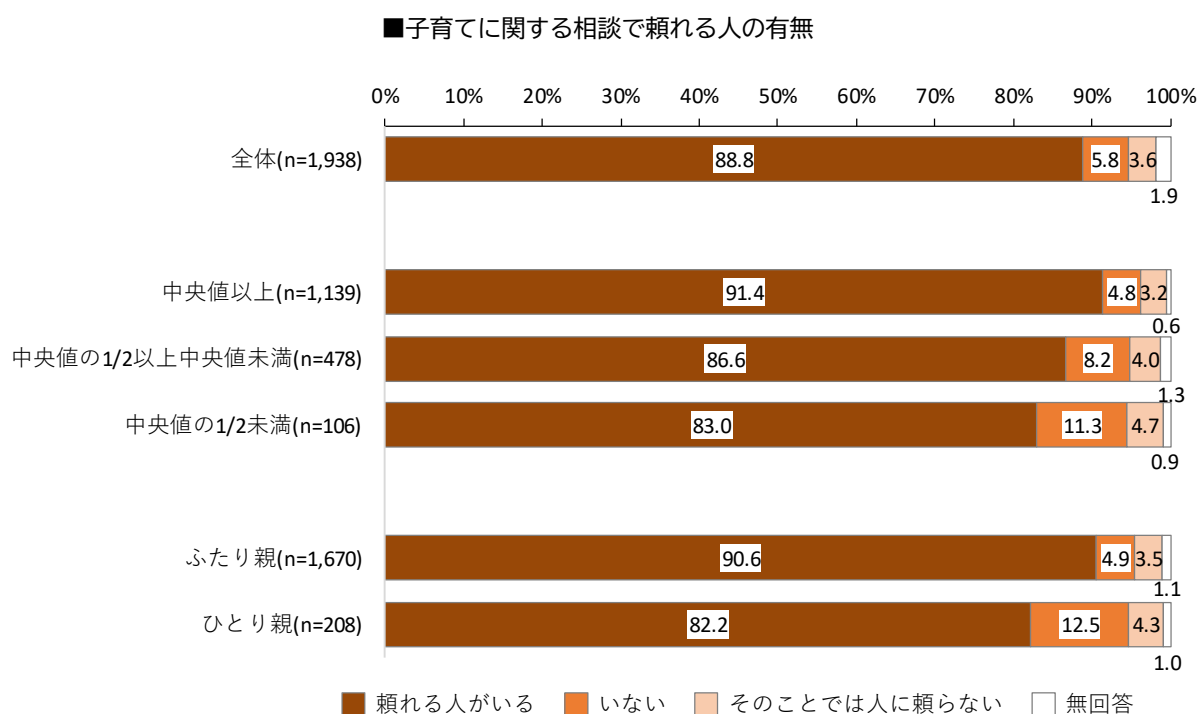
■子どもの進学段階でそう考える理由（世帯構成別）



1.6 頼れる人の有無・相談相手

(1) 子育てに関する相談

- 子育てに関する相談で頼れる人がいるかどうかについて、「頼れる人がいる」が88.8%、「いない」が5.8%、「そのことでは人に頼らない」が3.6%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低い世帯ほど「いない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「いない」の割合が高くなっています。

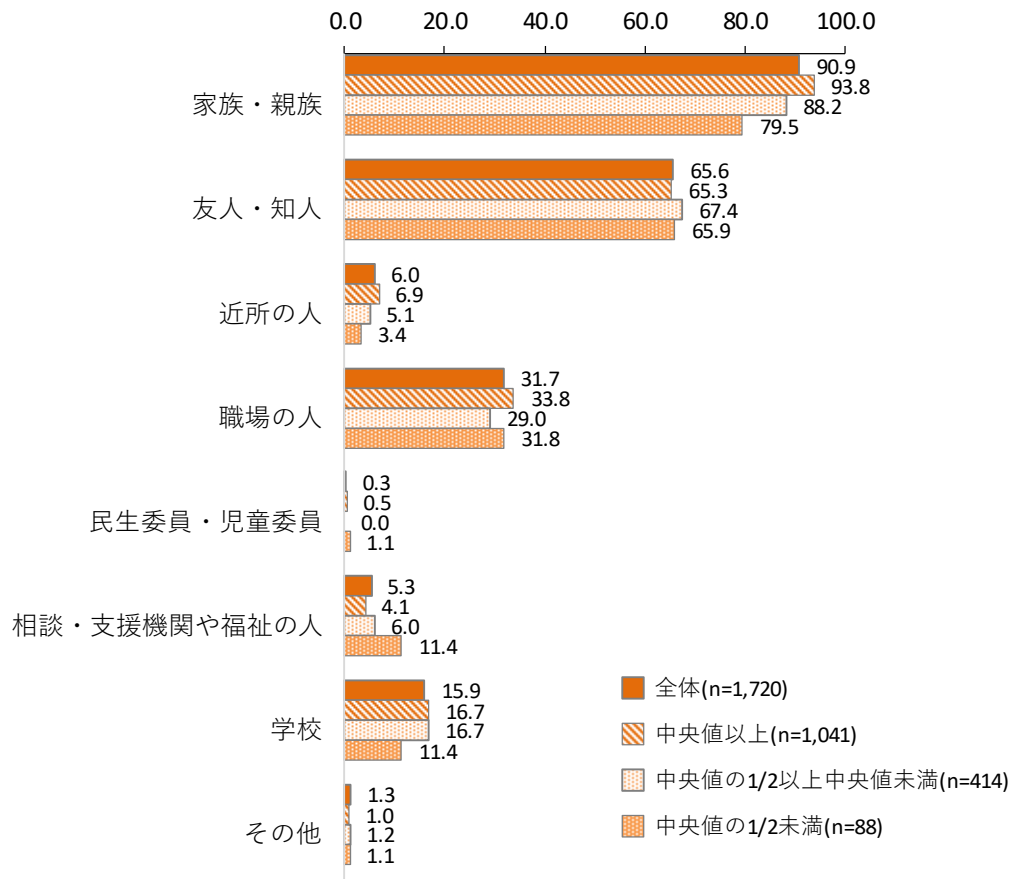


(参考) 国調査 (R3) の結果

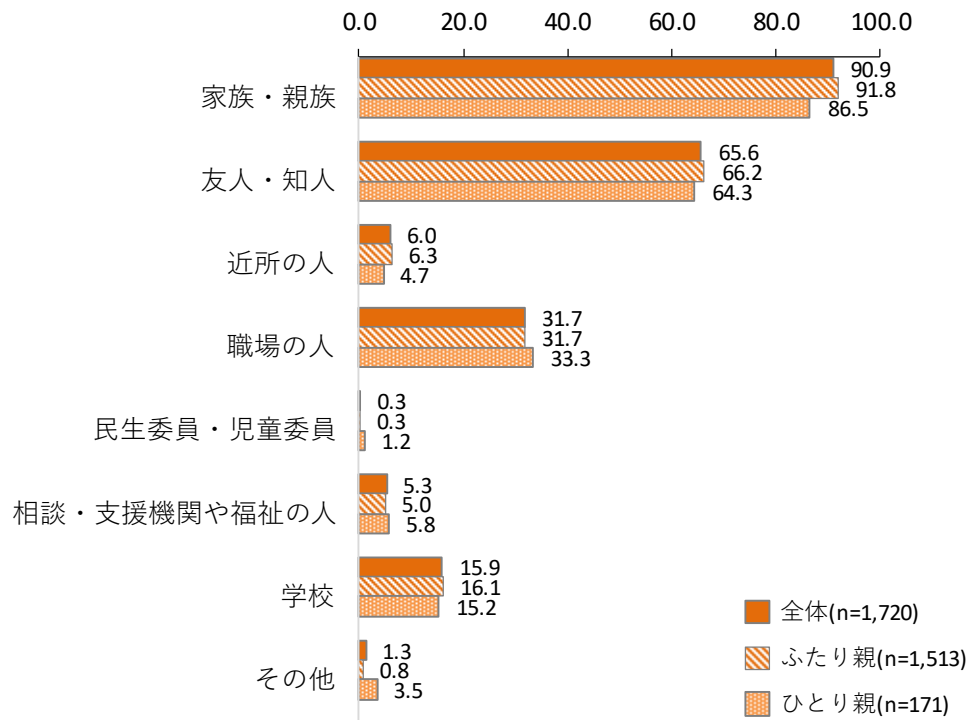
	合計	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2,715	92.4	3.9	2.9	0.7
中央値以上	1,312	94.1	3.1	2.7	—
中央値の1/2以上中央値未満	961	92.5	4.8	2.7	—
中央値の1/2未満	336	89.9	5.1	5.1	—
ふたり親	2,342	94.0	3.3	2.7	—
ひとり親	336	87.5	7.7	4.8	—

- 子育てに関する相談で「頼れる人がいる」と回答した人にその相談相手をうかがったところ、「家族・親族」が90.9%で最も高く、次いで「友人・知人」が65.6%、「職場の人」が31.7%と続いています。
- 世帯収入や世帯構成による大きな違いはみられません。

■子育てに関する相談相手（世帯収入別）

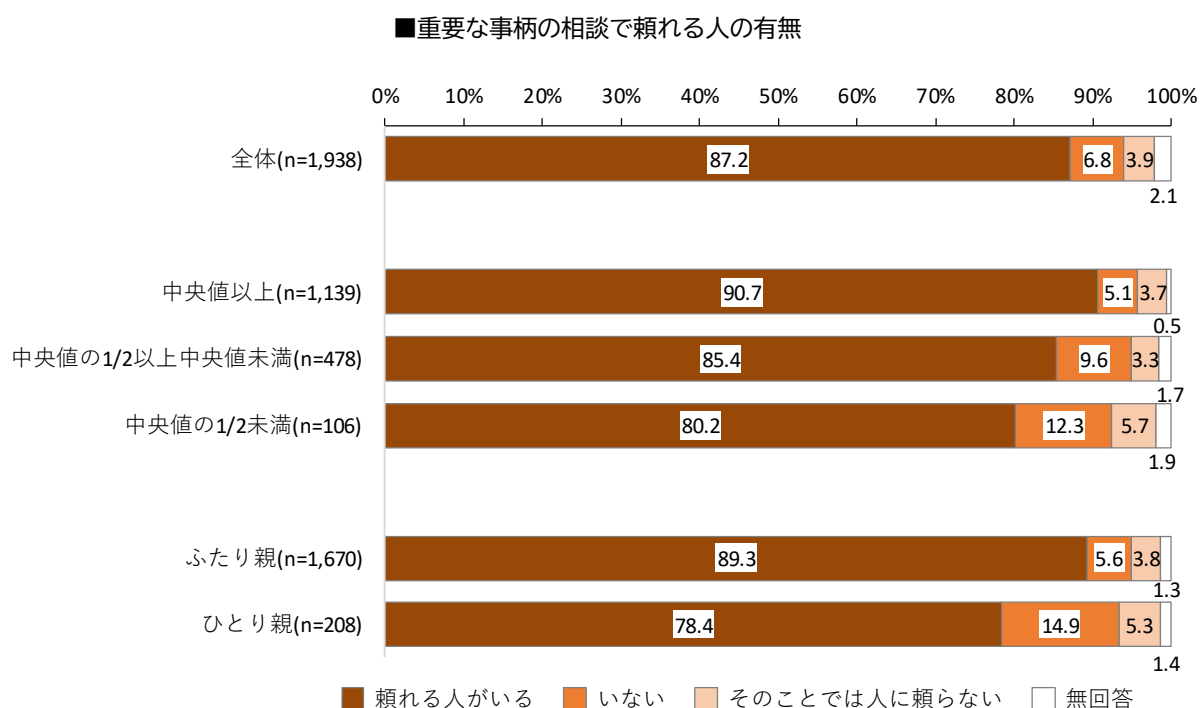


■子育てに関する相談相手（世帯構成別）



(2) 重要な事柄の相談

- 重要な事柄の相談で頼れる人がいるかどうかについて、「頼れる人がいる」が87.2%、「いない」が6.8%、「そのことでは人に頼らない」が3.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低い世帯ほど「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親のほうが、ふたり親に比べて「頼れる人がいる」の割合が低くなっています。

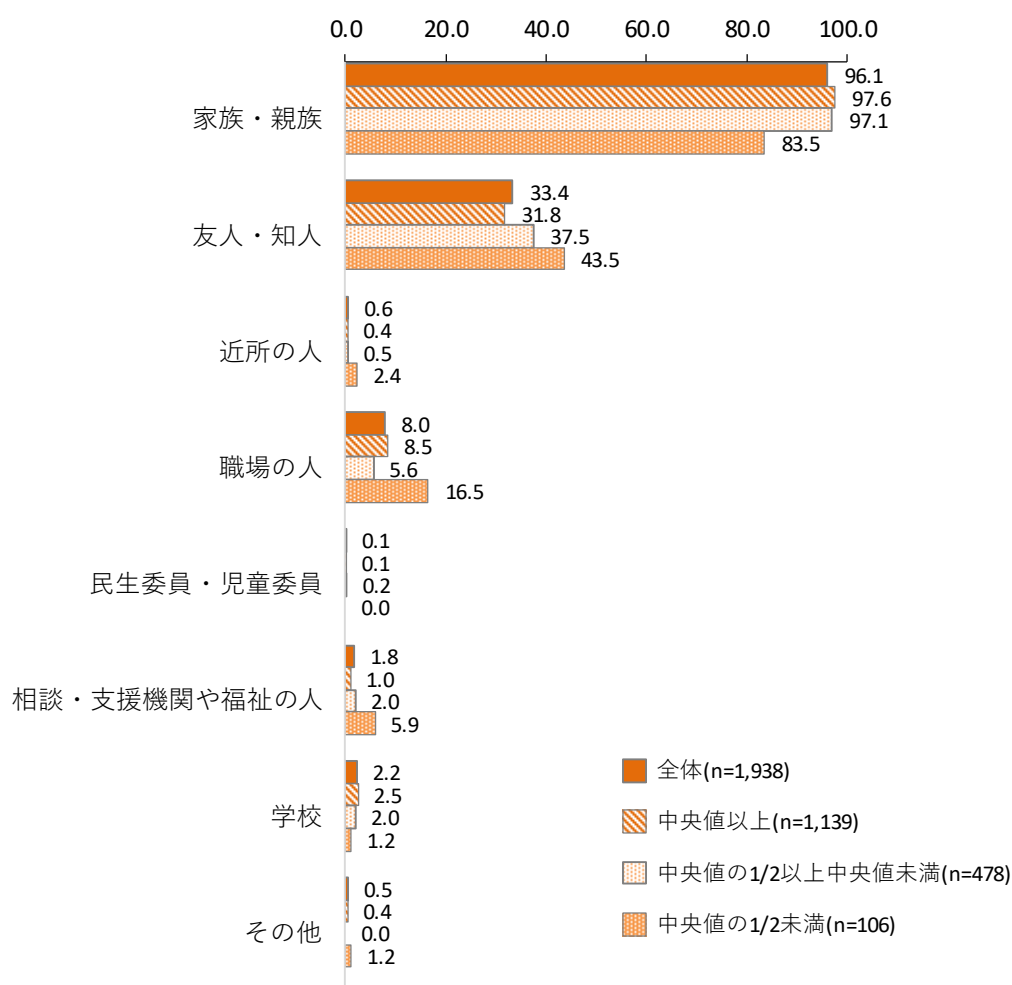


(参考) 国調査 (R3) の結果

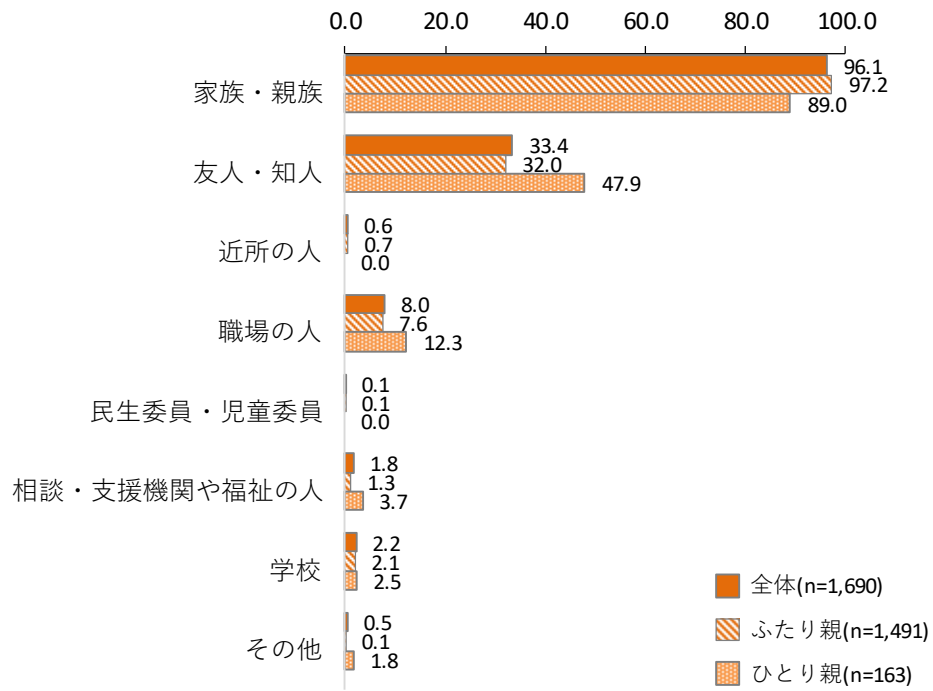
	合計	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2,715	90.7	5.0	3.2	1.0
中央値以上	1,308	92.9	3.6	3.5	-
中央値の1/2以上中央値未満	957	91.4	5.9	2.7	-
中央値の1/2未満	337	87.8	8.0	4.2	-
ふたり親	2,335	92.6	4.3	3.1	-
ひとり親	337	85.5	10.1	4.5	-

- 重要な事柄の相談で「頼れる人がいる」と回答した人にその相談相手をうかがったところ、「家族・親族」が96.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が33.4%、「職場の人」が8.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値が1/2未満の世帯では、他の世帯に比べて「家族・親族」の割合が低く、「友人・知人」、「職場の人」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「家族・親族」の割合が低く、「友人・知人」の割合が高くなっています。

■重要な事柄の相談相手（世帯収入別）

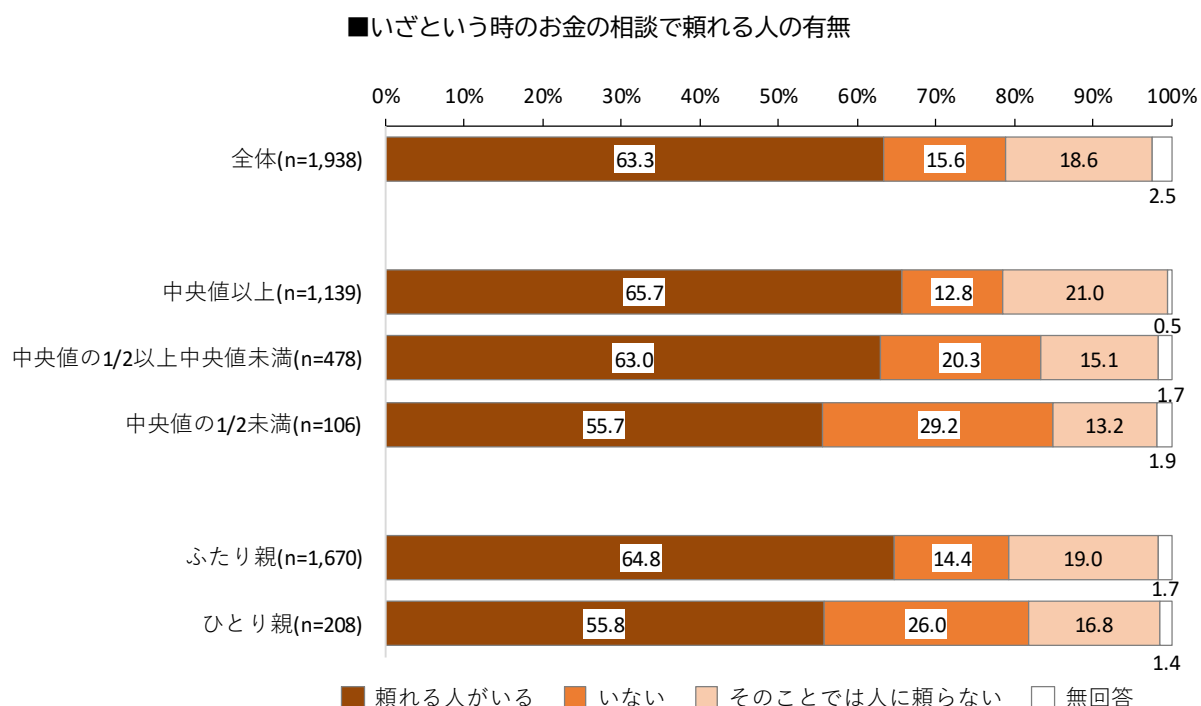


■重要な事柄の相談相手（世帯構成別）



(3) いざという時のお金の相談

- いざという時のお金の相談で頼れる人がいるかどうかについて、「頼れる人がいる」が63.3%、「いない」が15.6%、「そのことでは人に頼らない」が18.6%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「いない」の割合が高くなっています。また、中央値以上の世帯では、中央値未満の世帯と比べて「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「いない」の割合が高くなっています。

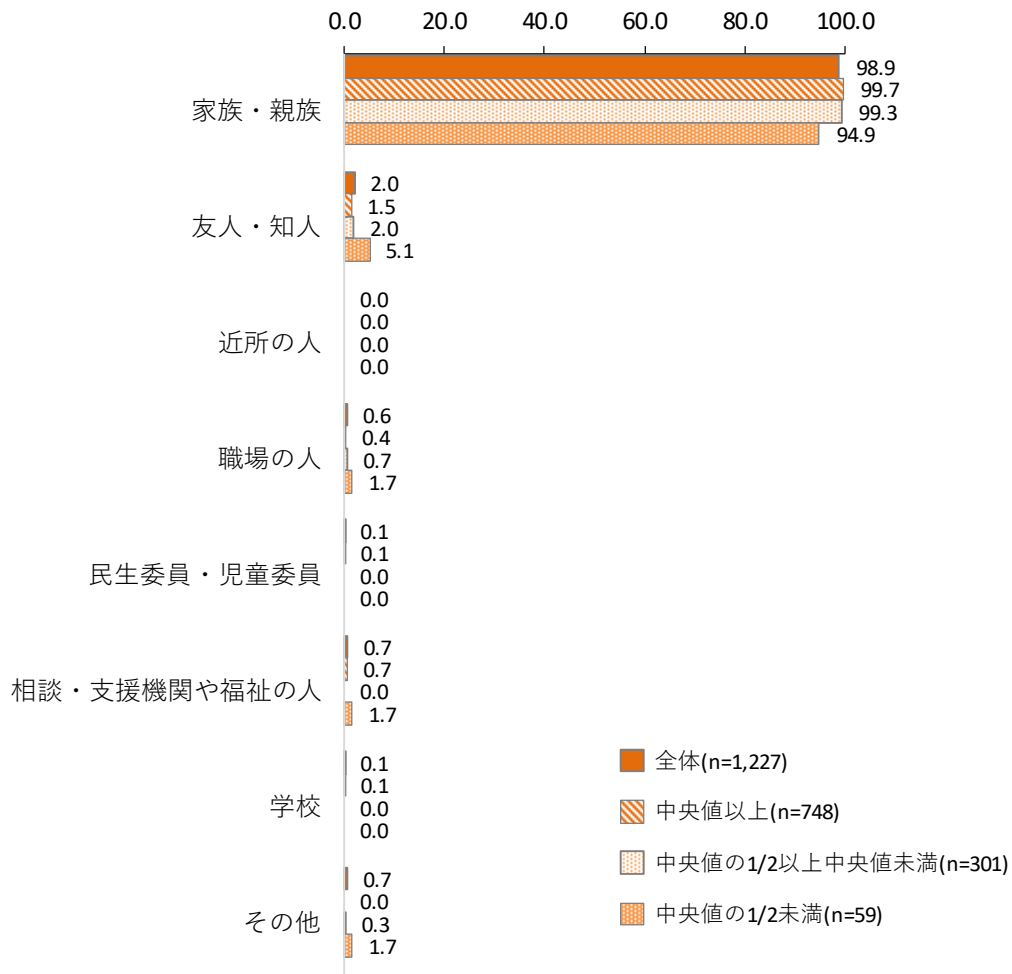


(参考) 国調査 (R3) の結果

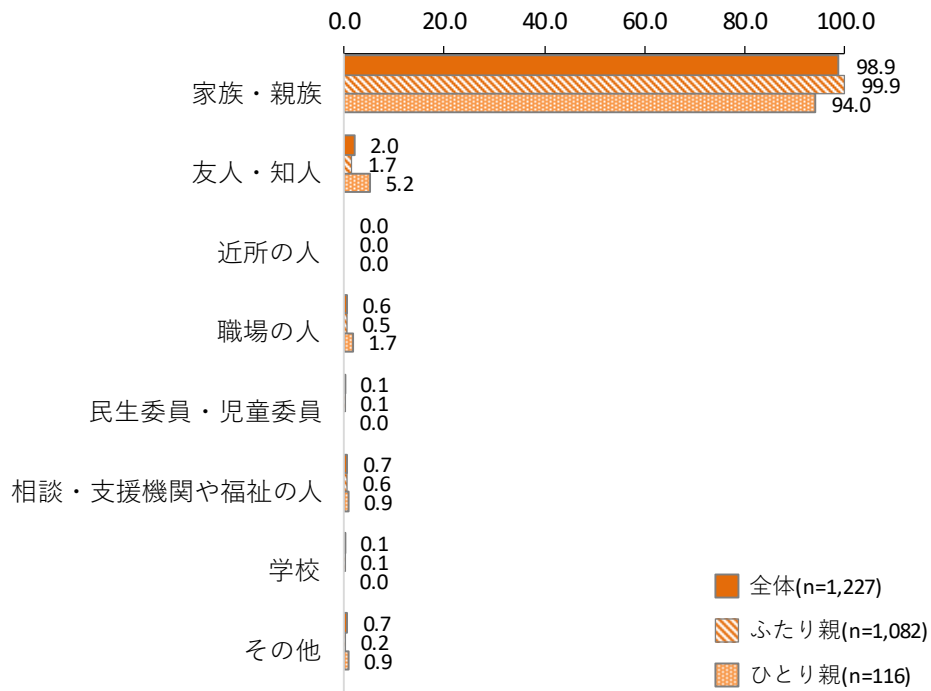
	合計	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2,715	66.5	13.3	18.8	1.4
中央値以上	1,302	70.3	7.7	22.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	954	66.1	16.2	17.6	—
中央値の1/2未満	336	58.9	27.7	13.4	—
ふたり親	2,327	69.5	10.9	19.6	—

- いざという時のお金の相談で「頼れる人がいる」と回答した人にその相談相手を伺ったところ、「家族・親族」が98.9%で最も高く、次いで「友人・知人」が2.0%、「相談・支援機関や福祉の人」、「その他」が0.7%と続いています。
- 世帯収入や世帯構成による大きな違いはみられません。

■いざという時のお金の相談相手（世帯収入別）



■いざという時のお金の相談相手（世帯構成別）



2 子どもの生活状況、貧困の連鎖リスク発生状況

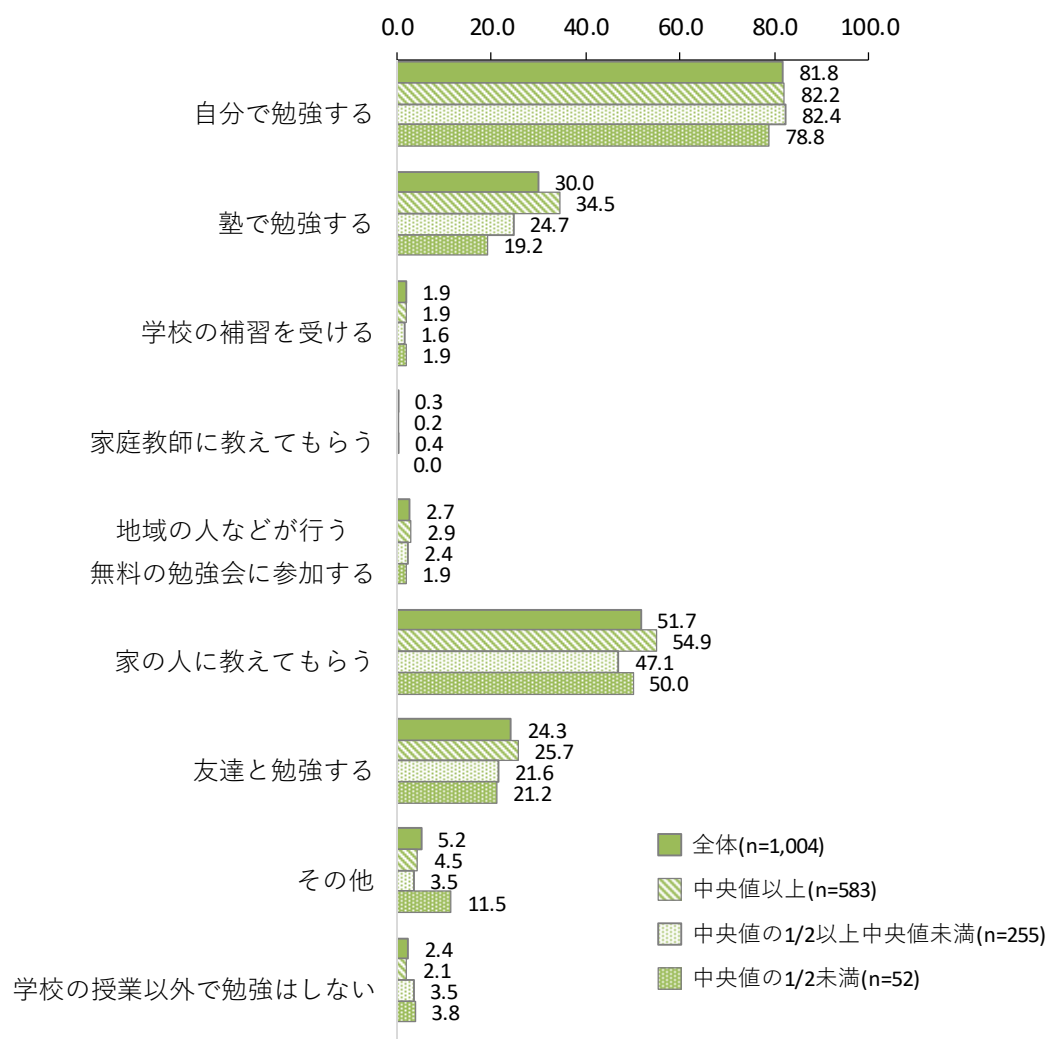
2.1 学習の状況

(1) ふだんの勉強の仕方

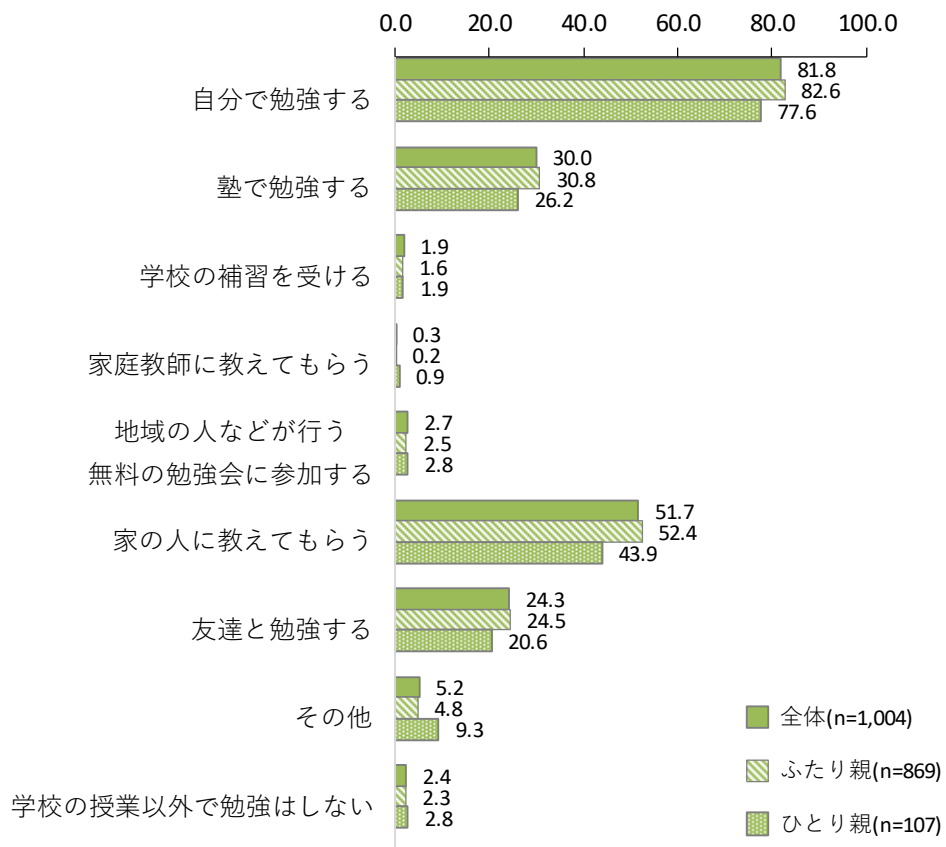
【小学5年生】

- ふだん学校の授業以外でどのように勉強しているかについて、「自分で勉強する」が81.8%で最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が51.7%、「塾で勉強する」が30.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高い世帯ほど「塾で勉強する」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「家の人に教えてもらう」の割合が低くなっています。

■学校の授業以外の勉強の仕方（世帯収入別）（小学5年生）



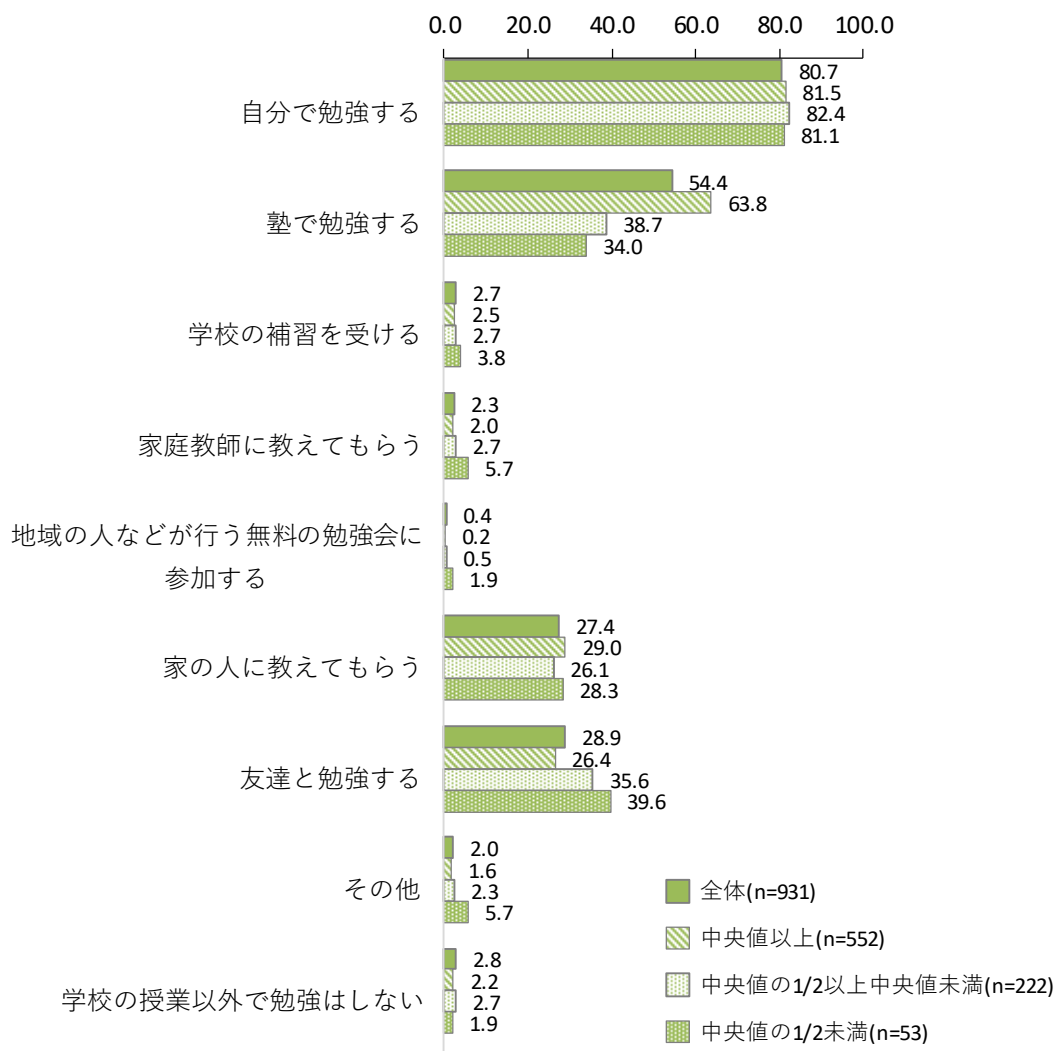
■学校の授業以外の勉強の仕方（世帯構成別）（小学5年生）



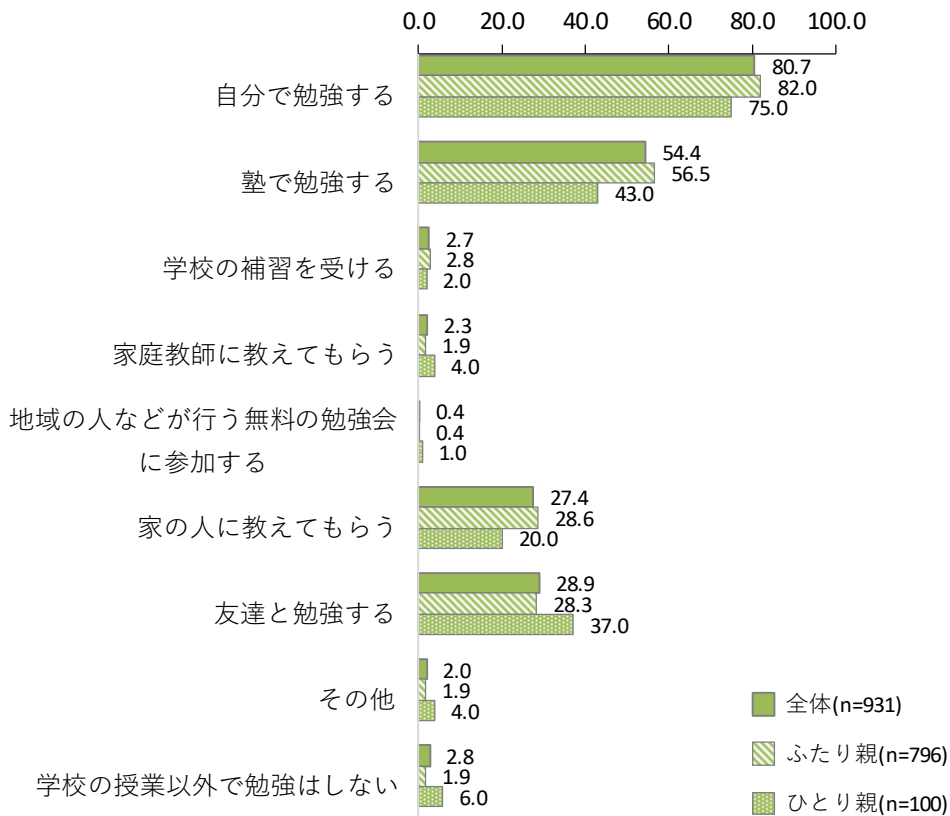
【中学2年生】

- ふだん学校の授業以外でどのように勉強しているかについて、「自分で勉強する」が 80.7%で最も高く、次いで「塾で勉強する」が 54.4%、「友達と勉強する」が 28.9%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「塾で勉強する」の割合が低く、「友達と勉強する」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」の割合が低く、「友達と勉強する」の割合が高くなっています。

■学校の授業以外の勉強の仕方（世帯収入別）（中学2年生）



■学校の授業以外の勉強の仕方（世帯構成別）（中学2年生）



（参考）国調査（R3）の結果

	n	自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
全体	2,715	76.7	47.2	4.9	2.7	0.9
中央値以上	1,310	77.7	56.4	4.8	3.1	0.3
中央値の1/2以上中央値未満	962	77.7	42.8	4.6	2.5	1.1
中央値の1/2未満	334	72.8	28.7	6.0	1.5	2.7
ふたり親	2,341	78.0	49.2	4.9	2.8	0.6
ひとり親	338	71.0	37.0	5.9	2.4	3.3
	n	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
全体	2,715	24.4	26.5	4.9	4.9	0.7
中央値以上	1,310	28.2	27.3	5.0	2.6	—
中央値の1/2以上中央値未満	962	21.2	26.5	4.8	5.8	—
中央値の1/2未満	334	20.1	24.3	4.8	12.3	—
ふたり親	2,341	26.0	26.7	4.9	4.1	—
ひとり親	338	14.8	26.0	4.7	10.7	—

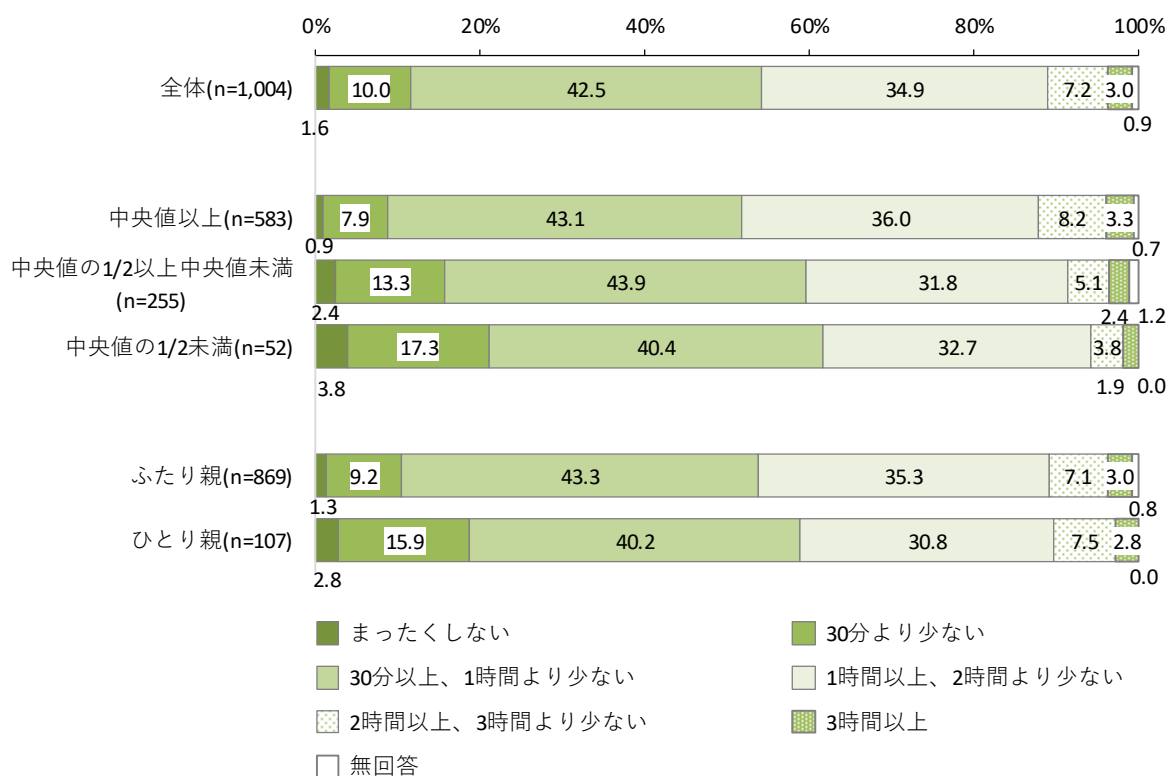
(2) 1日あたりの勉強時間

①学校がある日

【小学5年生】

- 学校がある日（月～金曜日）の学校の授業以外の勉強時間について、「30分以上、1時間より少ない」が42.5%で最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が34.9%、「30分より少ない」が10.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低い世帯ほど30分未満の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみるとひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて、30分未満の割合が高くなっています。

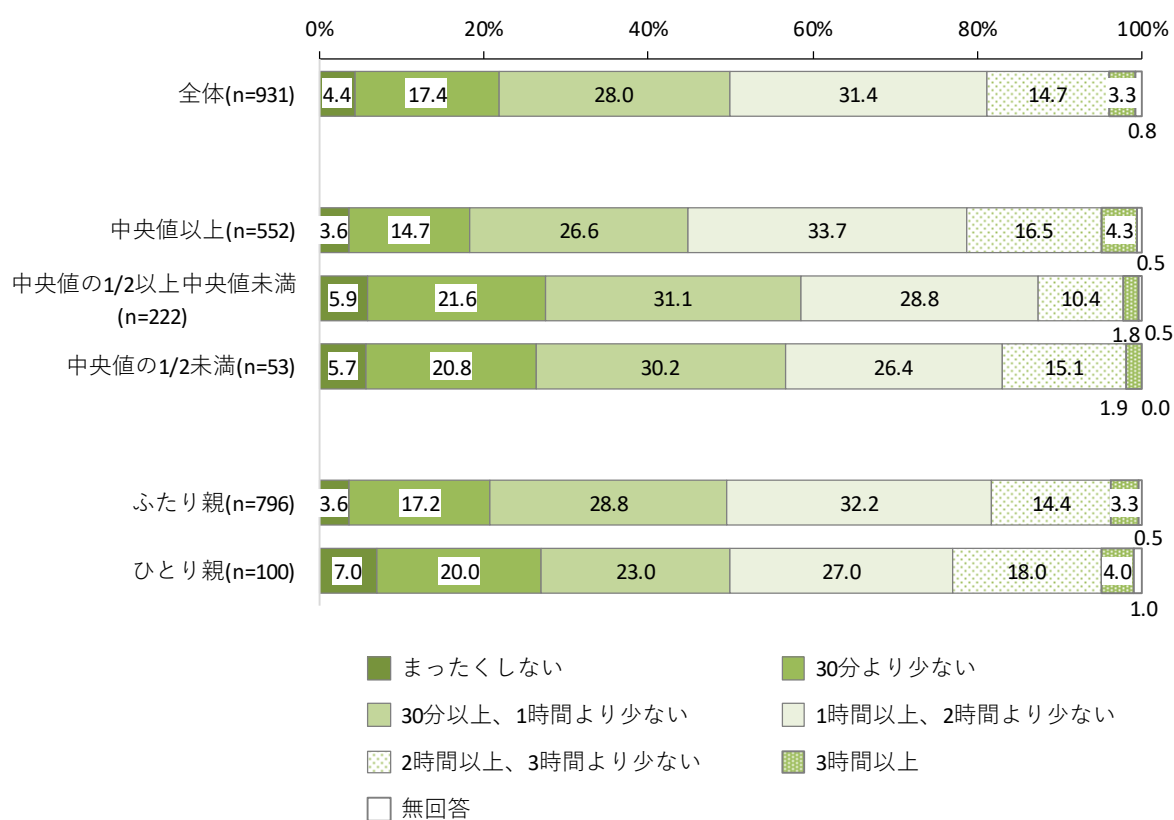
■学校がある日の学校の授業以外の勉強時間（小学5年生）



【中学2年生】

- 学校がある日（月～金曜日）の学校の授業以外の勉強時間について、「1時間以上、2時間より少ない」が31.4%で最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が28.0%、「30分より少ない」が17.4%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて1時間未満の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみるとひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて、30分未満の割合が高くなっています。

■学校がある日の学校の授業以外の勉強時間（中学2年生）



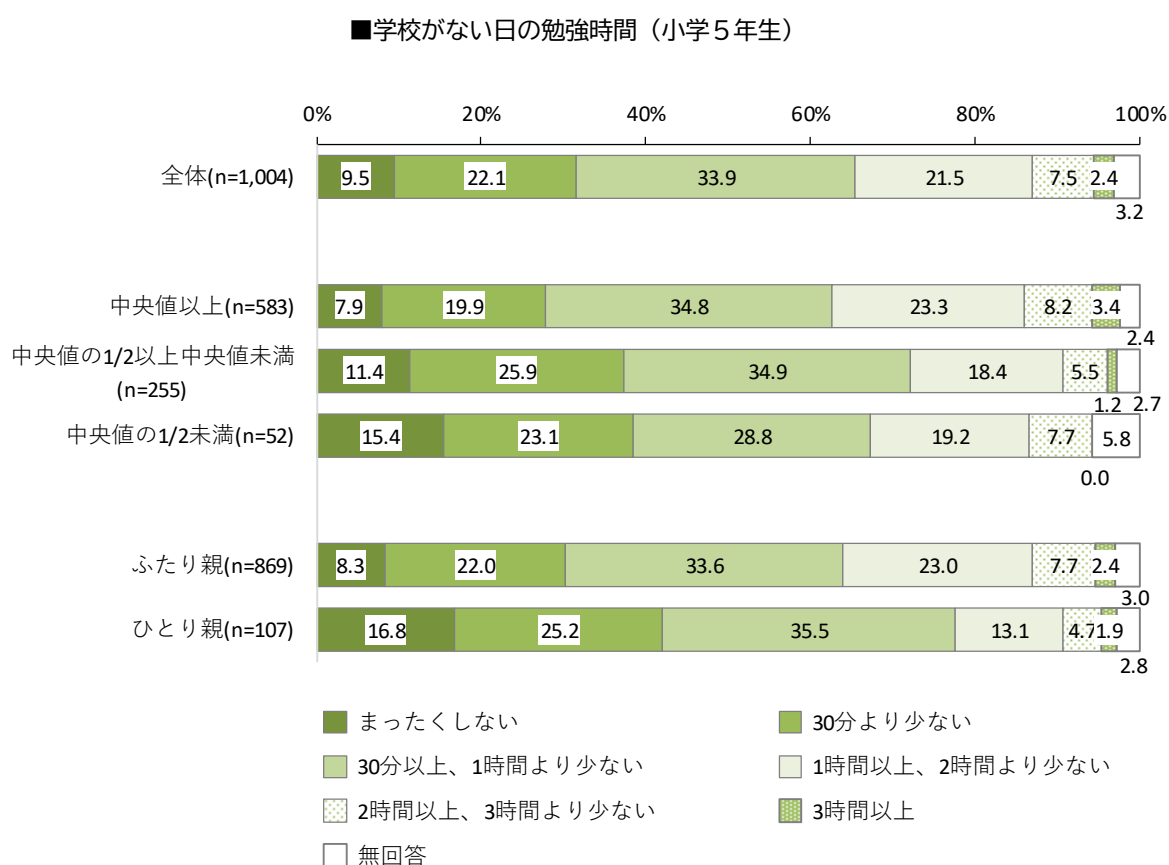
（参考）国調査（R3）の結果

	n	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
全体	2,715	5.3	15.4	28.5	32.6	12.6	4.8	0.8
中央値以上	1,309	3.4	13.4	27.7	32.9	16.0	6.6	—
中央値の1/2以上中央値未満	961	5.6	18.8	28.7	34.0	9.7	3.1	—
中央値の1/2未満	334	12.3	13.8	33.8	27.8	8.7	3.6	—
ふたり親	2,340	4.5	15.1	28.5	33.7	13.3	4.9	—
ひとり親	337	11.0	17.8	30.9	27.3	8.9	4.2	—

②学校がない日

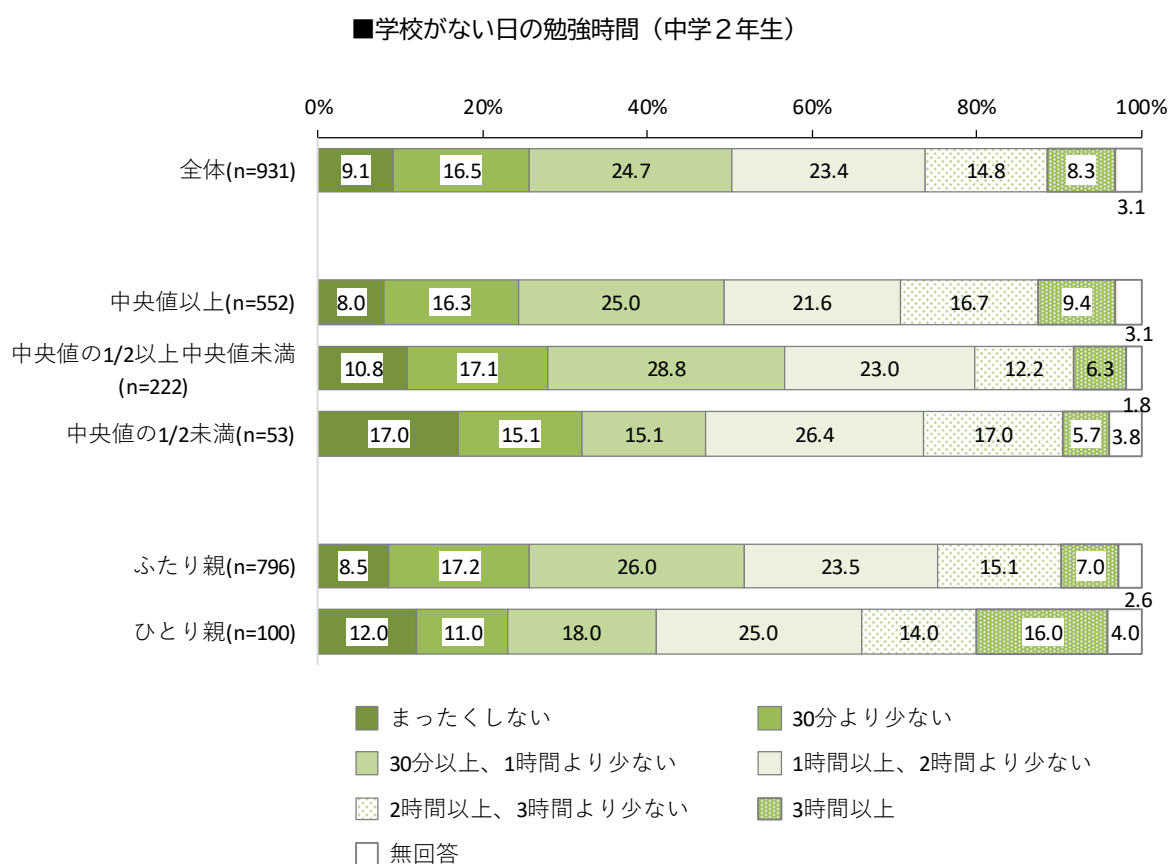
【小学5年生】

- 学校がない日（土・日曜日・祝日）の勉強時間について、「30分以上、1時間よりすくない」が33.9%で最も高く、次いで「30分より少ない」が22.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が21.5%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「まったくしない」の割合が高くなっています。また、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「30分より少ない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて30分未満の割合が高く、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 学校がない日（土・日曜日・祝日）の勉強時間について、「30分以上、1時間より少ない」が24.7%で最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.4%、「30分より少ない」が16.5%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「まったくしない」の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「30分以上、1時間より少ない」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「3時間以上」の割合が高く、「30分以上、1時間より少ない」の割合が低くなっています。



（参考）国調査（R3）の結果

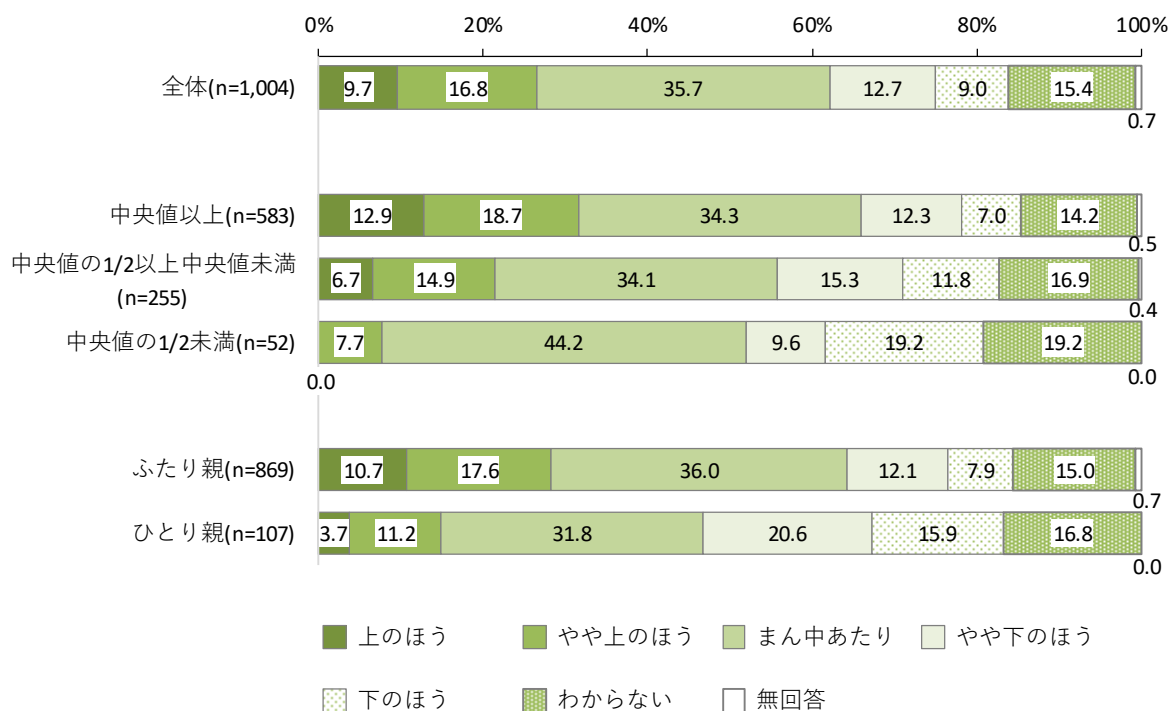
	n	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
全体	2,715	12.6	15.3	22.6	23.8	14.5	9.5	1.8
中央値以上	1,298	10.1	13.9	21.6	24.3	16.7	13.3	—
中央値の1/2以上中央値未満	954	13.1	17.7	25.3	24.4	13.0	6.5	—
中央値の1/2未満	327	22.0	15.3	23.2	24.5	10.4	4.6	—
ふたり親	2,320	11.6	14.9	23.1	24.8	15.5	10.2	—
ひとり親	330	21.5	19.7	22.4	20.6	9.4	6.4	—

(3) クラスの中での成績

【小学5年生】

- クラスの中での成績について、「まん中あたり」が35.7%で最も高く、次いで「やや上のほう」が16.8%、「わからない」が15.4%と続いています。
- 「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた『上のほう』は26.5%、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた『下のほう』は21.7%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高いほど『上のほう』の割合が高くなっています。また、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「下のほう」、「まん中あたり」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『下のほう』の割合が高く、『上のほう』の割合が低くなっています。

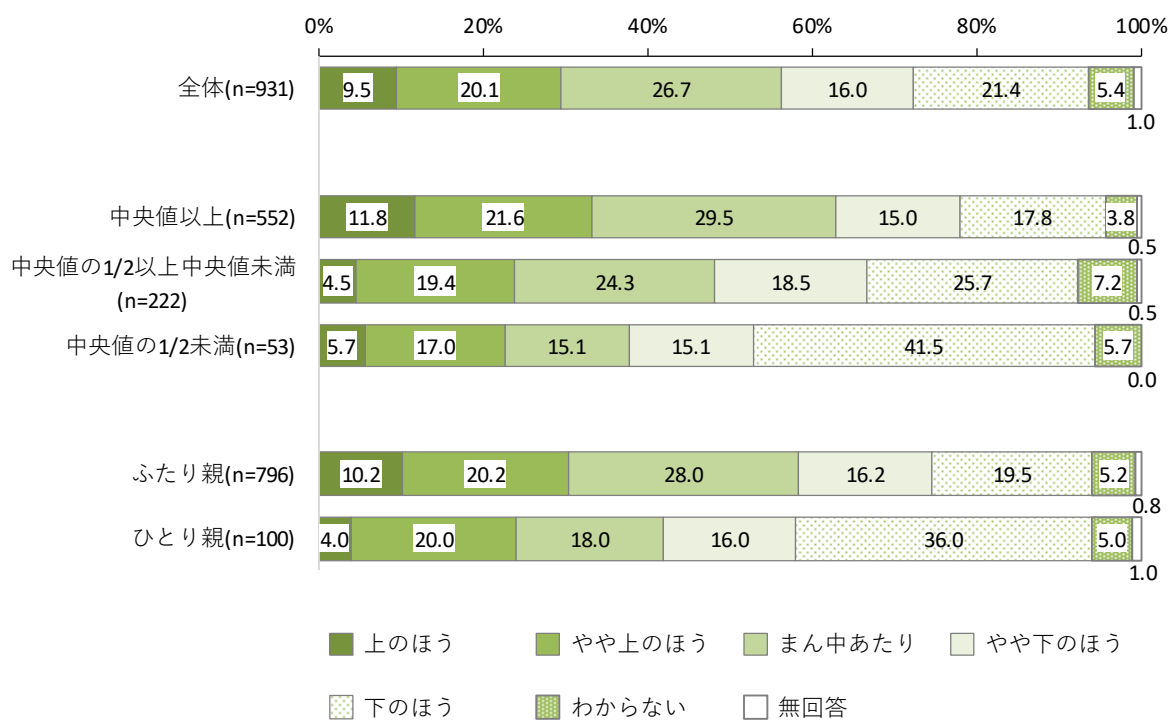
■クラスの中での成績（小学5年生）



【中学2年生】

- クラスの中での成績について、「まん中あたり」が26.7%で最も高く、次いで「下のほう」が21.4%、「やや上のほう」が20.1%と続いています。
- 「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた『上のほう』は29.6%、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた『下のほう』は37.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「下のほう」の割合が高く、「まん中あたり」の割合が低くなっています。また、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて『上のほう』の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「下のほう」の割合が高く、「まん中あたり」、「上のほう」の割合が低くなっています。

■クラスの中での成績（中学2年生）



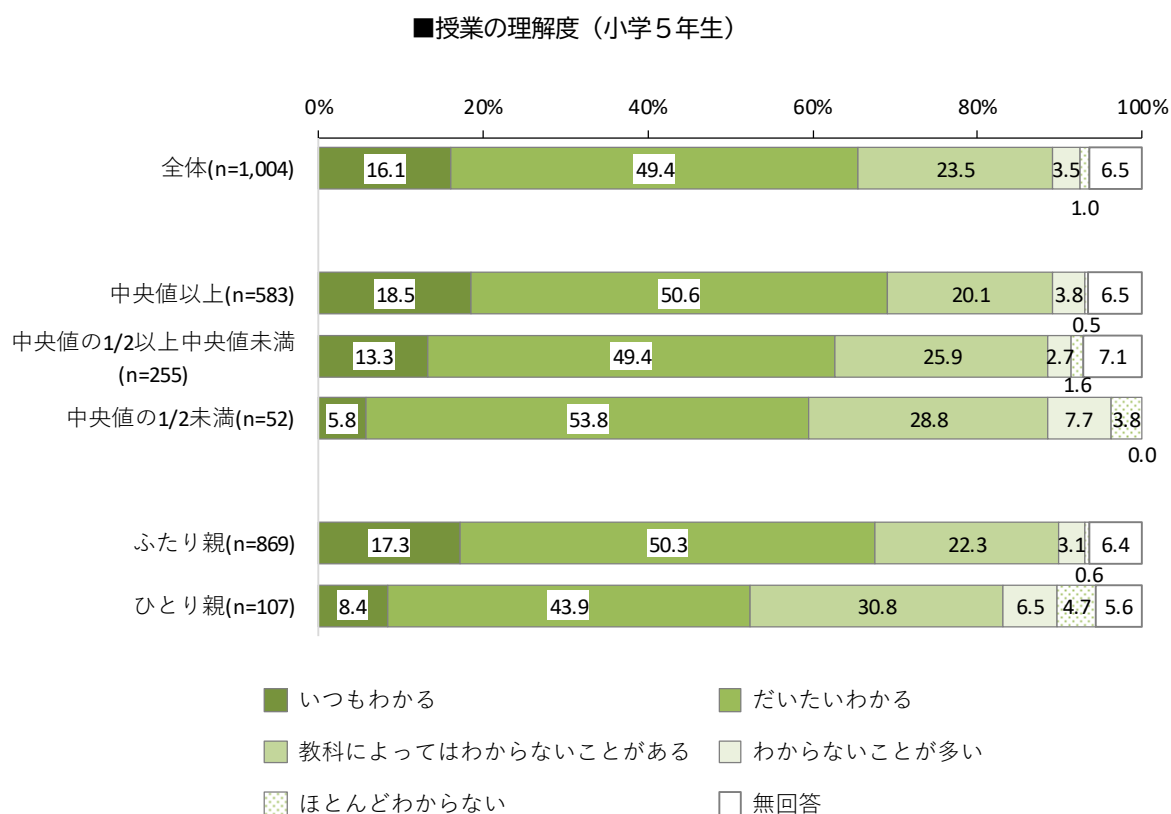
（参考）国調査（R3）の結果

	n	上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない	無回答
全体	2,715	13.4	20.8	27.8	15.7	17.3	4.8	0.2
中央値以上	1,316	16.6	24.8	28.9	15.2	10.8	3.7	—
中央値の1/2以上中央値未満	966	11.8	18.4	27.7	16.1	20.2	5.7	—
中央値の1/2未満	336	6.8	10.7	23.8	19.0	33.0	6.5	—
ふたり親	2,354	14.3	22.3	28.2	15.5	15.2	4.6	—
ひとり親	339	7.1	10.6	25.4	17.7	32.4	6.8	—

(4) 授業の理解度

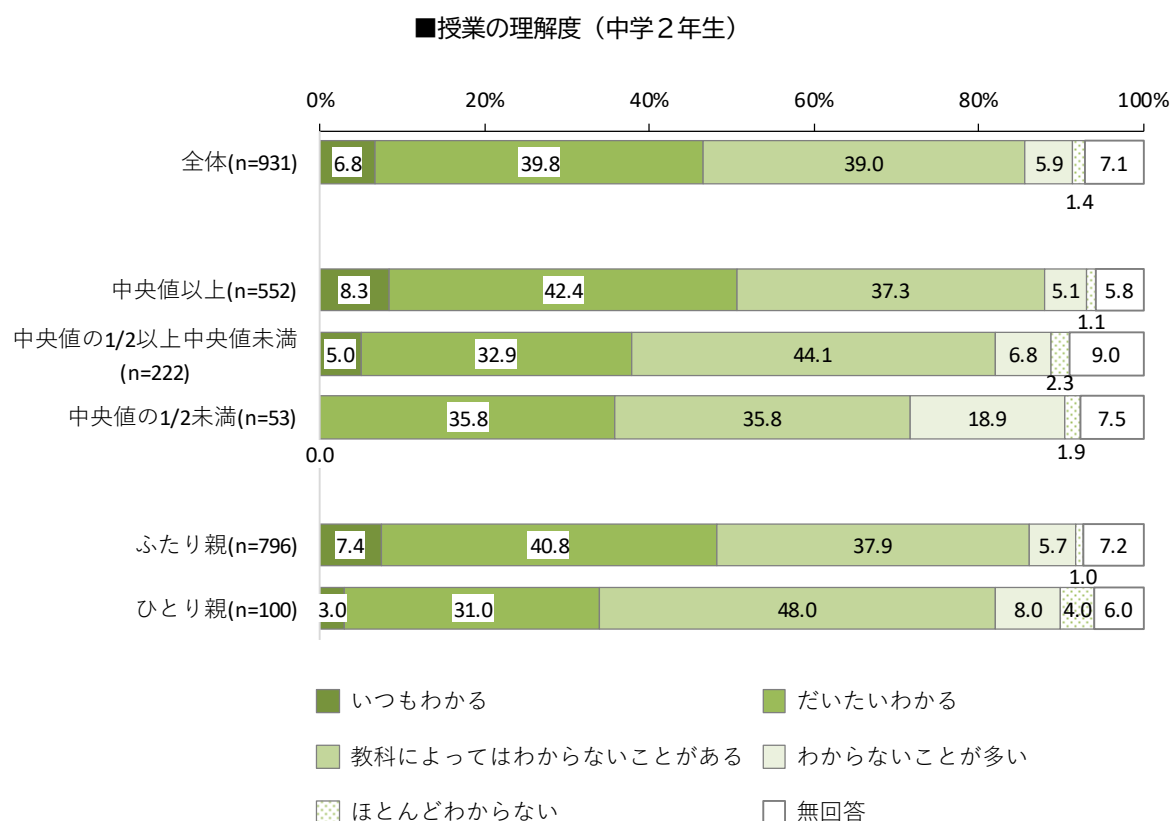
【小学5年生】

- 学校の授業の理解度について、「だいたいわかる」が49.4%で最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が23.5%、「いつもわかる」が16.1%と続いています。
- 「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる』は65.5%、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた『わからない』は4.5%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高い世帯ほど「いつもわかる」の割合が高くなっています。また、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「教科によってはわからないことがある」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『わかる』の割合が低く、「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」の割合が高くなっています。



【中学2年生】

- 学校の授業の理解度について、「だいたいわかる」が39.8%で最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が39.0%、「いつもわかる」が6.8%と続いています。
- 「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる』は46.6%、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた『わからない』は7.3%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて『わかる』の割合が低くなっています。また、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『わからない』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『わかる』の割合が低く、「教科によってはわからないことがある」、「わからない」の割合が高くなっています。



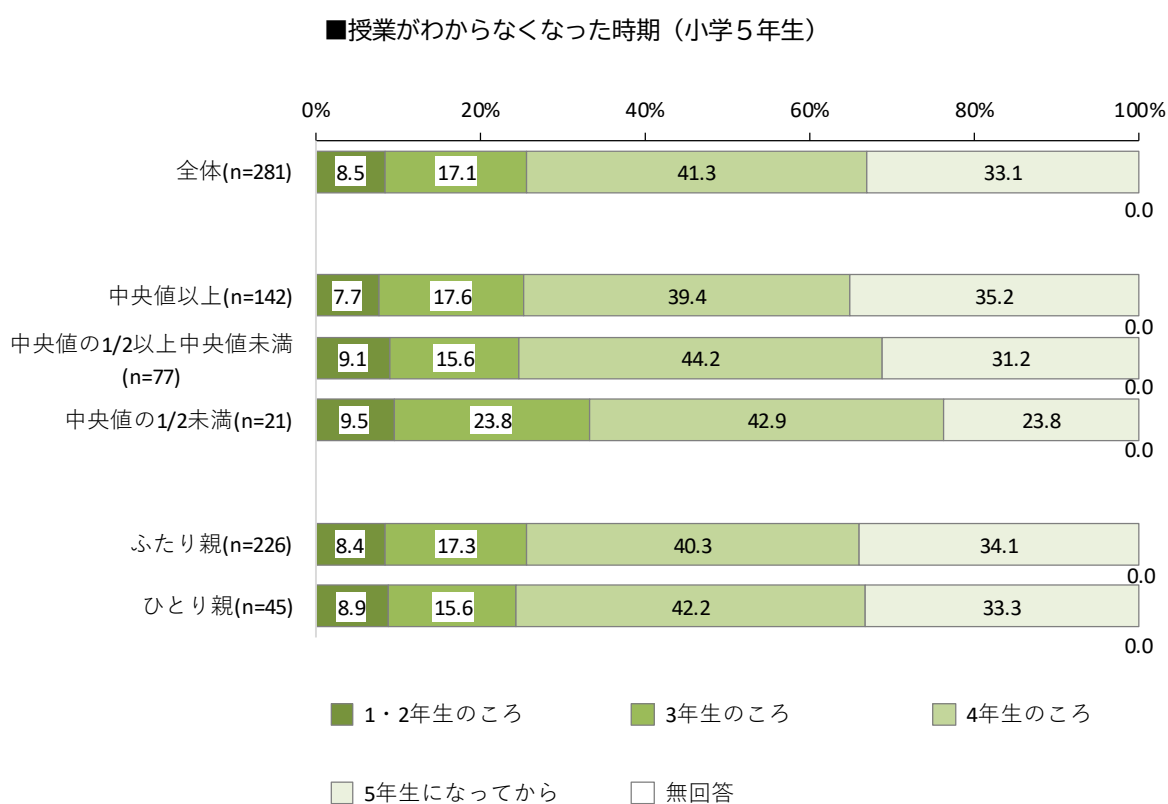
(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	いつもわかる	だいたいわかる	教科によつてはわからないことがある	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
全体	2,715	10.1	34.3	44.0	8.6	2.8	0.2
中央値以上	1,315	13.4	41.8	37.5	6.0	1.3	-
中央値の1/2以上中央値未満	965	7.7	28.9	51.0	8.7	3.7	-
中央値の1/2未満	337	5.0	23.1	47.8	17.8	6.2	-
ふたり親	2,354	10.7	35.8	43.6	7.5	2.3	-
ひとり親	338	5.6	25.4	46.7	16.0	6.2	-

(5) 授業がわからなくなった時期

【小学5年生】

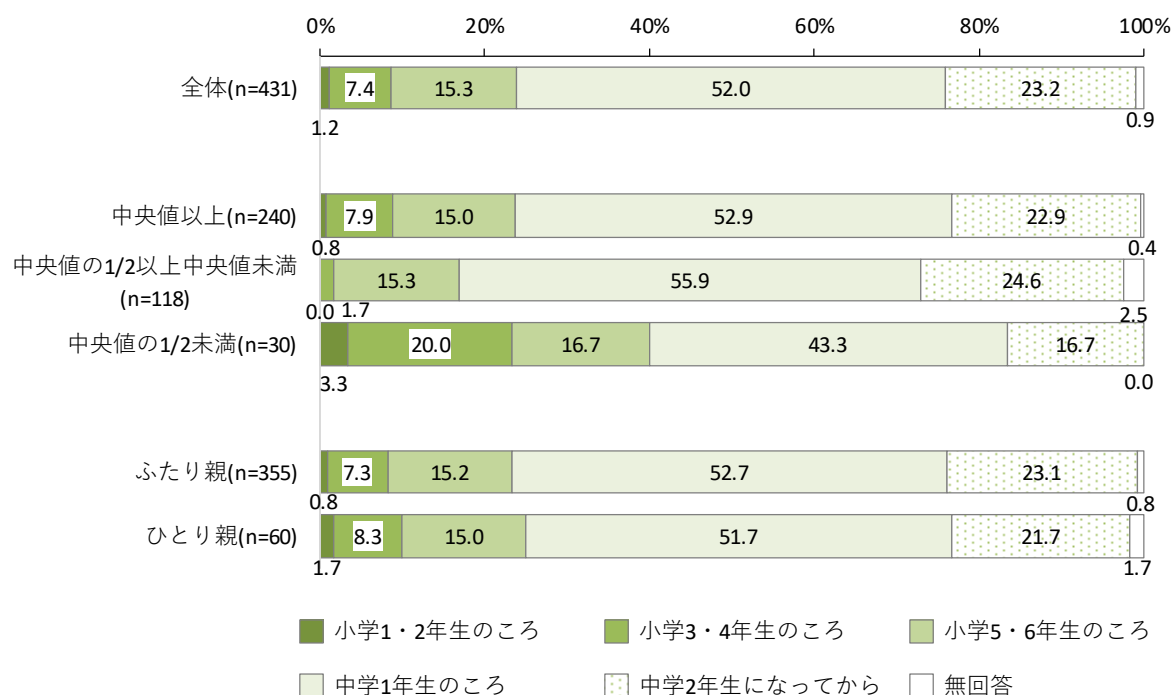
- 学校の授業の理解度において「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した人に、わからなくなった時期についてうかがったところ、「4年生のころ」が41.3%で最も高く、次いで「5年生になってから」が33.1%、「3年生のころ」が17.1%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「3年生のころ」の割合が高く、「5年生になってから」の割合が低くなっています。
- 世帯構成による大きな違いはみられません。



【中学2年生】

- 学校の授業の理解度において「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した人に、わからなくなった時期についてうかがったところ、「中学1年生のころ」が52.0%で最も高く、次いで「中学2年生になってから」が23.2%、「小学5・6年生のころ」が15.3%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「小学3・4年生のころ」の割合が高く、「中学1年生のころ」の割合が低くなっています。
- 世帯構成による大きな違いはみられません。

■授業がわからなくなった時期（中学2年生）



(参考) 国調査 (R3) の結果

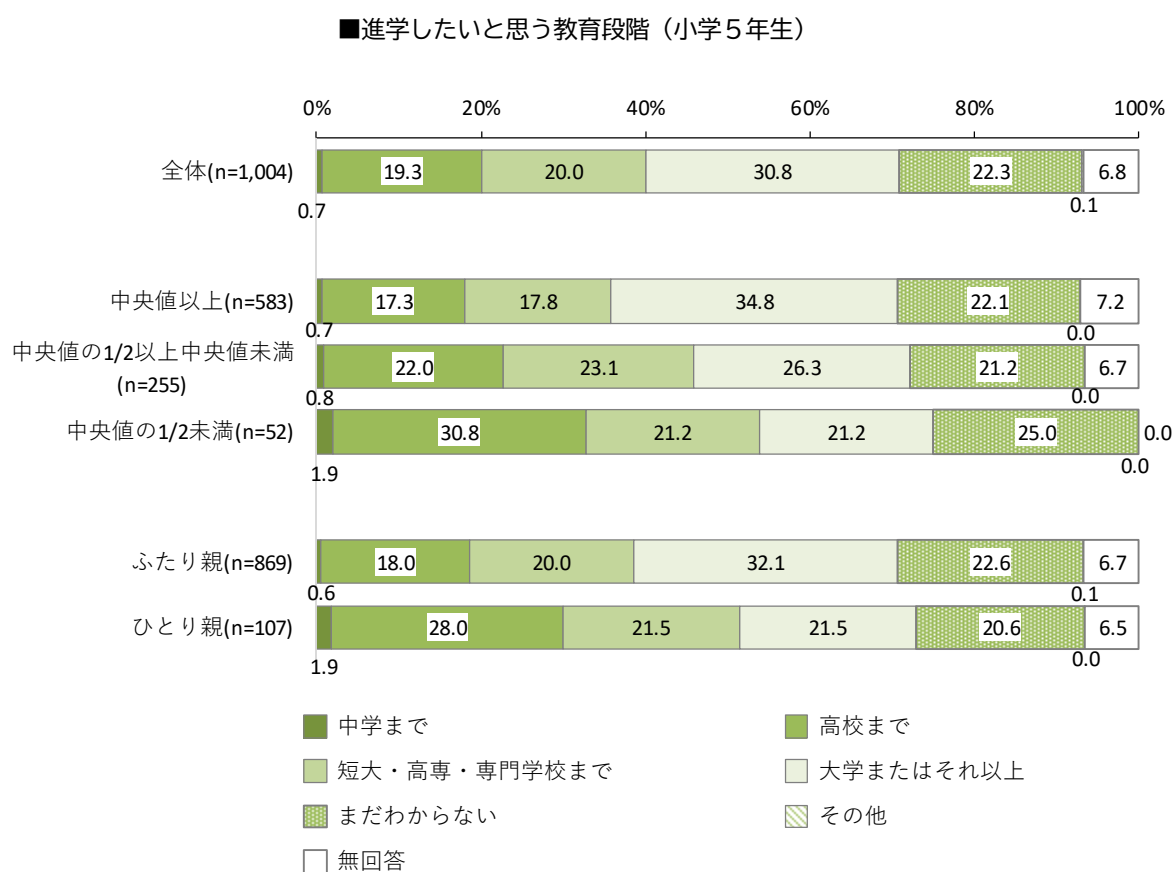
	n	小学1・2年生のころ	小学3・4年生のころ	小学5・6年生のころ	中学1年生のころ	中学2年生になってから	無回答
全体	1,504	3.0	6.8	17.8	50.5	21.7	0.2
中央値以上	589	3.2	6.3	17.0	48.4	25.1	—
中央値の1/2以上中央値未満	610	3.0	7.0	17.0	50.8	22.1	—
中央値の1/2未満	241	2.5	6.6	21.1	56.4	13.3	—
ふたり親	1,256	3.1	6.4	17.8	49.1	23.6	—
ひとり親	233	2.6	9.4	19.3	55.8	12.9	—

2.2 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

【小学5年生】

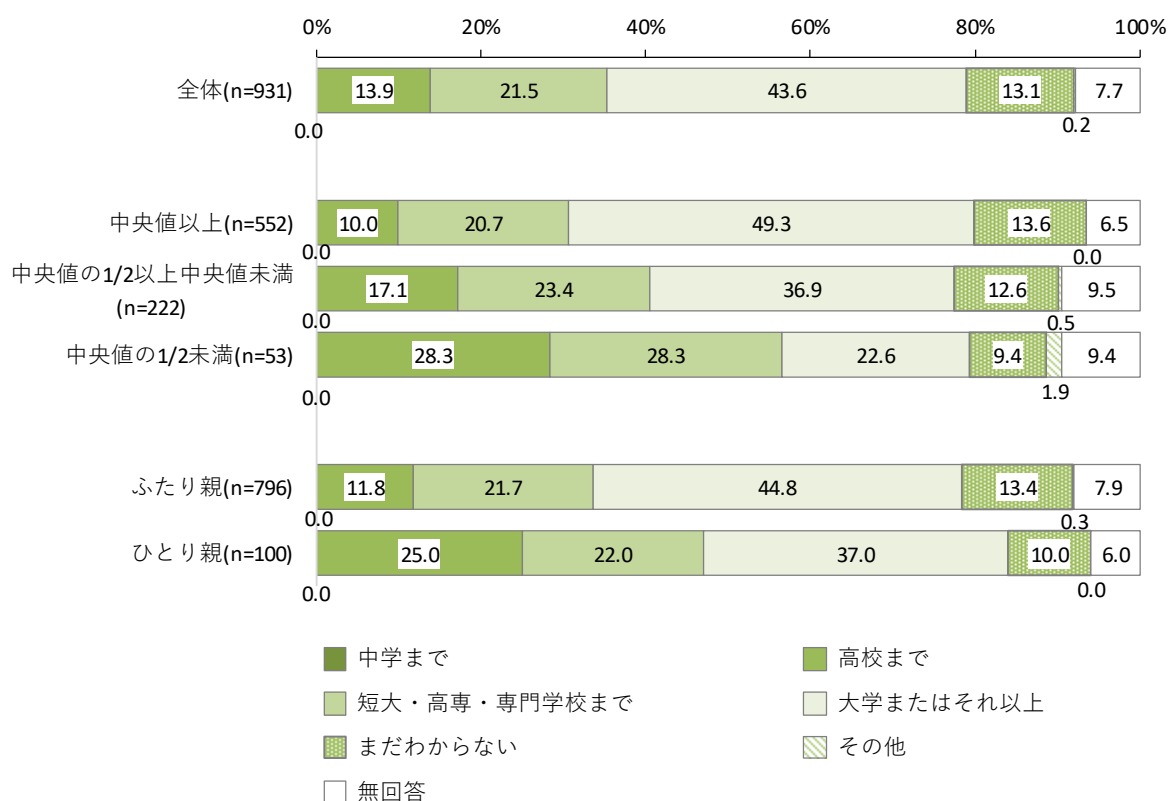
- 将来、どの段階まで進学したいかについて、「大学またはそれ以上」が30.8%で最も高く、次いで「まだわからない」が22.3%、「短大・高専・専門学校まで」が20.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低い世帯ほど「高校まで」の割合が高く、「大学またはそれ以上」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「高校まで」の割合が高く、「大学またはそれ以上」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 将来、どの段階まで進学したいかについて、「大学またはそれ以上」が43.6%で最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が21.5%、「高校まで」が13.9%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低い世帯ほど「高校まで」の割合が高く、「大学またはそれ以上」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「高校まで」の割合が高く、「大学またはそれ以上」の割合が低くなっています。

■進学したいと思う教育段階（中学2年生）



(参考) 国調査 (R3) の結果

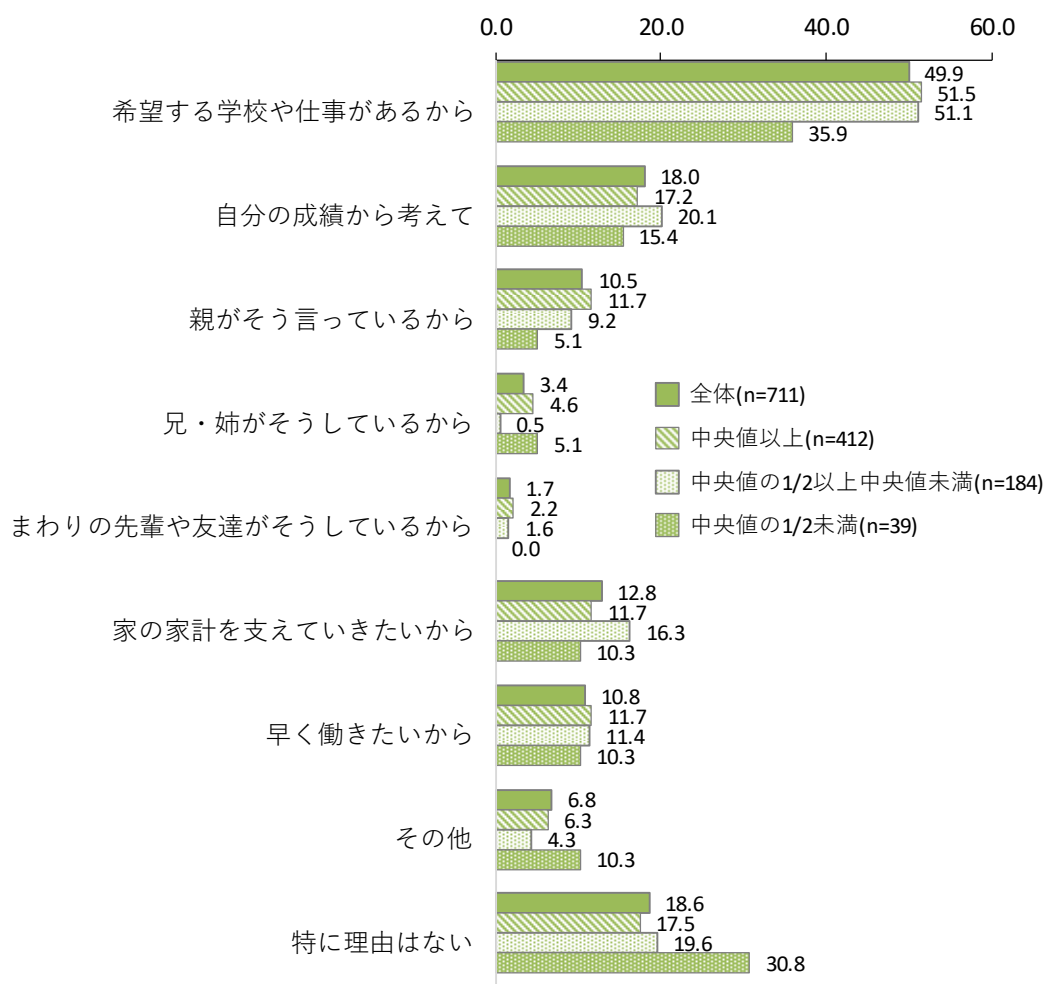
	n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
全体	2,715	0.3	14.8	16.3	49.7	18.2	0.7
中央値以上	1,310	0.2	7.7	12.4	64.3	15.5	-
中央値の1/2以上中央値未満	959	0.1	18.9	21.6	38.1	21.4	-
中央値の1/2未満	336	1.2	32.7	17.3	28.0	20.8	-
ふたり親	2,341	0.2	13.6	16.1	52.2	17.9	-
ひとり親	337	0.6	24.3	19.0	34.7	21.4	-

(2) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

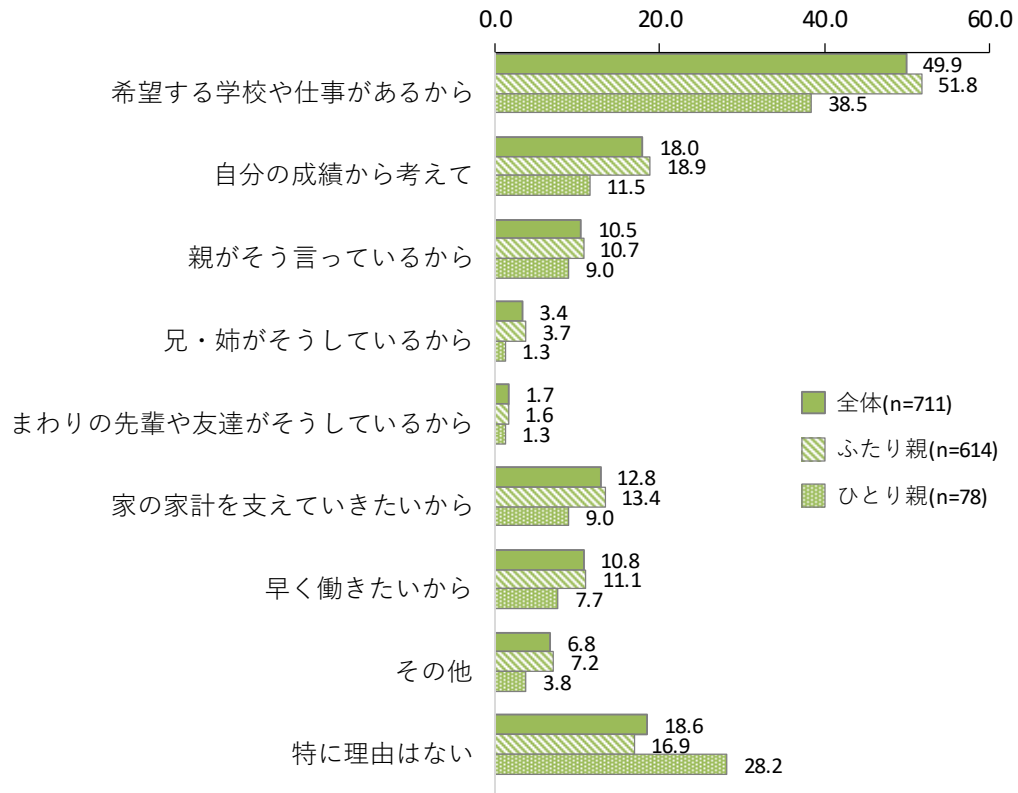
【小学5年生】

- 進学希望の理由について、「希望する学校や仕事があるから」が49.9%で最も高く、次いで「特に理由はない」が18.6%、「自分の成績から考えて」が18.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「特に理由はない」の割合が高く、「希望する学校や仕事があるから」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「特に理由はない」の割合が高く、「希望する学校や仕事があるから」の割合が低くなっています。

■進学したいと思う教育段階についてそう考える理由（世帯収入別）（小学5年生）



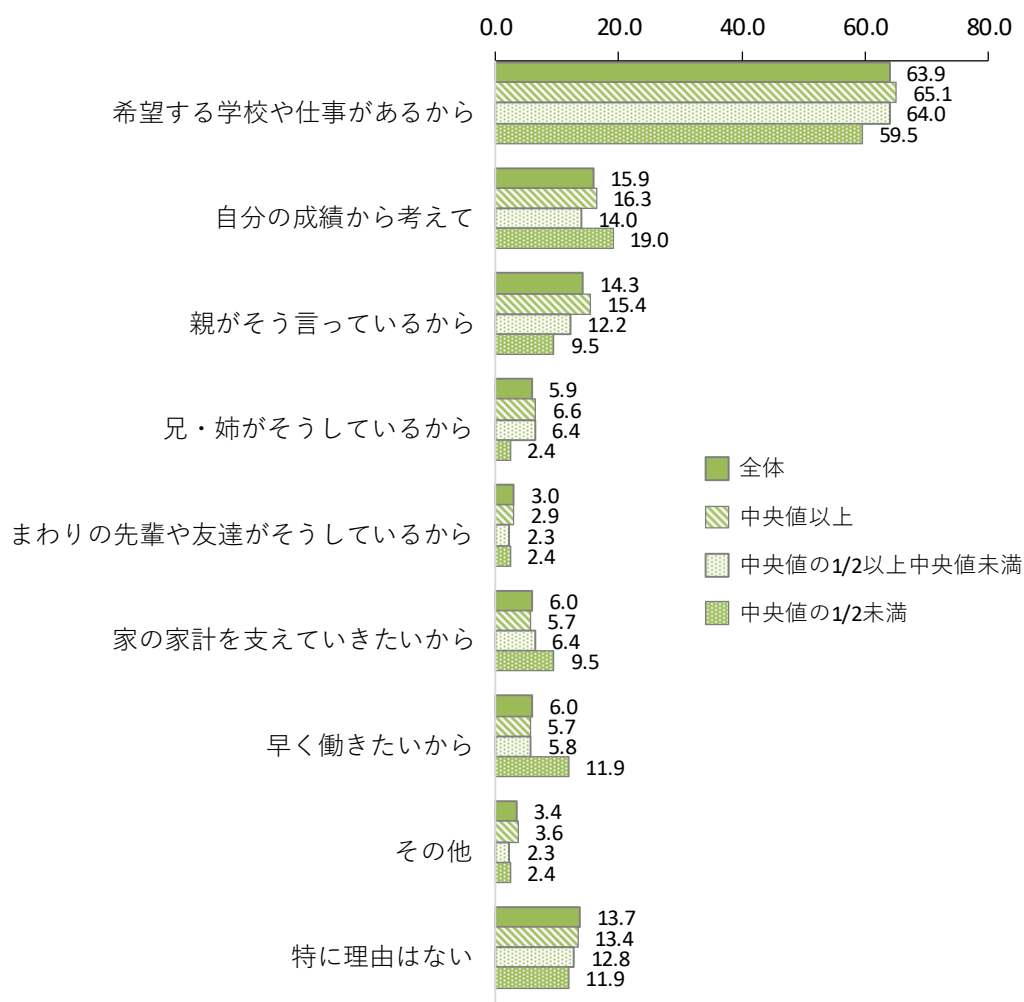
■進学したいと思う教育段階についてそう考える理由（世帯構成別）（小学5年生）



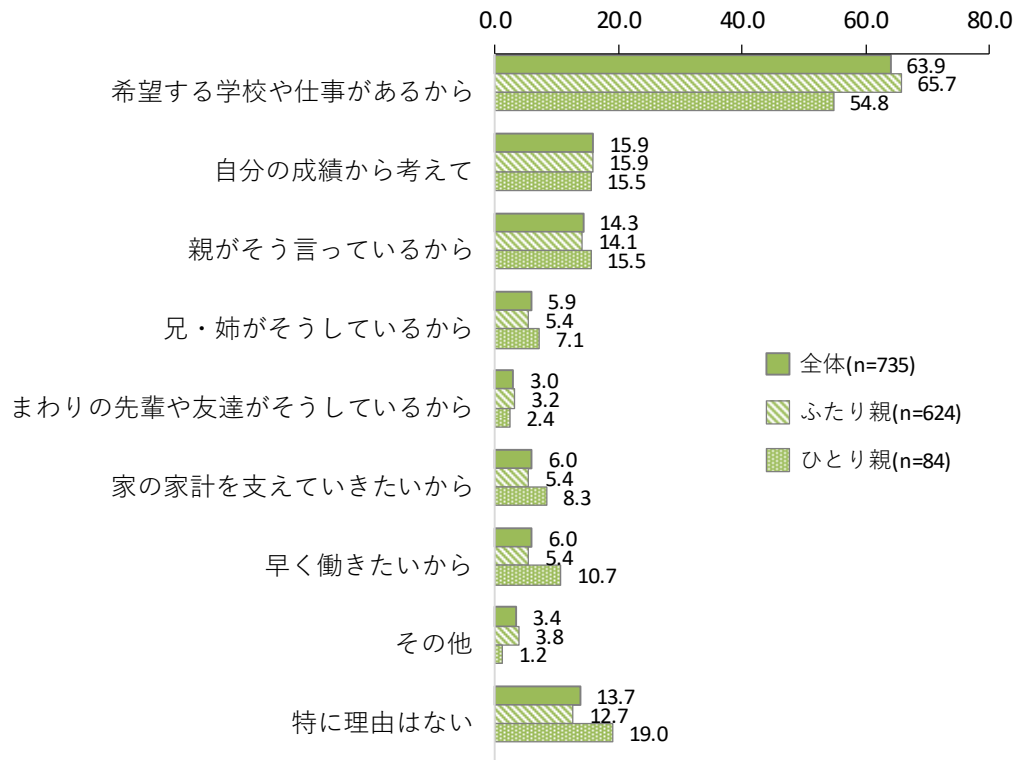
【中学2年生】

- 進学希望の理由について、「希望する学校や仕事があるから」が63.9%で最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が15.9%、「親がそう言っているから」が14.3%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「早く働きたいから」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「希望する学校や仕事があるから」の割合が低く、「早く働きたいから」、「特に理由はない」の割合が高くなっています。

■進学したいと思う教育段階についてそう考える理由（世帯収入別）（中学2年生）



■進学したいと思う教育段階についてそう考える理由（世帯構成別）（中学2年生）

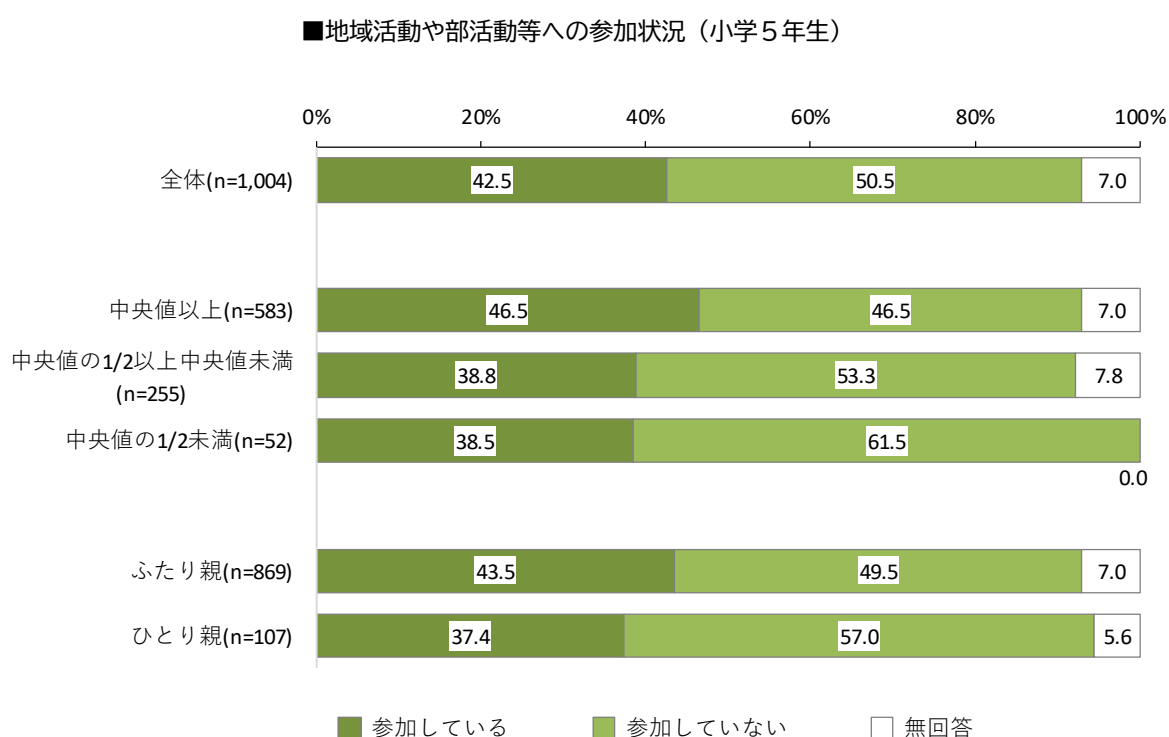


2.3 地域活動や部活動等への参加状況

(1) 地域活動や部活動等への参加状況

【小学5年生】

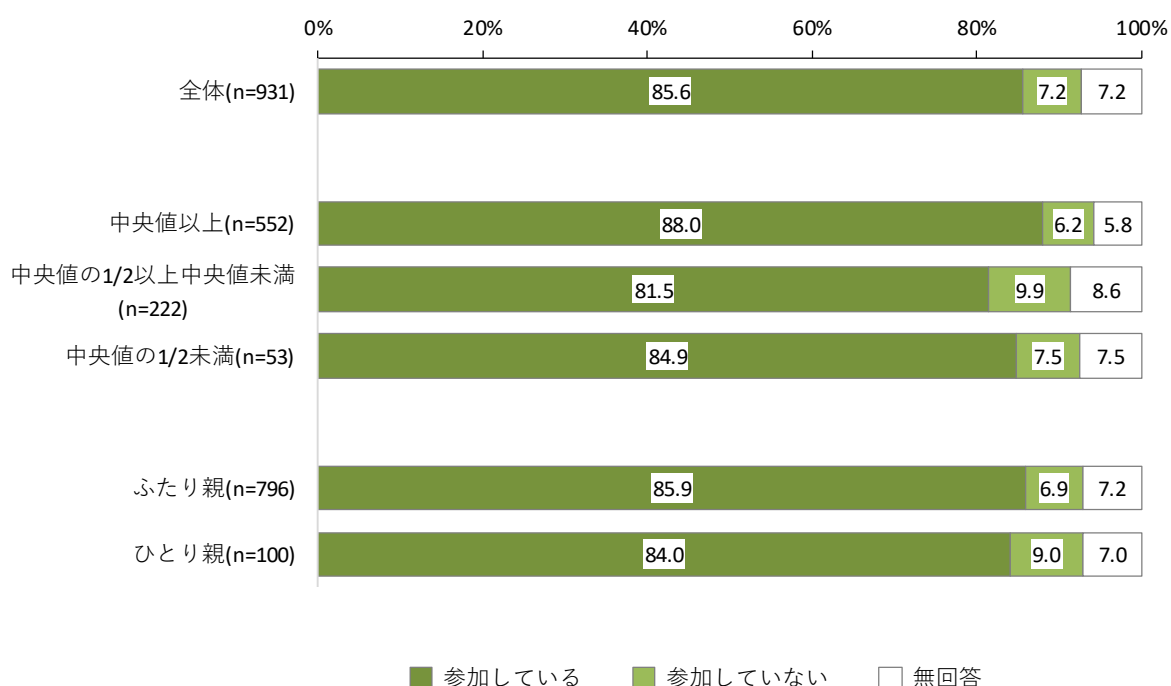
- 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況について、「参加している」が42.5%、「参加していない」が50.5%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「参加している」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「参加している」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況について、「参加している」が85.6%、「参加していない」が7.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2以上中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「参加している」の割合が低くなっています。
- 世帯構成による大きな違いはみられません。

■地域活動や部活動等への参加状況（中学2年生）



（参考）国調査（R3）の結果

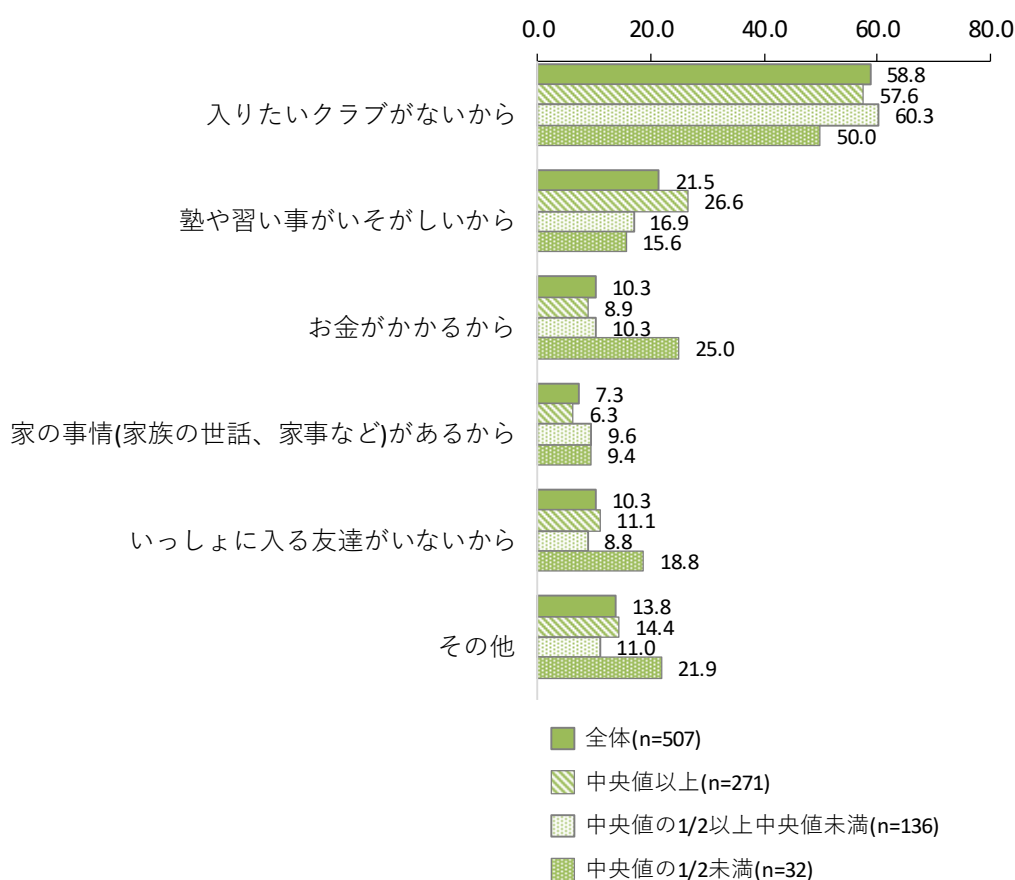
	n	参加して いる	参加して いない	無回答
全体	2,715	85.1	14.6	0.3
中央値以上	1,315	87.6	12.4	—
中央値の1/2以上中央値未満	964	86.3	13.7	—
中央値の1/2未満	336	76.2	23.8	—
ふたり親	2,351	86.9	13.1	—
ひとり親	339	76.1	23.9	—

(2) 部活動等に参加していない理由

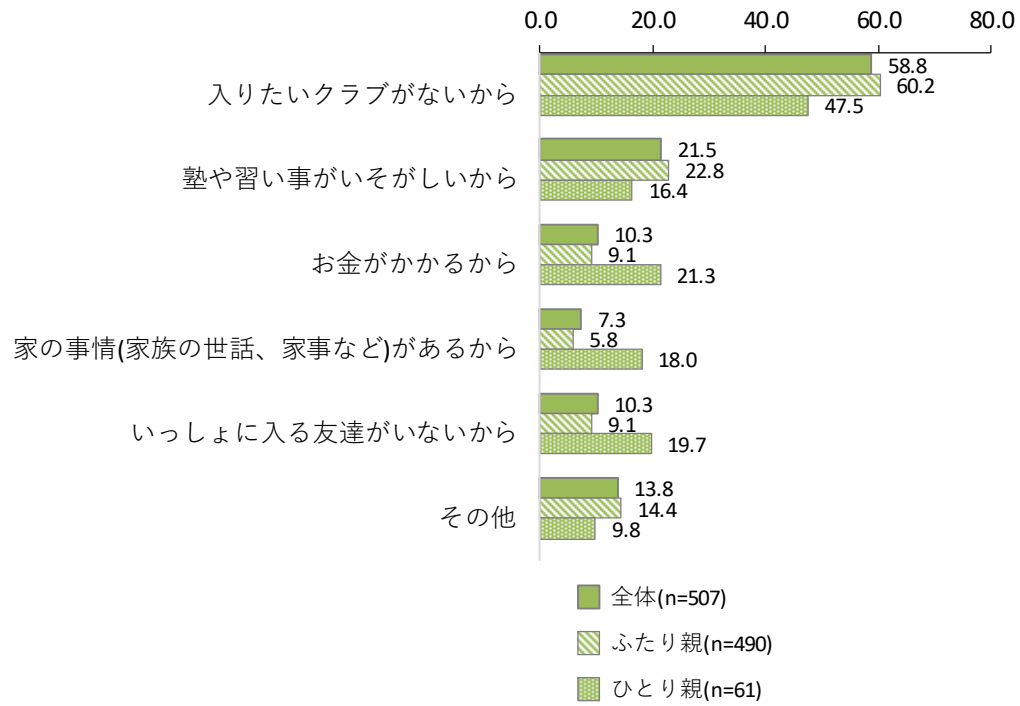
【小学5年生】

- 部活動等に「参加していない」と回答した人にその理由をうかがったところ、「入りたいクラブ・部活動がないから」が58.8%で最も高く、次いで「塾や習い事がいそがしいから」が21.5%、「その他」が13.8%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「お金がかかるから」、「いっしょに入る友達がいないから」、「その他」の割合が高く、「入りたいクラブがないから」の割合が低くなっています。また、中央値以上の世帯では、中央値未満の世帯に比べて「塾や習い事がいそがしいから」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり世帯では、ふたり世帯に比べて「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」、「お金がかかるから」、「いっしょに入る友達がいないから」の割合が高く、「入りたいクラブがないから」、「塾や習い事がいそがしいから」の割合が低くなっています。

■部活動等に参加していない理由（世帯収入別）（小学5年生）



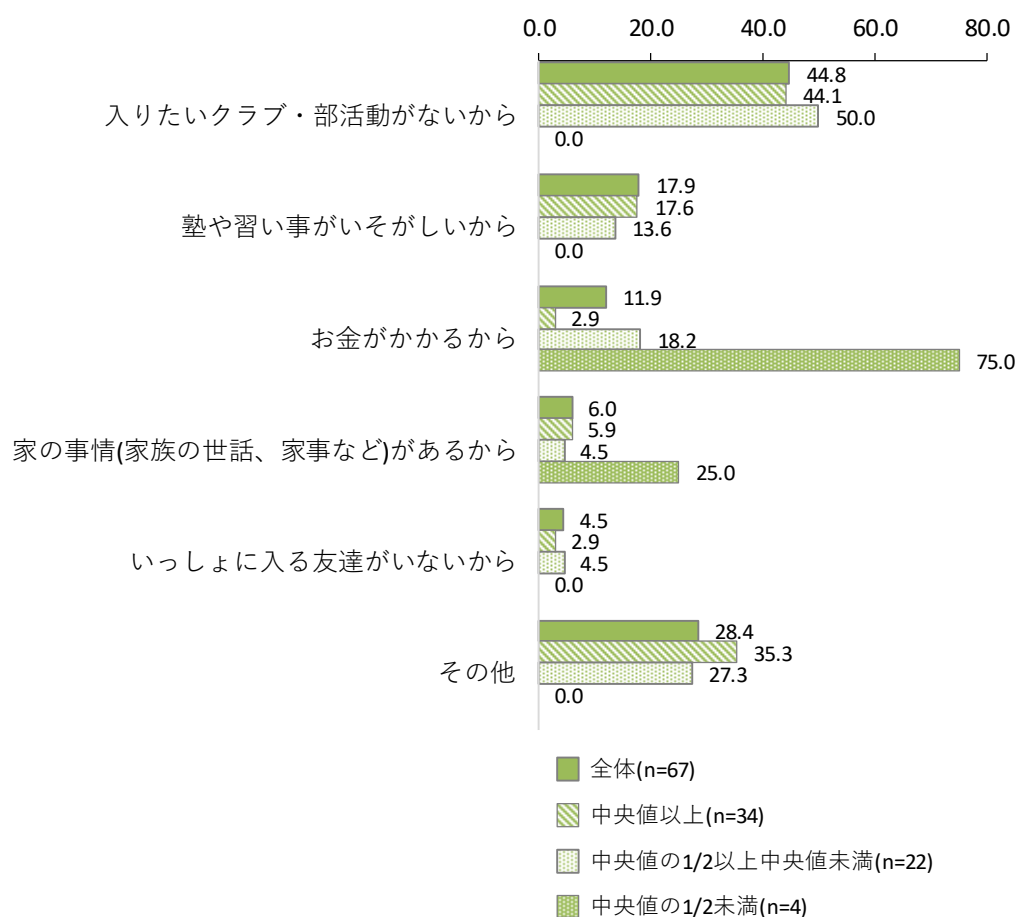
■部活動等に参加していない理由（世帯構成別）（小学5年生）



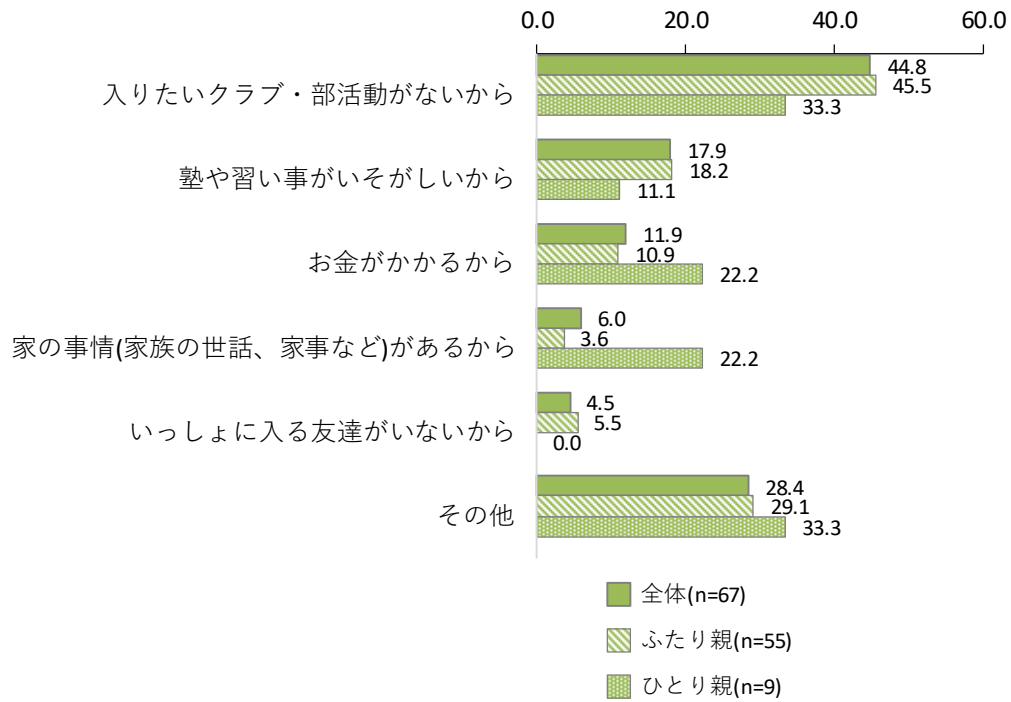
【中学2年生】

- 部活動等に「参加していない」と回答した人にその理由をうかがったところ、「入りたいクラブ・部活動がないから」が44.8%で最も高く、次いで「その他」が28.4%、「塾や習い事がいそがしいから」が17.9%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「お金がかかるから」、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」の割合が高く、「入りたいクラブ・部活動がないから」、「塾や習い事がいそがしいから」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり世帯では、ふたり世帯に比べて「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」、「お金がかかるから」の割合が高く、「入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が低くなっています。

■部活動等に参加していない理由（世帯収入別）（中学2年生）



■部活動等に参加していない理由（世帯構成別）（中学2年生）



（参考）国調査（R3）の結果

	n	入りたいクラブ・部活動がないから	塾や習い事がいそがしいから	費用がかかるから	家の事情(家族の世話、家事など)がある	いっしょに入る友達がいないから	その他	無回答
全体	396	41.2	14.9	9.3	4.0	6.8	39.6	2.3
中央値以上	161	47.8	21.7	5.0	2.5	6.8	33.5	—
中央値の1/2以上中央値未満	128	39.1	12.5	9.4	3.1	4.7	46.9	—
中央値の1/2未満	78	39.7	6.4	19.2	9.0	9.0	41.0	—
ふたり親	303	43.2	18.2	7.3	3.0	7.3	39.3	—
ひとり親	79	38.0	3.8	17.7	7.6	6.3	46.8	—

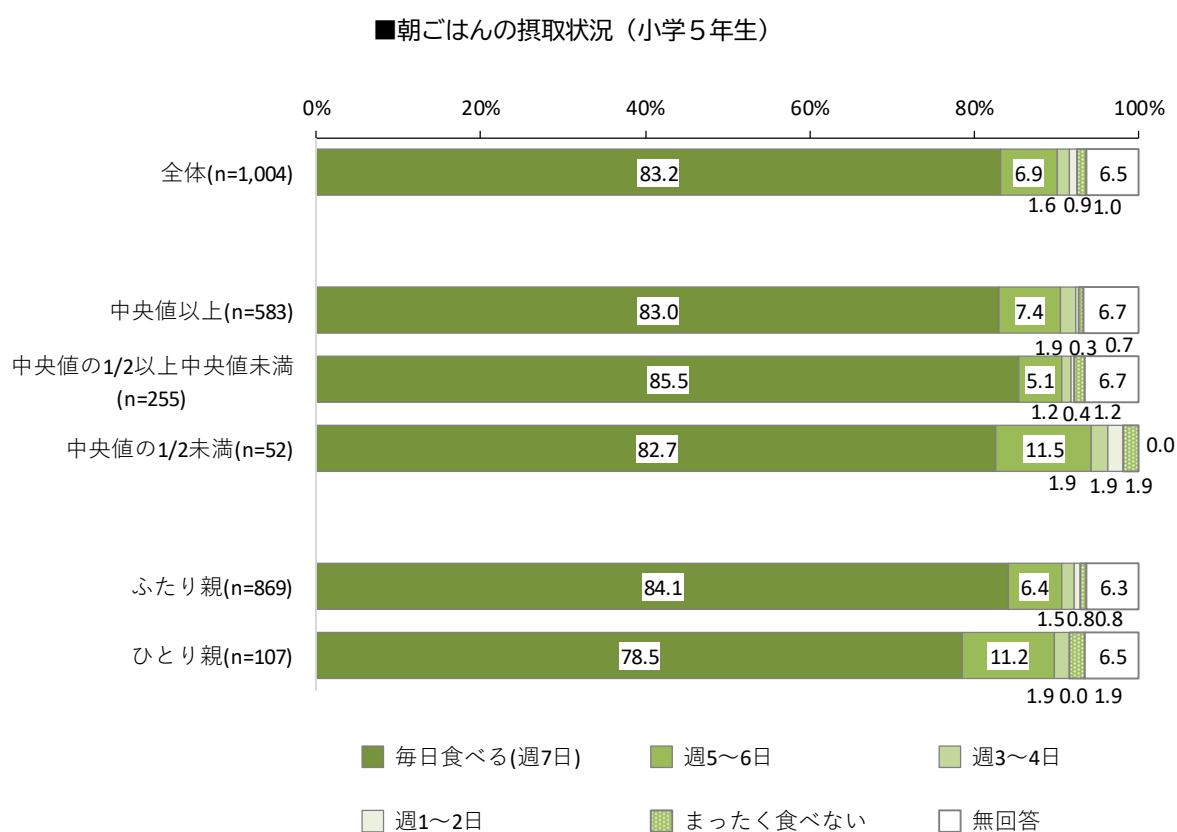
2.4 日常的な生活の状況

(1) 食事の摂取状況

① 朝ごはん

【小学5年生】

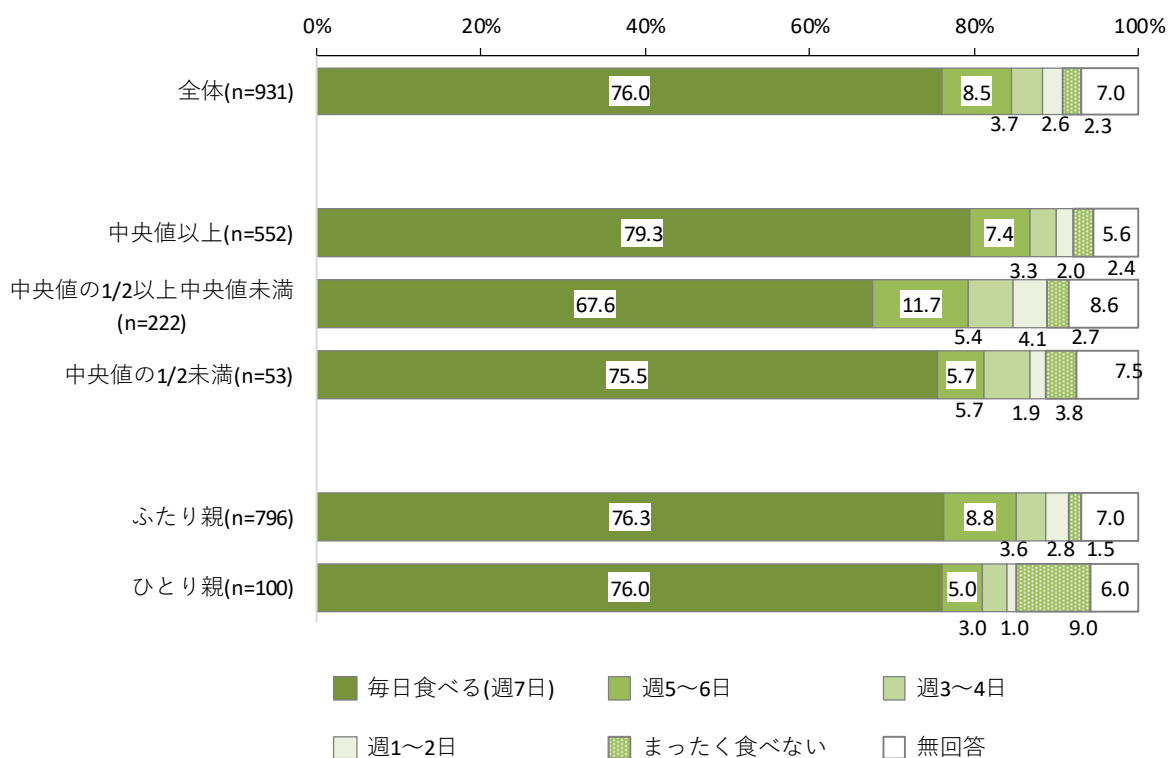
- 朝食の摂取状況について、「毎日食べる」が83.2%、「週5～6日」が6.9%、「週3～4日」が1.6%、「週1～2日」が0.9%、「まったく食べない」が1.0%となっています。
- 「毎日食べる」以外の回答を合わせた『毎日食べない』は10.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『毎日食べない』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『毎日食べない』の割合が高くなっています。



【中学2年生】

- 朝食の摂取状況について、「毎日食べる」が76.0%、「週5～6日」が8.5%、「週3～4日」が3.7%、「週1～2日」が2.6%、「まったく食べない」が2.3%となっています。
- 「毎日食べる」以外の回答を合わせた『毎日食べない』は17.1%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2以上中央値未満の世帯では、他の世帯に比べて『毎日食べない』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「まったく食べない」の割合が高くなっています。

■朝ごはんの摂取状況（中学2年生）



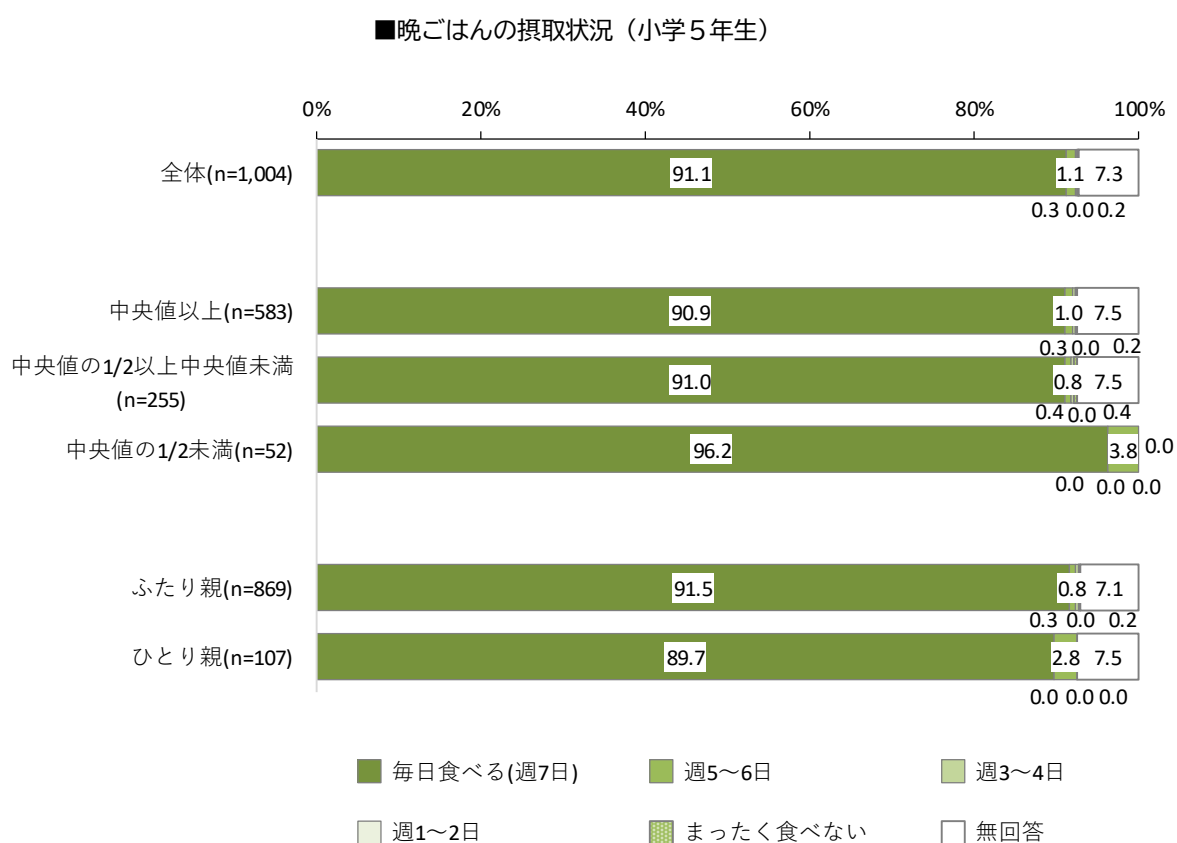
(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど食べない	無回答
全体	2,715	82.0	10.3	2.8	4.6	0.3
中央値以上	1,315	86.5	8.1	1.6	3.8	—
中央値の1/2以上中央値未満	964	80.5	12.2	3.1	4.1	—
中央値の1/2未満	337	71.2	13.6	6.5	8.6	—
ふたり親	2,352	83.9	9.8	2.5	3.8	—
ひとり親	339	70.2	14.5	5.3	10.0	—

②晩ごはん

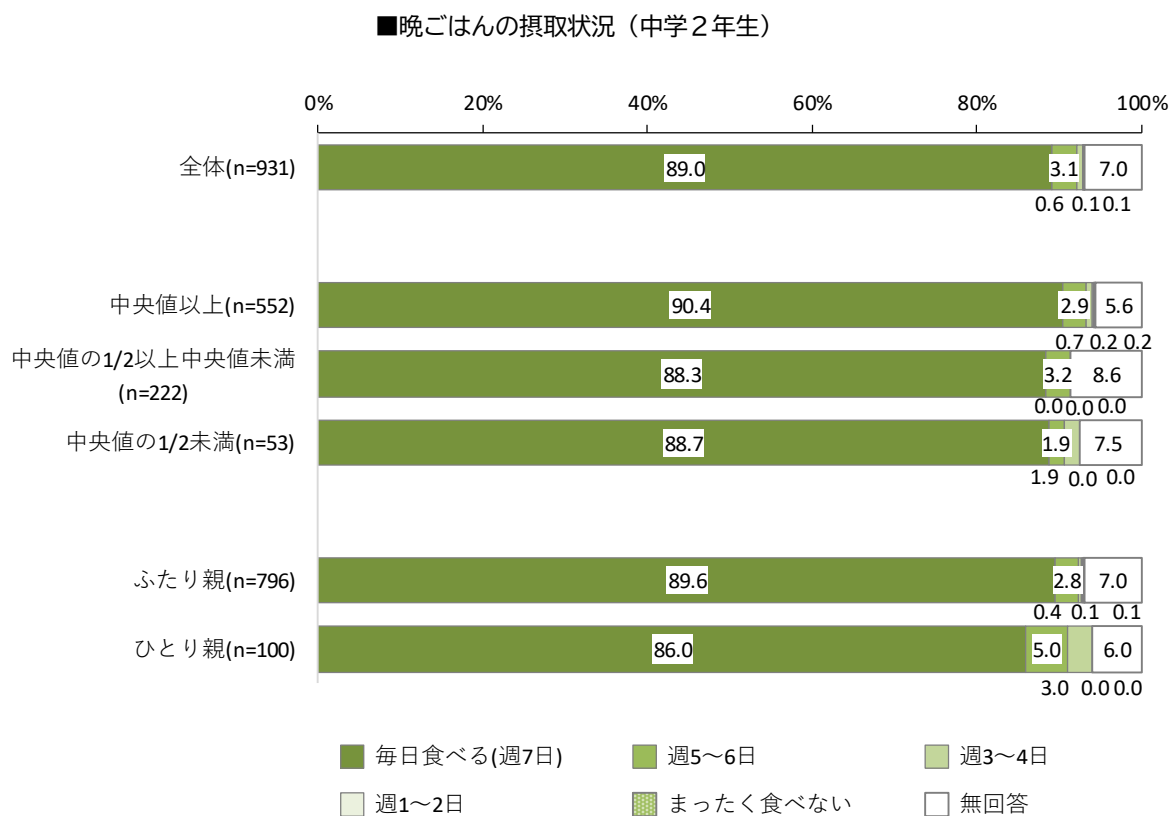
【小学5年生】

- 晩ごはんの摂取状況について、「毎日食べる」が91.1%、「週5～6日」が1.1%、「週3～4日」が0.3%、「まったく食べない」が0.2%となっています。
- 「毎日食べる」以外の回答を合わせた『毎日は食べない』は1.6%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「毎日食べる」の割合が高くなっています。
- 世帯構成による大きな違いはみられません。



【中学2年生】

- 晩ごはんの摂取状況について、「毎日食べる」が89.0%、「週5～6日」が3.1%、「週3～4日」が0.6%、「週1～2日」が0.1%、「まったく食べない」が0.1%となっています。
- 「毎日食べる」以外の回答を合わせた『毎日は食べない』は3.9%となっています。
- 世帯収入、世帯構成による大きな違いはみられません。



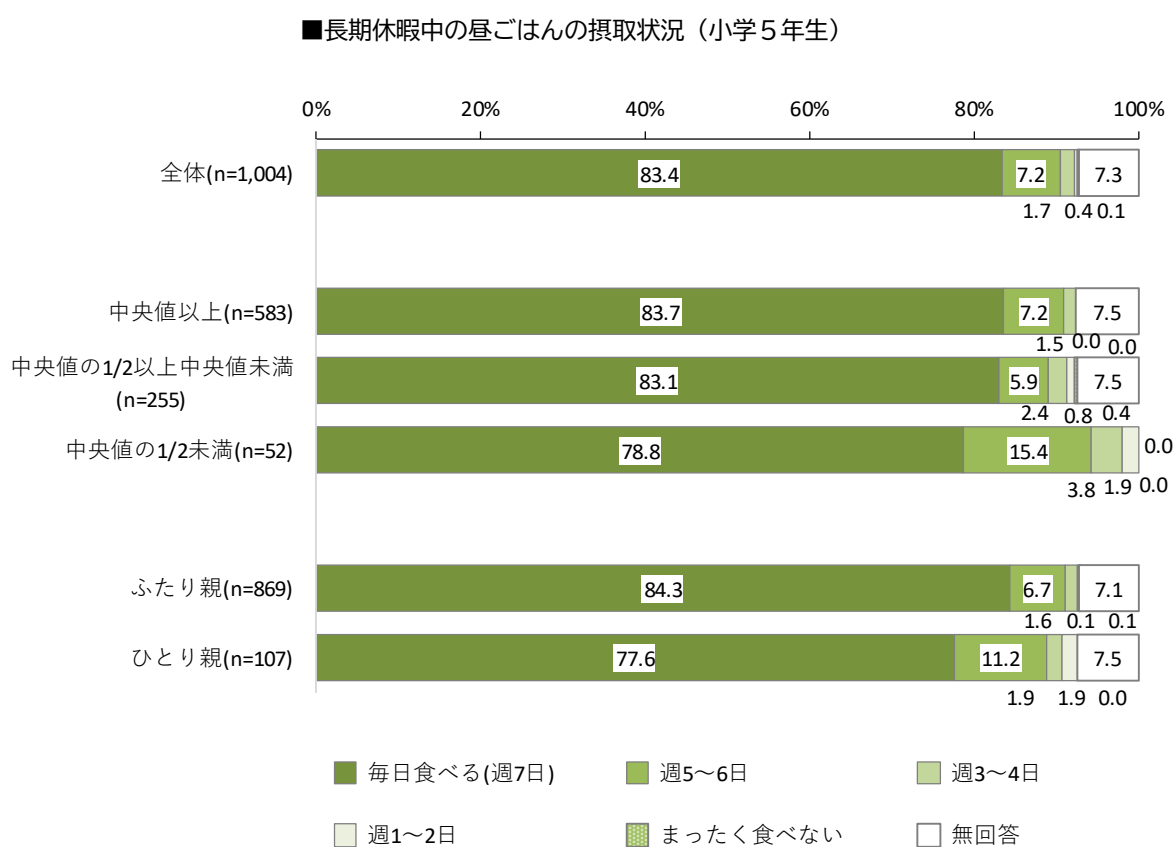
（参考）国調査（R3）の結果

	n	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど食 べない	無回答
全体	2,715	97.9	1.4	0.3	0.0	0.4
中央値以上	1,313	98.6	1.1	0.3	0.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	964	98.1	1.3	0.4	0.1	—
中央値の1/2未満	326	97.3	2.7	0.0	0.0	—
ふたり親	2,349	98.4	1.3	0.3	0.0	—
ひとり親	339	97.3	2.1	0.3	0.3	—

③長期休暇中の昼ごはん

【小学5年生】

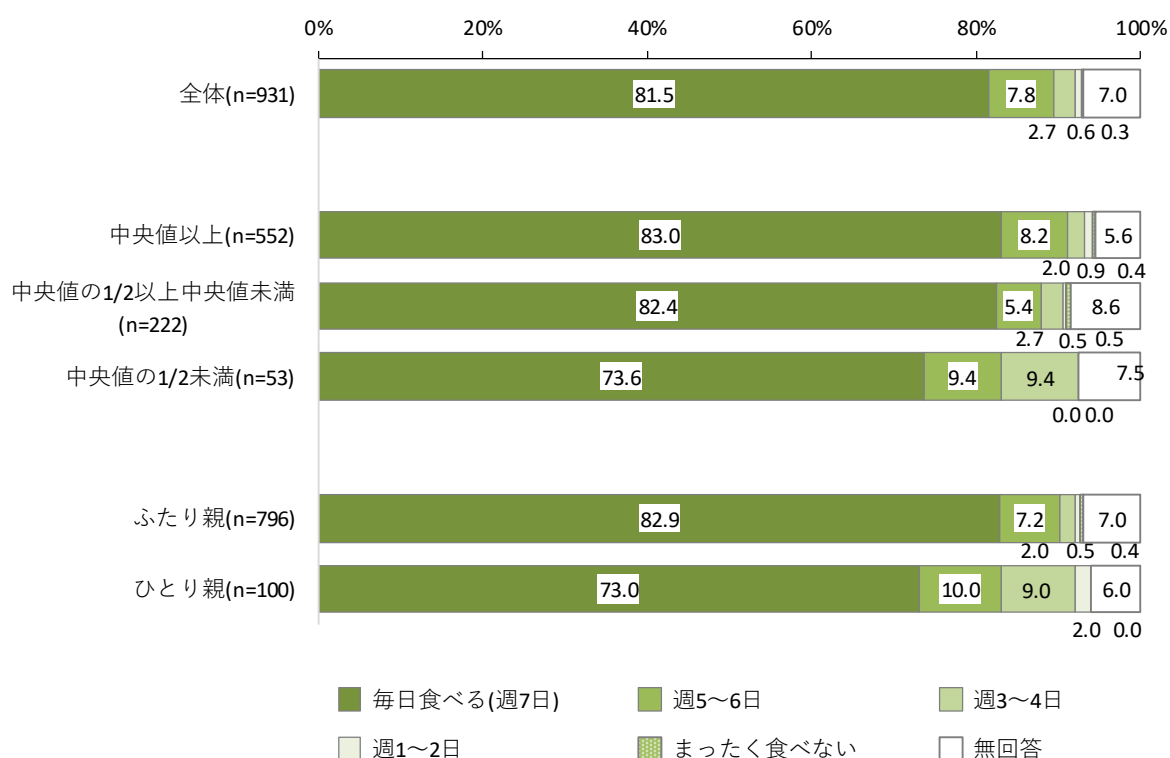
- 夏休みや冬休みなどの期間の昼ごはんの摂取状況について、「毎日食べる」が83.4%、「週5～6日」が7.2%、「週3～4日」が1.7%、「週1～2日」が0.4%、「まったく食べない」が0.1%となっています。
- 「毎日食べる」以外の回答を合わせた『毎日は食べない』は9.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『毎日は食べない』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『毎日は食べない』の割合が高くなっています。



【中学2年生】

- 夏休みや冬休みなどの期間の昼ごはんの摂取状況について、「毎日食べる」が81.5%、「週5～6日」が7.8%、「週3～4日」が2.7%、「週1～2日」が0.6%、「まったく食べない」が0.3%となっています。
- 「毎日食べる」以外の回答を合わせた『毎日食べない』は11.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『毎日食べない』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『毎日食べない』の割合が高くなっています。

■長期休暇中の昼ごはんの摂取状況（中学2年生）



(参考) 国調査 (R3) の結果

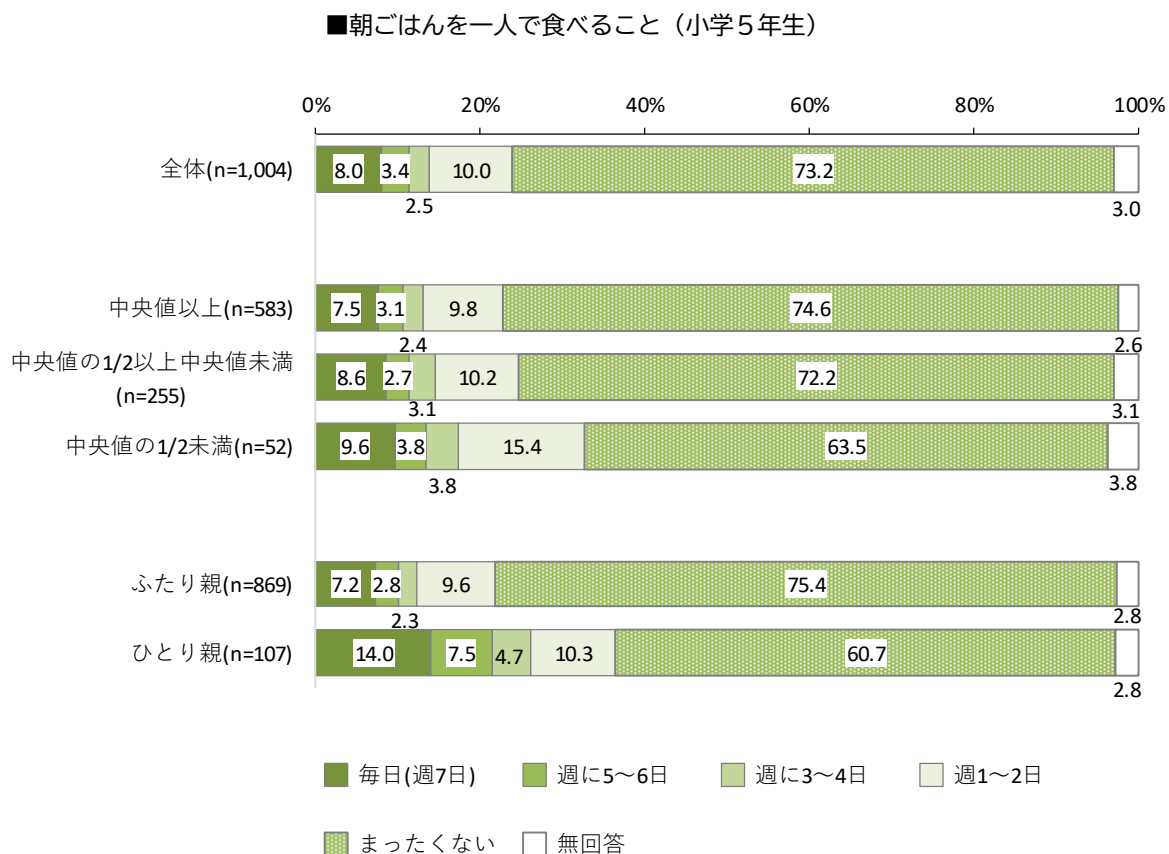
	n	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど食 べない	無回答
全体	2,715	89.1	7.1	2.7	0.6	0.5
中央値以上	1,313	91.6	5.9	2.2	0.2	-
中央値の1/2以上中央値未満	962	89.4	7.1	2.8	0.7	-
中央値の1/2未満	335	82.4	11.9	4.5	1.2	-
ふたり親	2,346	90.5	6.7	2.3	0.6	-
ひとり親	339	83.2	10.6	5.6	0.6	-

(2) 孤食の状況

① 朝ごはん

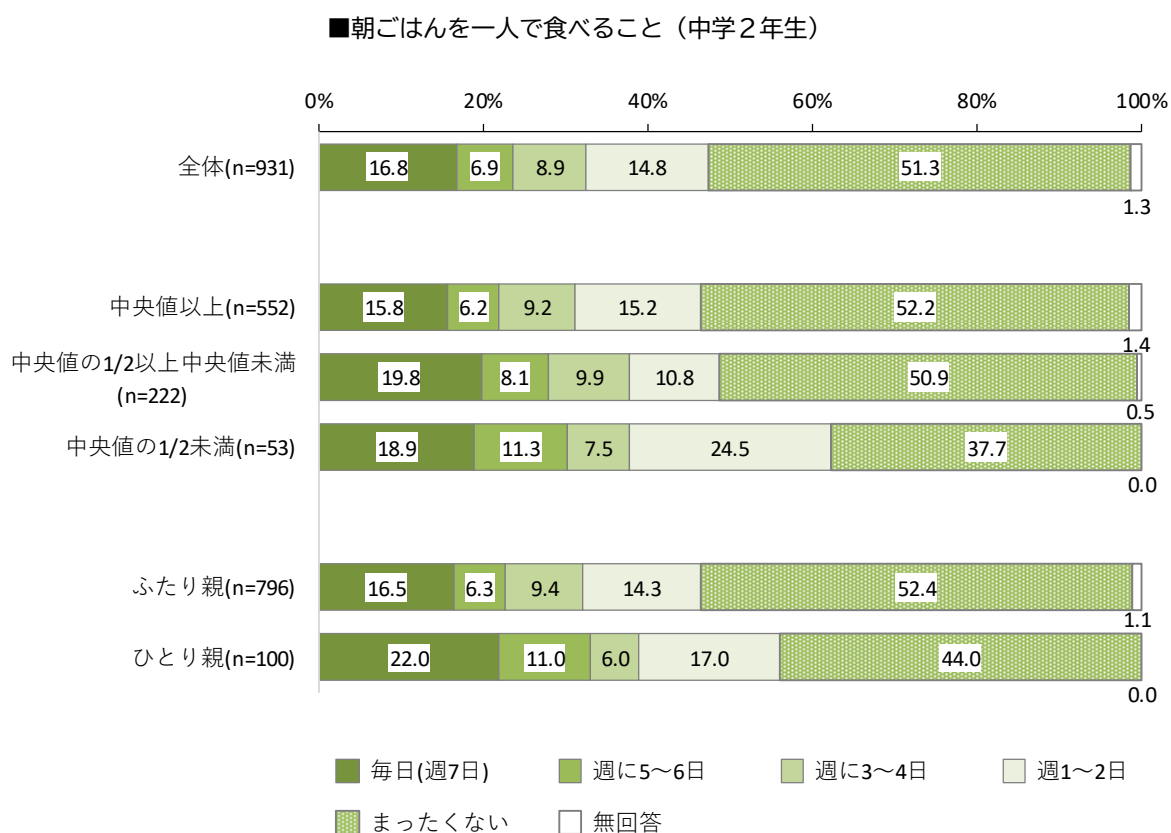
【小学5年生】

- 朝ごはんを一人で食べることにについて、「毎日（週7日）」が8.0%、「週5～6日」が3.4%、「週3～4日」が2.5%、「週1～2日」が10.0%、「まったくない」が73.2%となっています。
- 「まったくない」以外の回答を合わせた『週何日かある』は23.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『週何日かある』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『週何日かある』の割合が高くなっています。



【中学2年生】

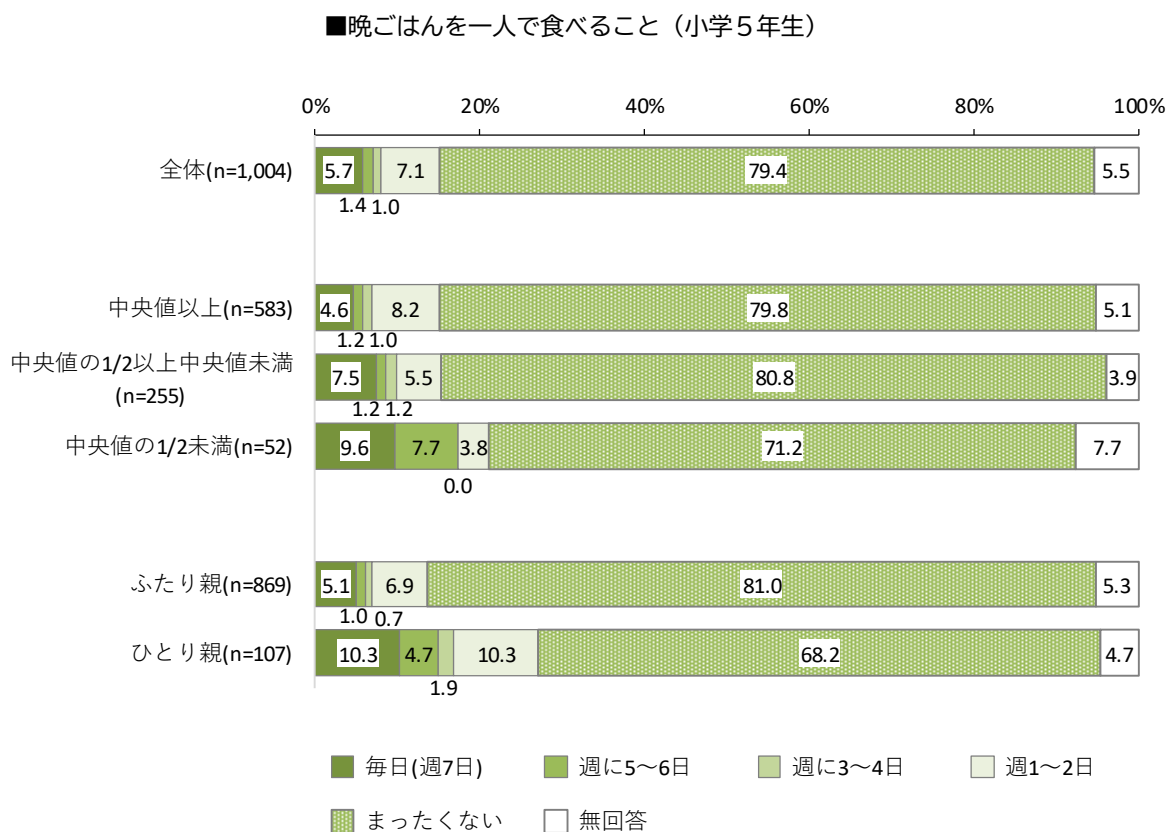
- 朝ごはんを一人で食べることについて、「毎日（週7日）」が16.8%、「週5～6日」が6.9%、「週3～4日」が8.9%、「週1～2日」が14.8%、「まったくない」が51.3%となっています。
- 「まったくない」以外の回答を合わせた『週何日かある』は47.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『週何日かある』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『週何日かある』の割合が高くなっています。



②晩ごはん

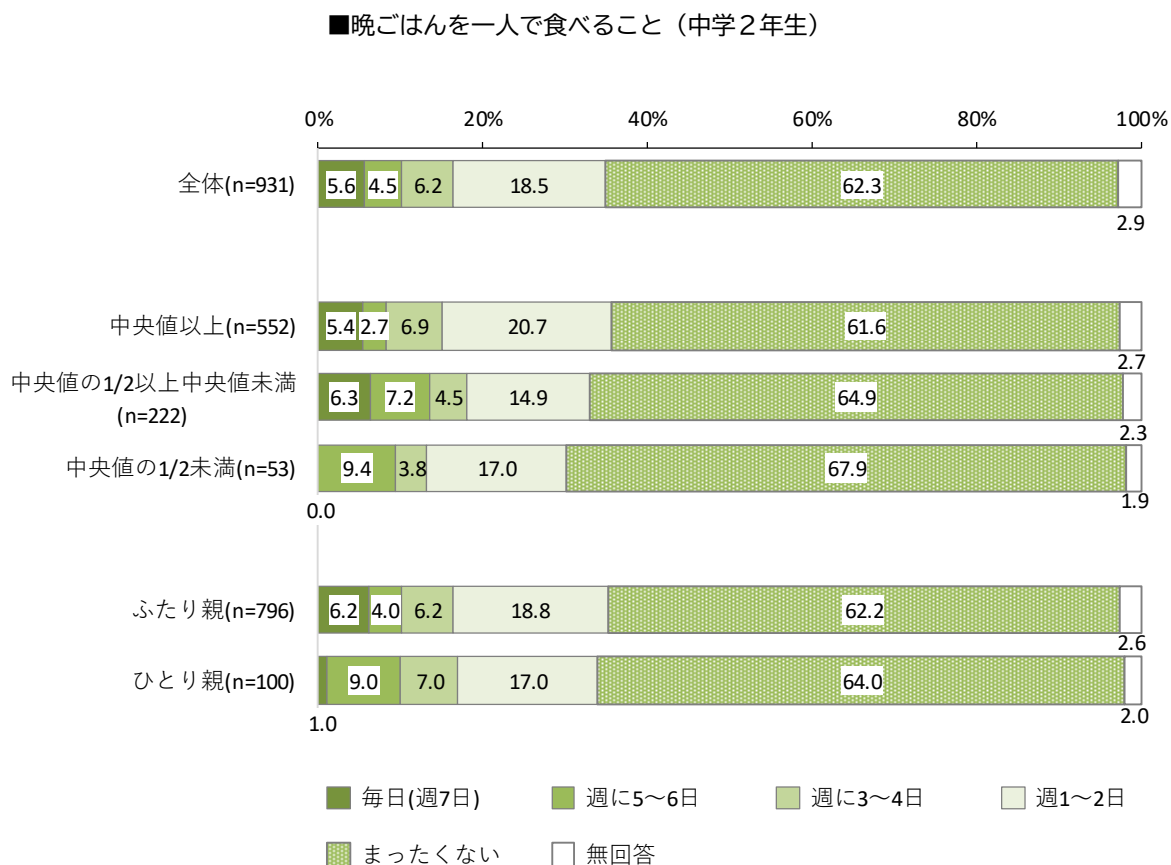
【小学5年生】

- 晩ごはんを一人で食べるについて、「毎日（週7日）」が5.7%、「週5～6日」が1.4%、「週3～4日」が1.0%、「週1～2日」が7.1%、「まったくない」が79.4%となっています。
- 「まったくない」以外の回答を合わせた『週何日かある』は15.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて『週何日かある』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『週何日かある』の割合が高くなっています。



【中学2年生】

- 晩ごはんを一人で食べることについて、「毎日（週7日）」が5.6%、「週5～6日」が4.5%、「週3～4日」が6.2%、「週1～2日」が18.5%、「まったくない」が62.3%となっています。
- 「まったくない」以外の回答を合わせた『週何日かある』は34.8%となっています。
- 世帯収入、世帯構成による大きな違いはみられません。

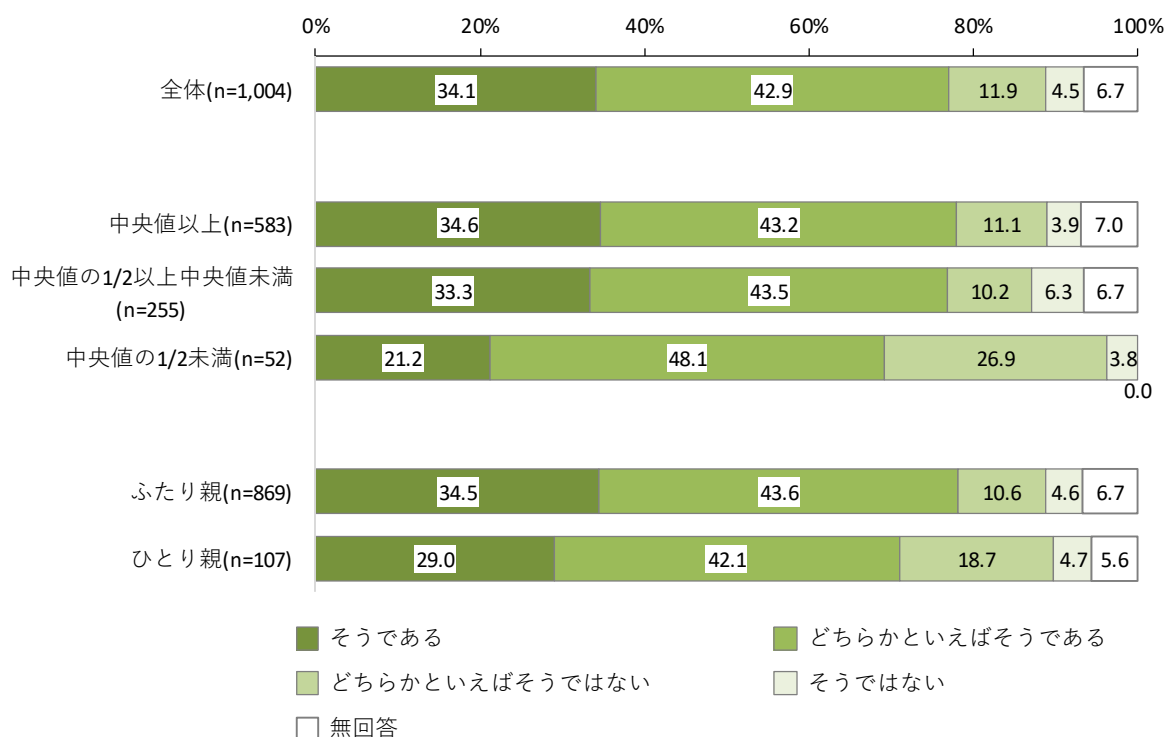


(3) 就寝時間

【小学5年生】

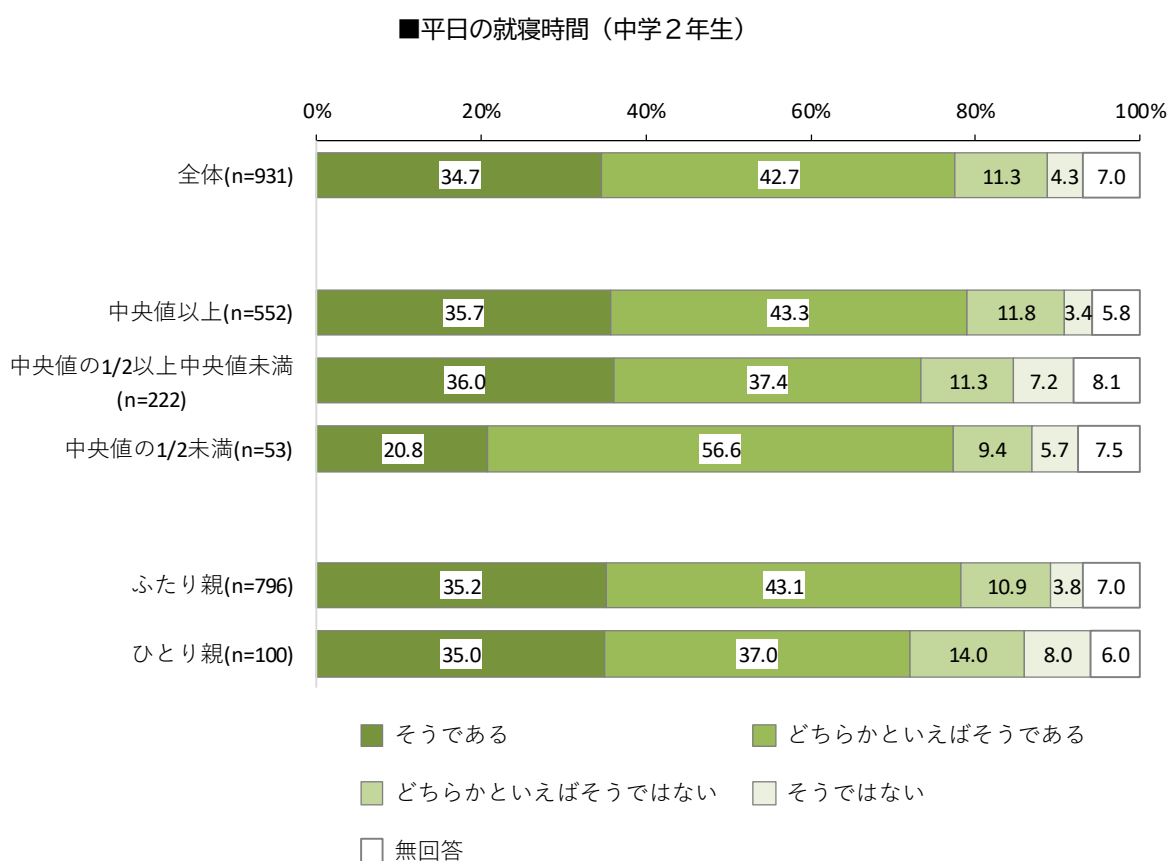
- ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかどうかについて、「そうである」が34.1%、「どちらかといえばそうである」が42.9%、「どちらかといえばそうではない」が11.9%、「そうではない」が4.5%となっています。
- 「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた『そうである』は77.0%、「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた『そうではない』は16.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「どちらかといえばそうではない」の割合が高く、「そうである」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「どちらかといえばそうではない」の割合が高くなっています。

■平日の就寝時間（小学5年生）



【中学2年生】

- ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかどうかについて、「そうである」が34.7%、「どちらかといえばそうである」が42.7%、「どちらかといえばそうではない」が11.3%、「そうではない」が4.3%となっています。
- 「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた『そうである』は77.4%、「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた『そうではない』は15.6%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「どちらかといえばそうである」の割合が高く、「そうである」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『そうである』の割合が低く、『そうではない』の割合が高くなっています。



(参考) 国調査 (R3) の結果

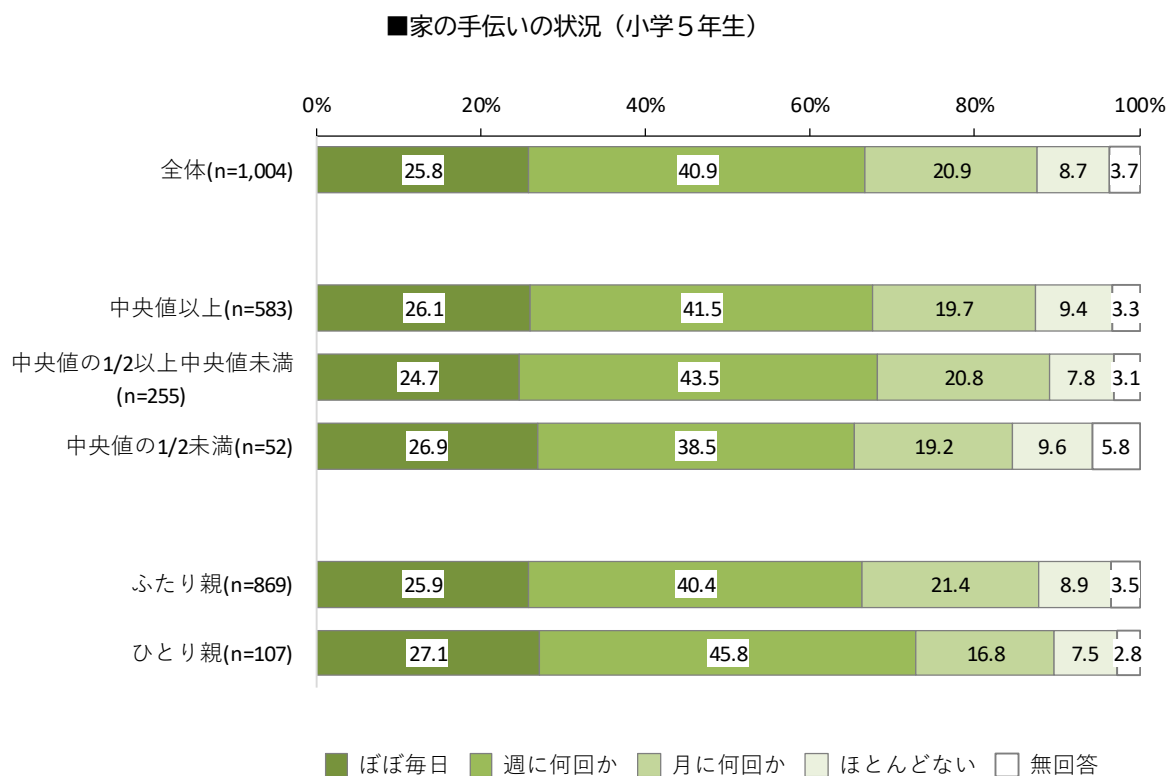
	n	そうである	どちらかとい えばそう である	どちらかとい えばそう ではない	そうではな い	無回答
全体	2,715	33.9	48.2	12.4	4.9	0.6
中央値以上	1,312	36.5	50.2	9.5	3.8	—
中央値の1/2以上中央値未満	959	33.6	45.5	15.1	5.8	—
中央値の1/2未満	336	25.6	52.1	15.8	6.5	—
ふたり親	2,342	34.8	48.7	12.0	4.4	—
ひとり親	339	28.9	46.9	15.9	8.3	—

(4) 家族との関わり

①家の手伝い

【小学5年生】

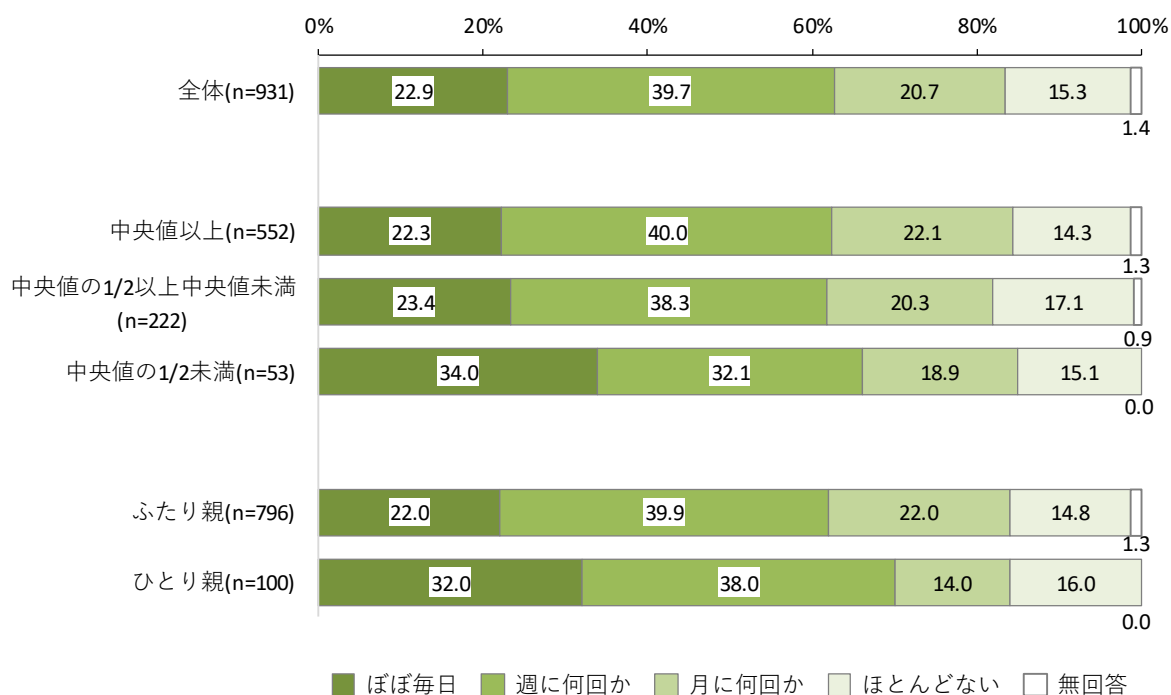
- ふだん家で手伝いをするかどうかについて、「ほぼ毎日」が25.8%、「週に何回か」が40.9%、「月に何回か」が20.9%、「ほとんどない」が8.7%となっています。
- 世帯収入、世帯構成による大きな違いはみられません。



【中学2年生】

- ふだん家で手伝いをするかどうかについて、「ほぼ毎日」が22.9%、「週に何回か」が39.7%、「月に何回か」が20.7%、「ほとんどない」が15.3%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

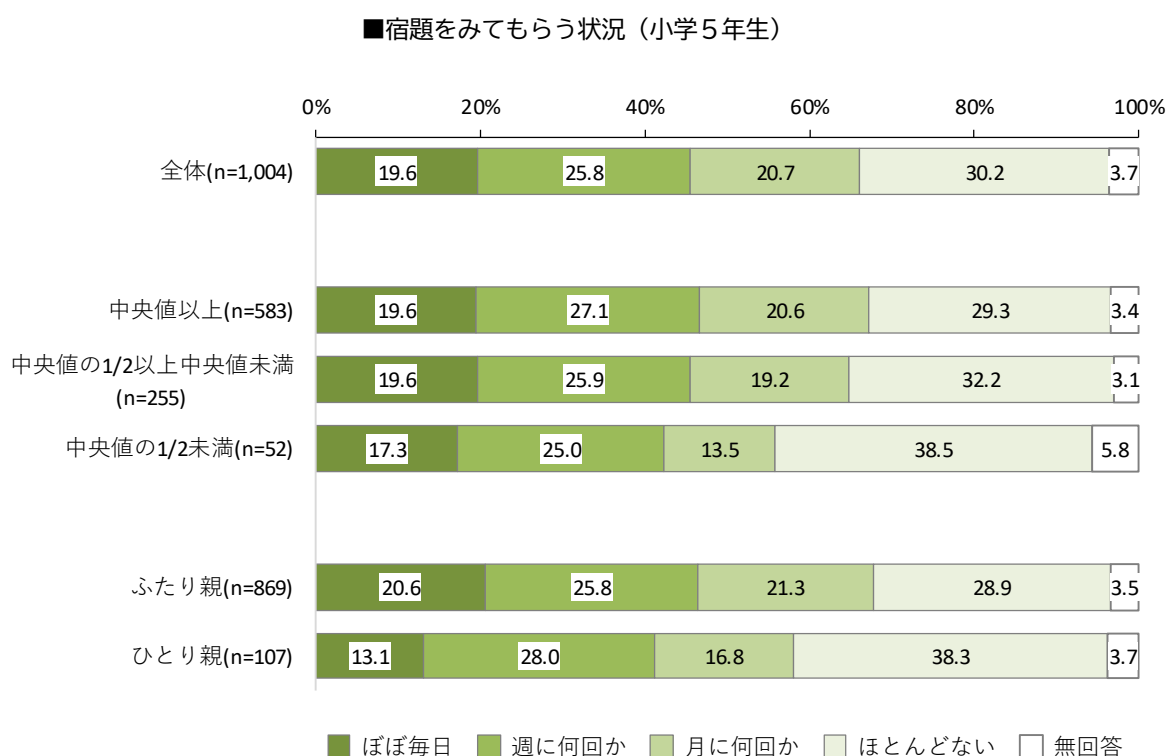
■家の手伝いの状況（中学2年生）



②宿題をみてもらう

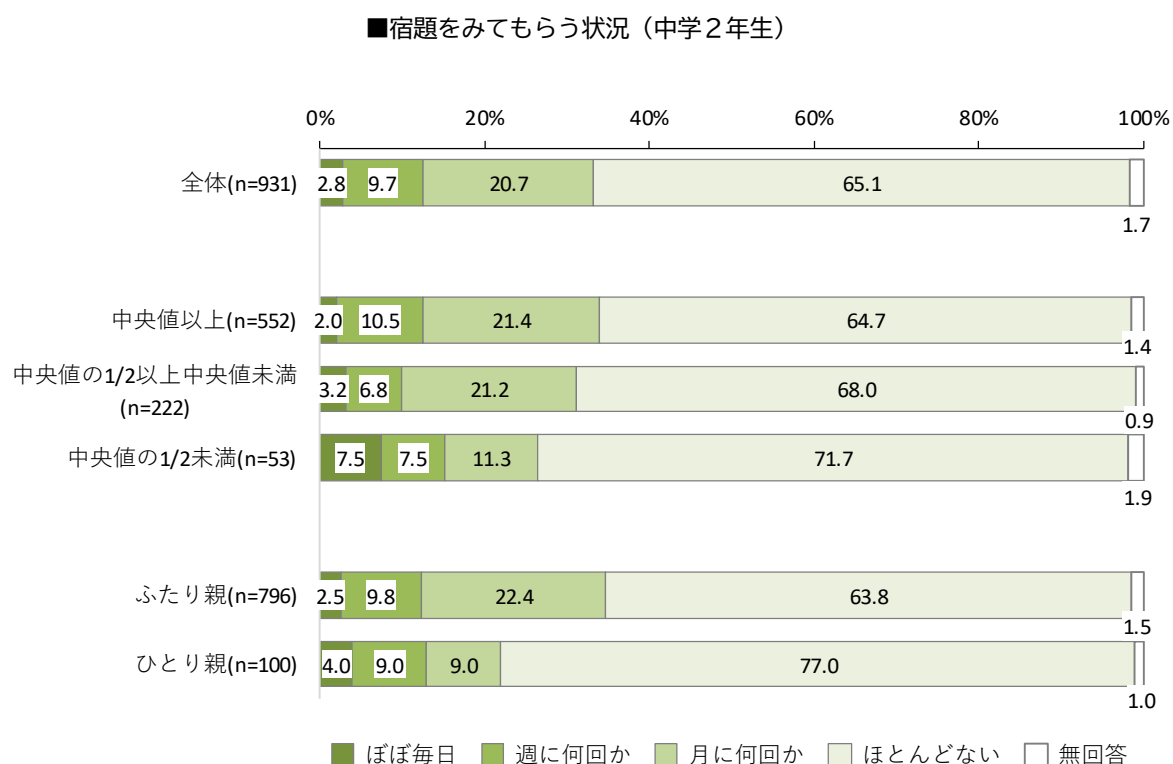
【小学5年生】

- 家の大人の人に宿題(勉強)をみてもらうかどうかについて、「ほぼ毎日」が19.6%、「週に何回か」が25.8%、「月に何回か」が20.7%、「ほとんどない」が30.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「ほとんどない」の割合が高く、「月に何回か」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「ほとんどない」の割合が高く、「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

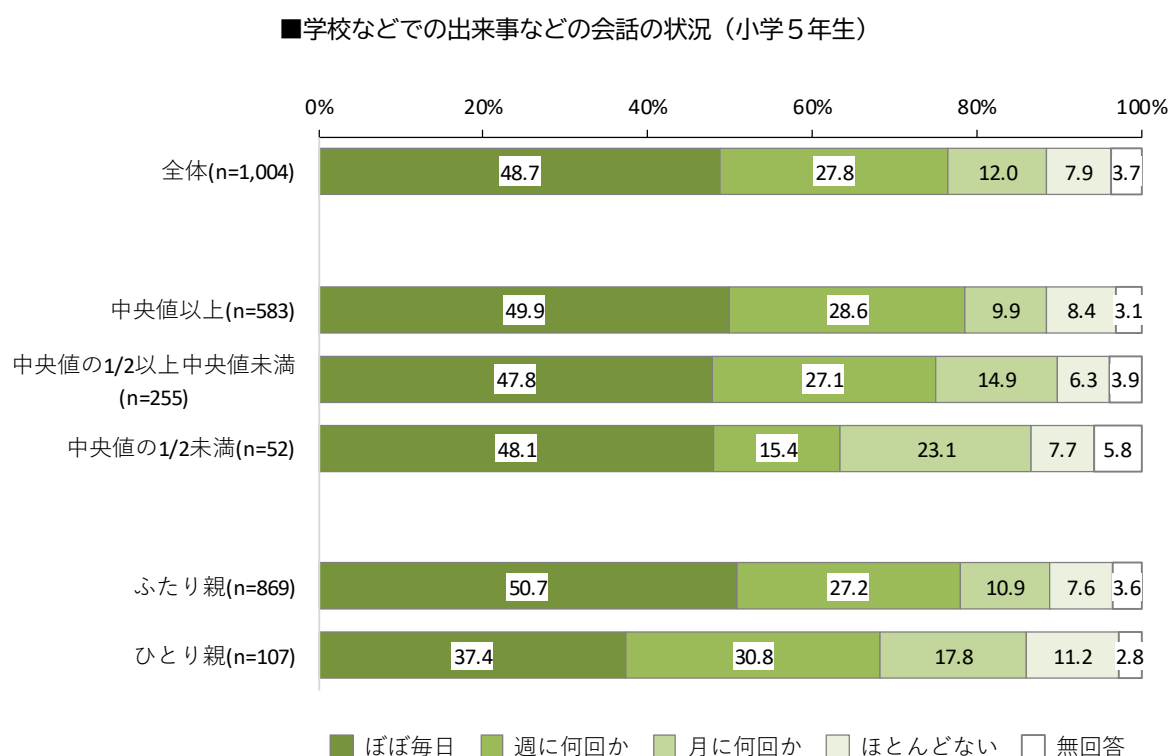
- 家の大人の人に宿題(勉強)をみてもらうかどうかについて、「ほぼ毎日」が2.8%、「週に何回か」が9.7%、「月に何回か」が20.7%、「ほとんどない」が65.1%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「月に何回か」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「ほとんどない」の割合が高く、「月に何回か」の割合が低くなっています。



③学校などでの出来事などの会話

【小学5年生】

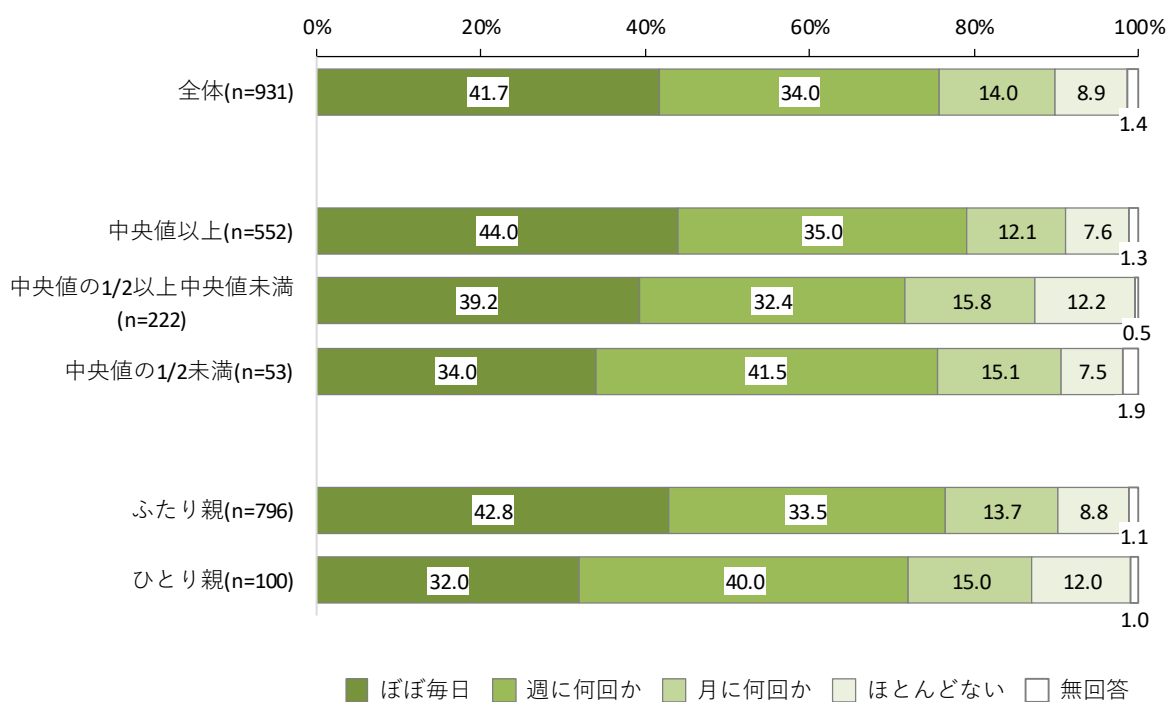
- 学校などでの出来事について話をするかどうかについて、「ほぼ毎日」が 48.7%、「週に何回か」が 27.8%、「月に何回か」が 12.0%、「ほとんどない」が 7.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の 1/2 未満の世帯では、中央値の 1/2 以上の世帯に比べて「週に何回か」の割合が低く、「月に何回か」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「ほぼ毎日」の割合が低く、「月に何回か」の割合が高くなっています。



【中学2年生】

- 家の大人の人と学校などでの出来事について話をするかどうかについて、「ほぼ毎日」が41.7%、「週に何回か」が34.0%、「月に何回か」が14.0%、「ほとんどない」が8.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「ほぼ毎日」の割合が低く、「週に何回か」の割合が高くなっています。

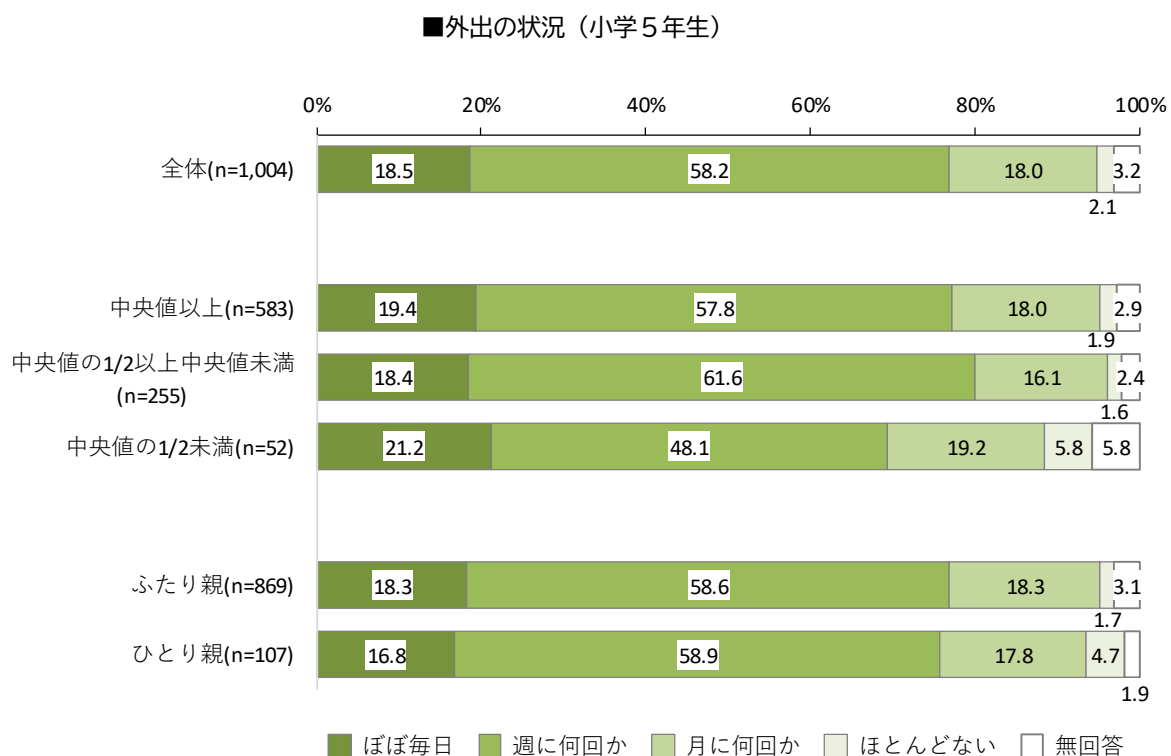
■学校などでの出来事などの会話の状況（中学2年生）



④外出（散歩、買い物、外出など）

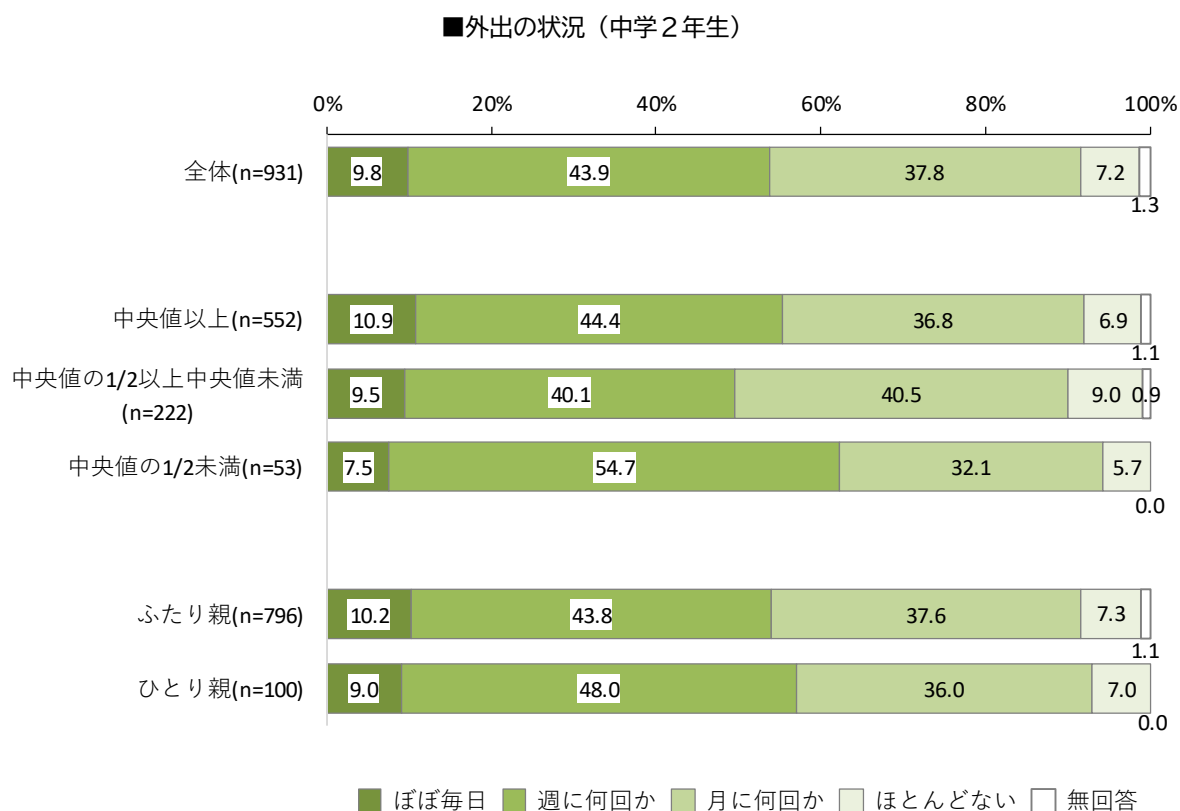
【小学5年生】

- 家の大人の人と外出（散歩、買い物、外食など）するかどうかについて、「ほぼ毎日」が18.5%、「週に何回か」が58.2%、「月に何回か」が18.0%、「ほとんどない」が2.1%となっています。
- 世帯収入、世帯構成による大きな違いはみられません。



【中学2年生】

- 家の大人の人と外出（散歩、買い物、外食など）するかどうかについて、「ほぼ毎日」が9.8%、「週に何回か」が43.9%、「月に何回か」が37.8%、「ほとんどない」が7.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「週何回か」の割合が高くなっています。
- 世帯構成による大きな違いはみられません。

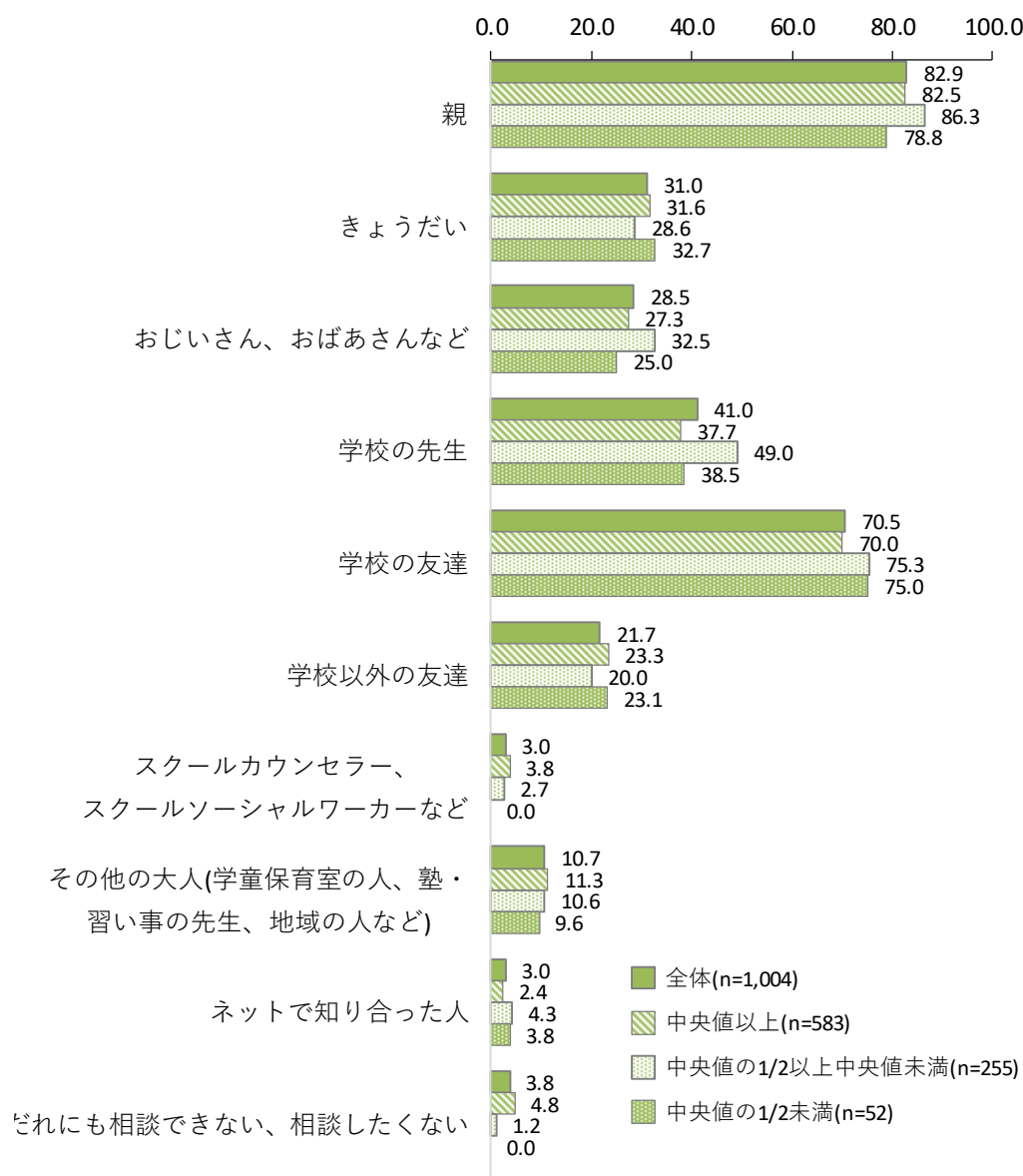


(5) 相談できると思う相手

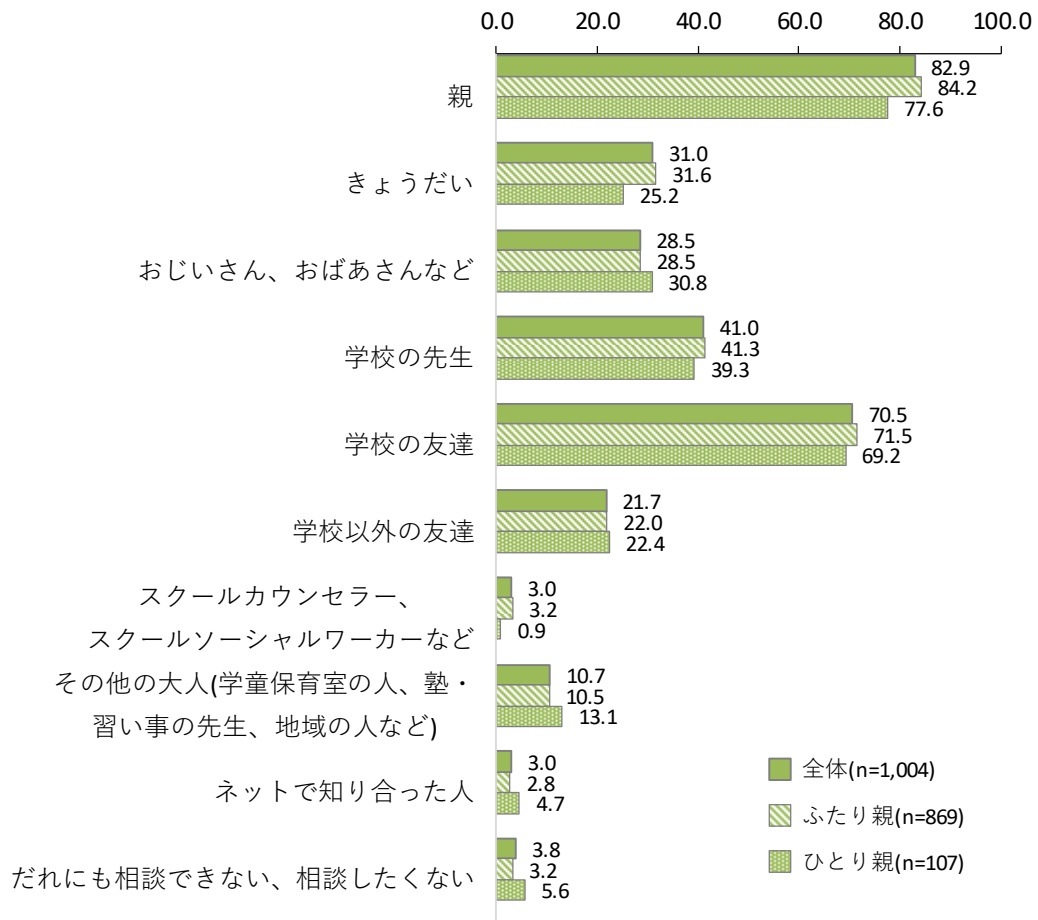
【小学5年生】

- 困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人について、「親」が82.9%で最も高く、次いで「学校の友達」が70.5%、「学校の先生」が41.0%と続いています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2以上中央値未満の世帯では、他の世帯に比べて「学校の先生」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「親」の割合が低くなっています。

■困っていることや悩みごとを相談できると思う相手（世帯収入別）（小学5年生）



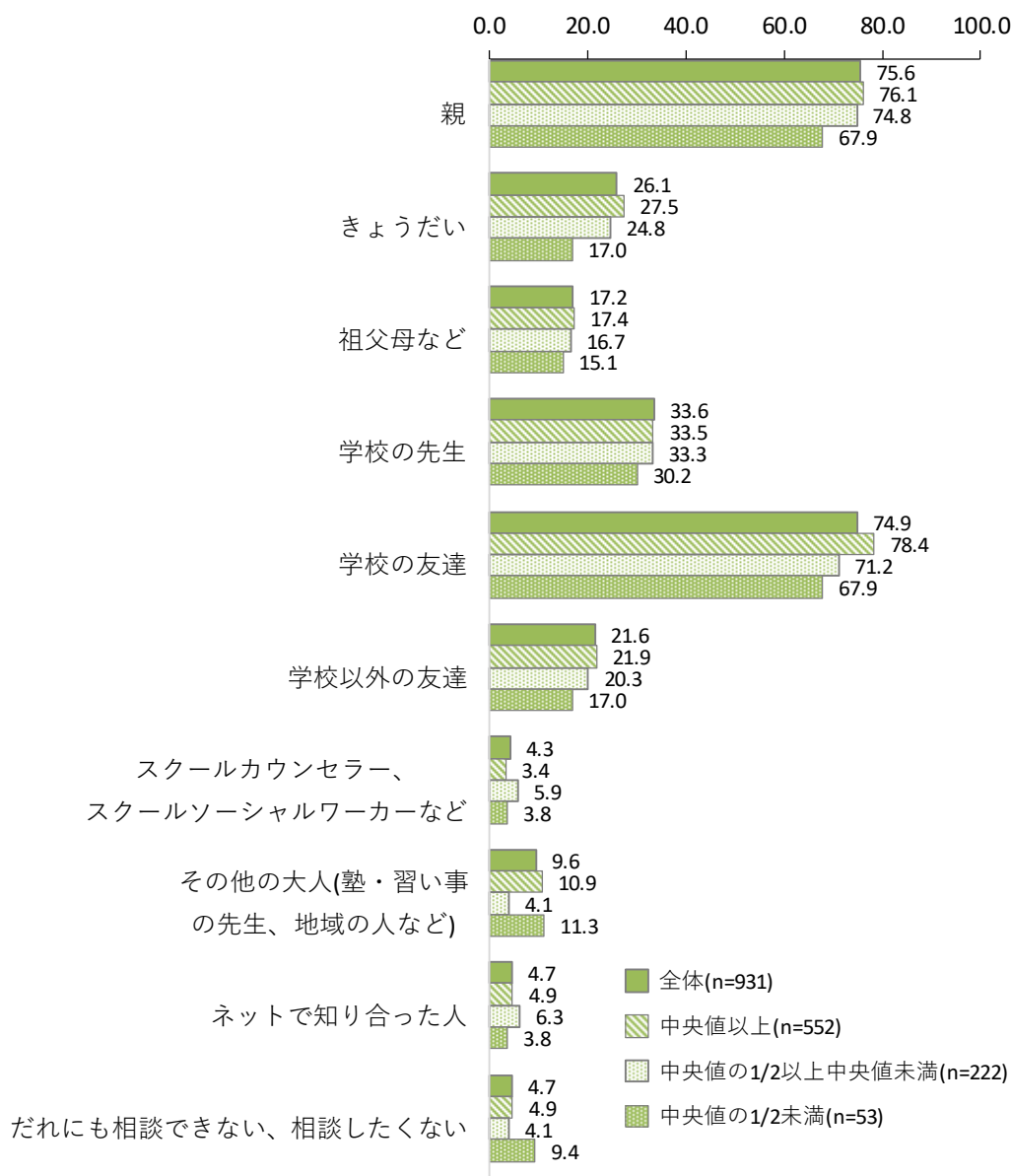
■困っていることや悩みごとを相談できると思う相手（世帯構成別）（小学5年生）



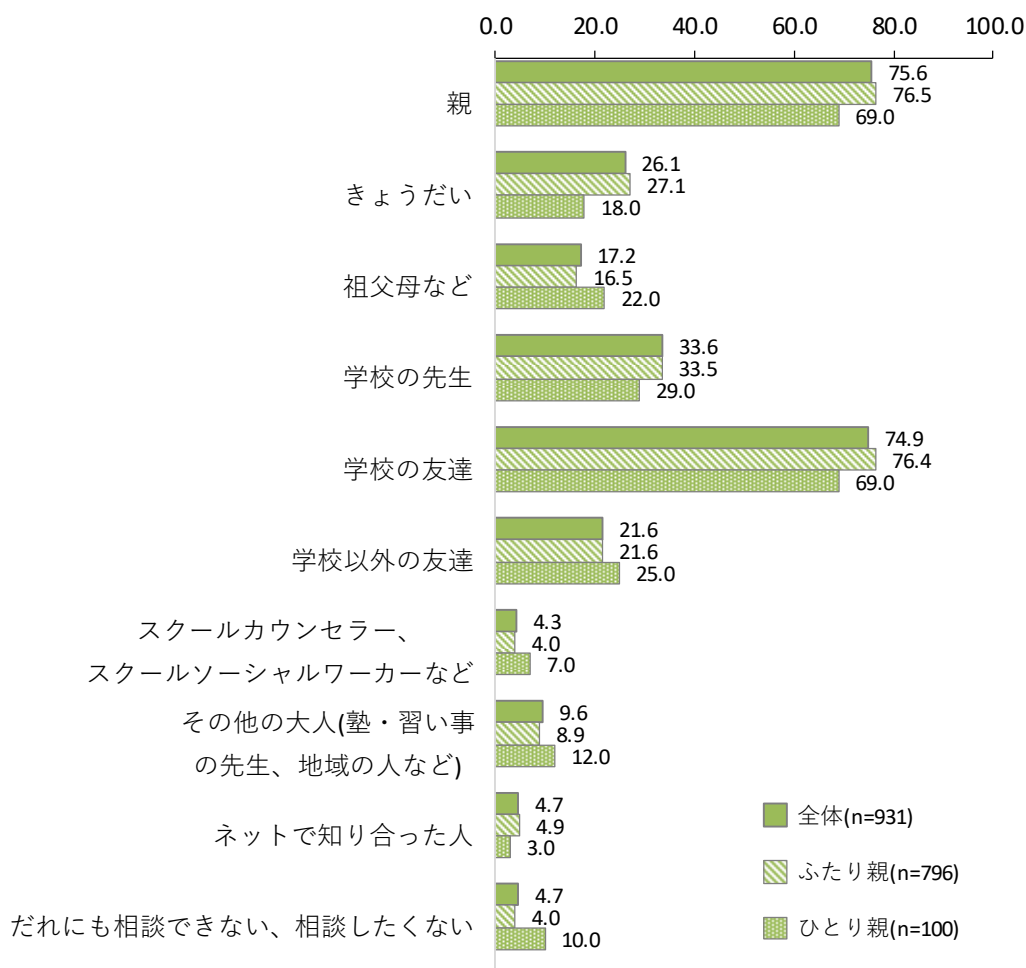
【中学2年生】

- 困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人について、「親」が75.6%で最も高く、次いで「学校の友達」が74.9%、「学校の先生」が33.6%と続いています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「学校の友達」、「きょうだい」の割合が低くなっています。また、中央値の1/2未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「親」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「祖父母など」の割合が高く、「きょうだい」、「親」の割合が低くなっています。

■困っていることや悩みごとを相談できると思う相手（世帯収入別）（中学2年生）



■困っていることや悩みごとを相談できると思う相手（世帯構成別）（中学2年生）



(参考) 国調査 (R3) の結果

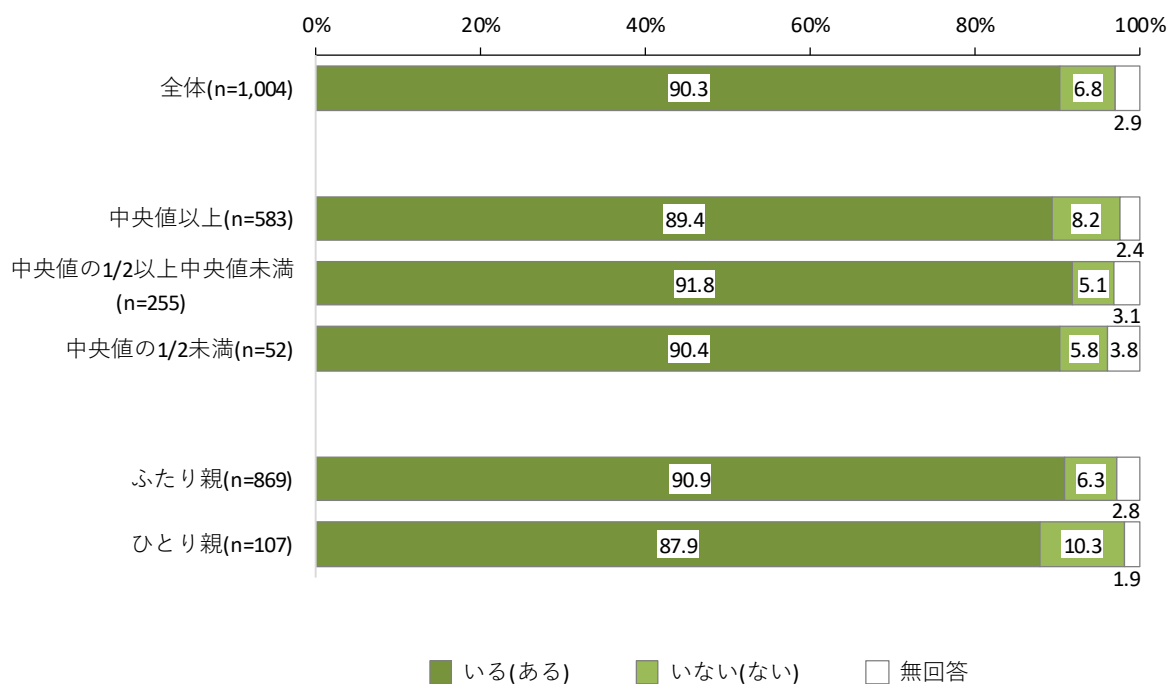
		親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達
	n						
全体	2,715	65.1	21.0	11.6	23.4	67.3	13.9
中央値以上	1,307	68.6	22.0	12.5	23.6	71.3	15.1
中央値の1/2以上中央値未満	955	63.1	20.0	10.8	23.6	65.5	13.6
中央値の1/2未満	335	64.2	21.2	10.4	22.7	62.4	11.3
ふたり親	2,333	66.7	21.5	11.4	24.3	68.9	14.1
ひとり親	338	60.7	19.2	13.3	18.0	61.2	13.0
	n	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人(塾・習い事 の先生、地域の人など)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、 相談したくない	無回答	
全体	2,715	4.1	6.8	5.0	8.9	1.0	
中央値以上	1,307	3.6	7.4	4.3	7.0	-	
中央値の1/2以上中央値未満	955	3.8	6.2	5.4	10.6	-	
中央値の1/2未満	335	5.1	6.3	7.5	12.8	-	
ふたり親	2,333	4.2	7.2	4.6	8.0	-	
ひとり親	338	3.3	3.3	8.0	15.4	-	

(6) 気持ちや考えの表明

【小学5年生】

- 自分の気持ちや考えを素直に話することができる相手（場所）の有無について、「いる（ある）」が90.3%、「いない（ない）」が6.8%となっています。
- 世帯収入や世帯構成による大きな違いはみられません。

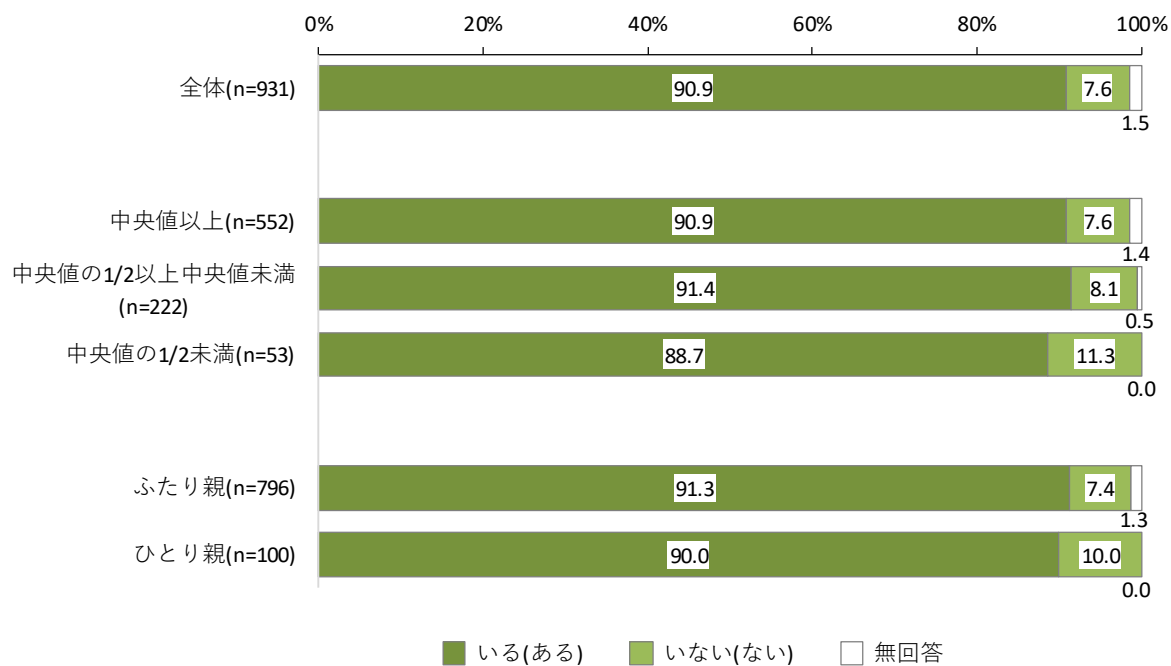
■自分の気持ちや考えを素直に話することができる相手の有無（小学5年生）



【中学2年生】

- 自分の気持ちや考えを素直に話することができる相手（場所）の有無について、「いる（ある）」が90.9%、「いない（ない）」が7.6%となっています。
- 世帯収入や世帯構成による大きな違いはみられません。

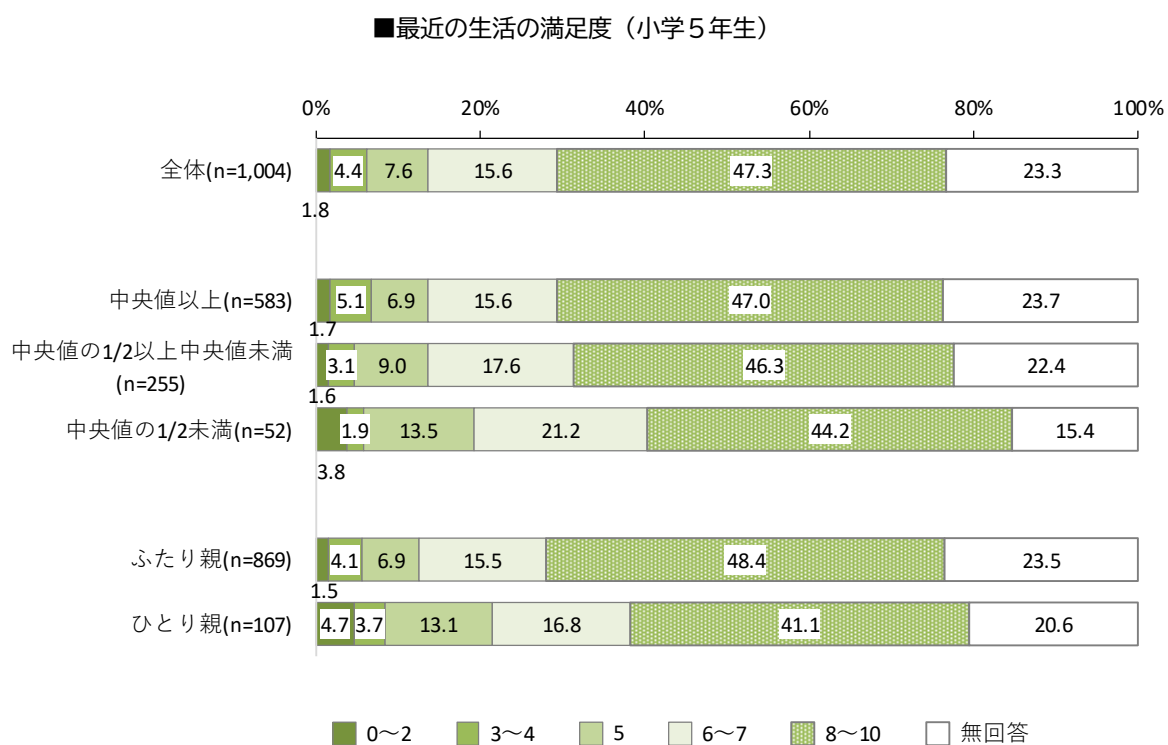
■自分の気持ちや考えを素直に話することができる相手の有無（中学2年生）



(7) 生活満足度

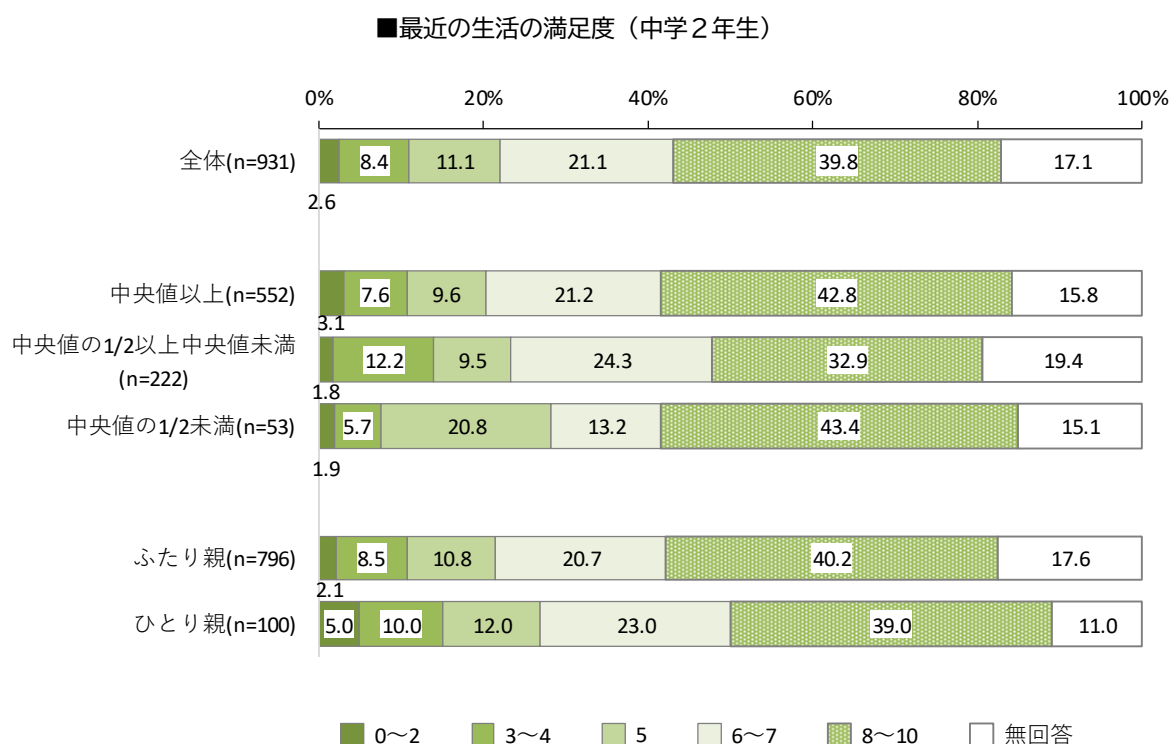
【小学5年生】

- 最近の生活の満足度について、「0～2点」が1.8%、「3～4点」が4.4%、「5点」が7.6%、「6～7点」が15.6%、「8～10点」が47.3%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯と比べて、7点以下の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比べて、7点以下の割合が高く、「8～10点」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 最近の生活の満足度について、「0～2点」が2.6%、「3～4点」が8.4%、「5点」が11.1%、「6～7点」が21.1%、「8～10点」が39.8%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2以上中央値未満の世帯では、他の世帯に比べて「8～10点」の割合が低く、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯と比べて、「5点」の割合が高く、「6～7点」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯と比べて、7点以下の割合が高くなっています。



（参考）国調査（R3）の結果

	n	0～2	3～4	5	6～7	8～10	無回答
全体	2,715	4.8	10.6	12.9	23.5	47.1	1.1
中央値以上	1,307	4.2	9.6	10.1	23.1	53.0	—
中央値の1/2以上中央値未満	953	6.0	10.1	15.6	23.8	44.5	—
中央値の1/2未満	334	4.2	16.2	16.2	25.7	37.7	—
ふたり親	2,331	4.4	10.7	12.6	23.3	48.9	—
ひとり親	336	8.0	10.7	16.4	26.2	38.6	—

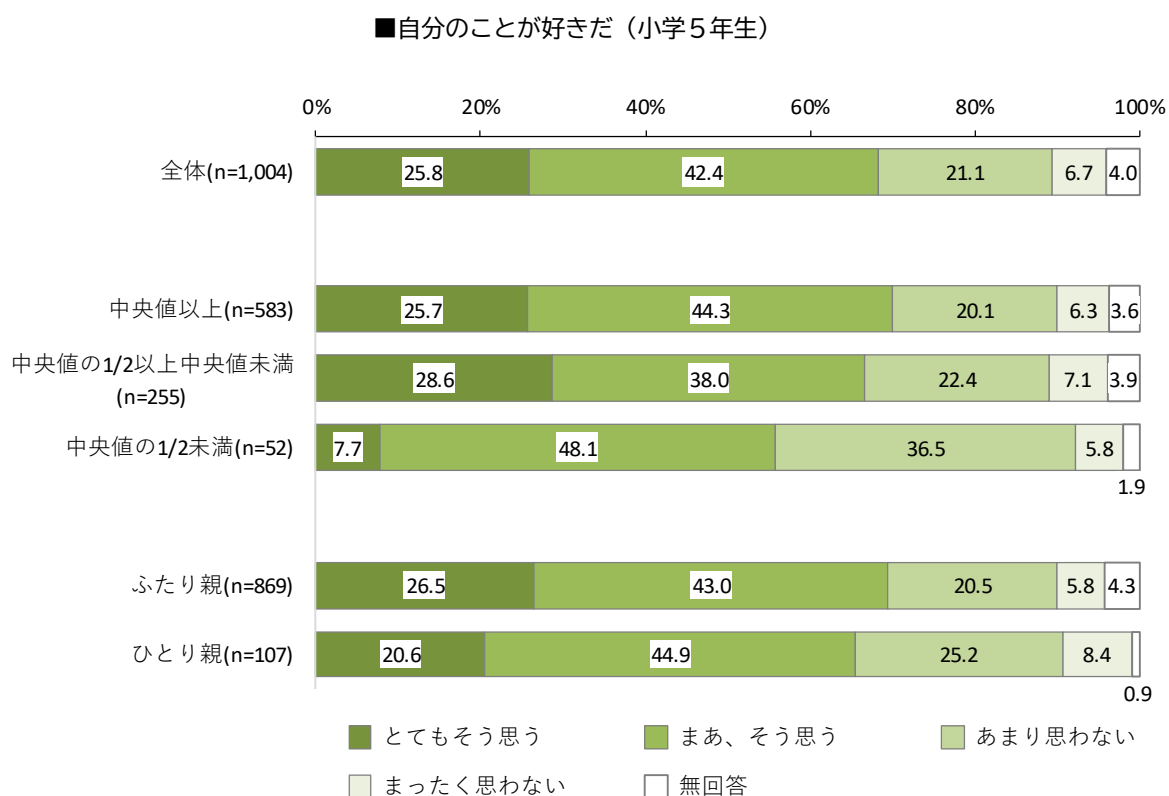
2.5 子どもの心理的な状態

(1) 自分自身について

①自分のことが好きだ

【小学5年生】

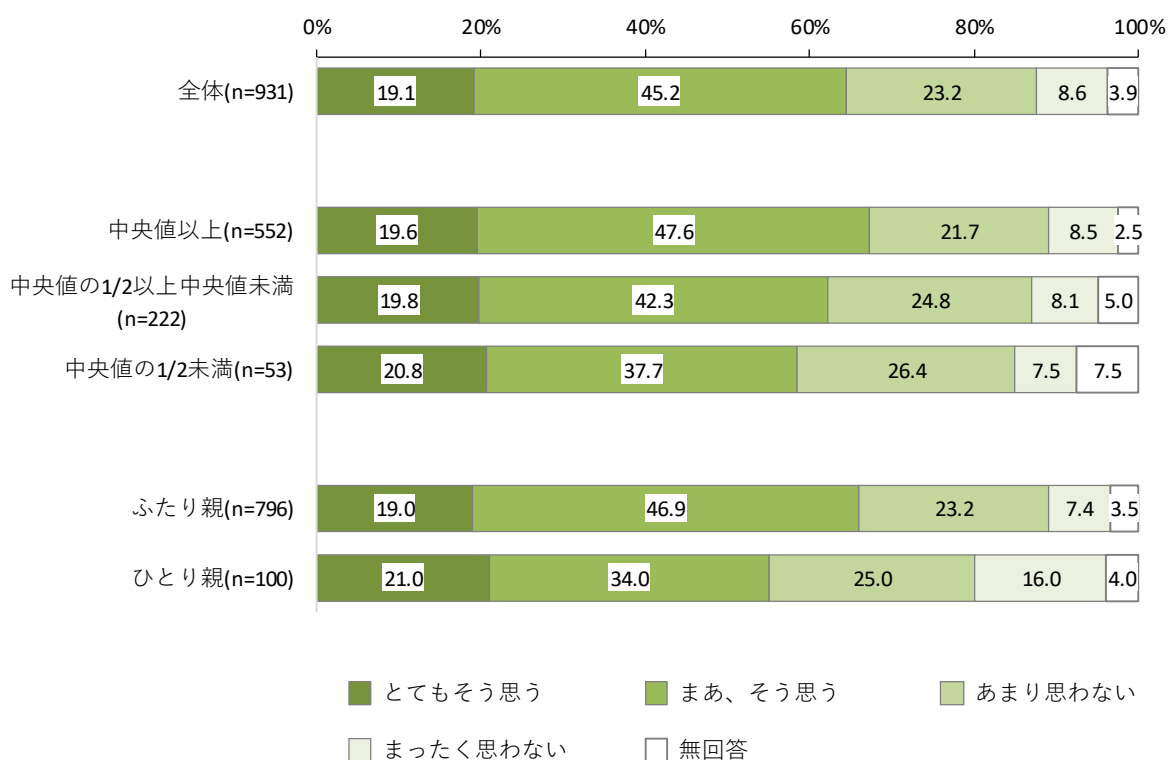
- 自分のことが好きかどうかについて、「とてもそう思う」が25.8%、「まあ、そう思う」が42.4%、「あまり思わない」が21.1%、「まったく思わない」が6.7%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が68.2%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が27.8%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「とてもそう思う」の割合が低く、「あまり思わない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 自分のことが好きかどうかについて、「とてもそう思う」が19.1%、「まあ、そう思う」が45.2%、「あまり思わない」が23.2%、「まったく思わない」が8.6%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が64.3%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が31.8%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「まあ、そう思う」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「まあ、そう思う」の割合が低く、「まったく思わない」の割合が高くなっています。

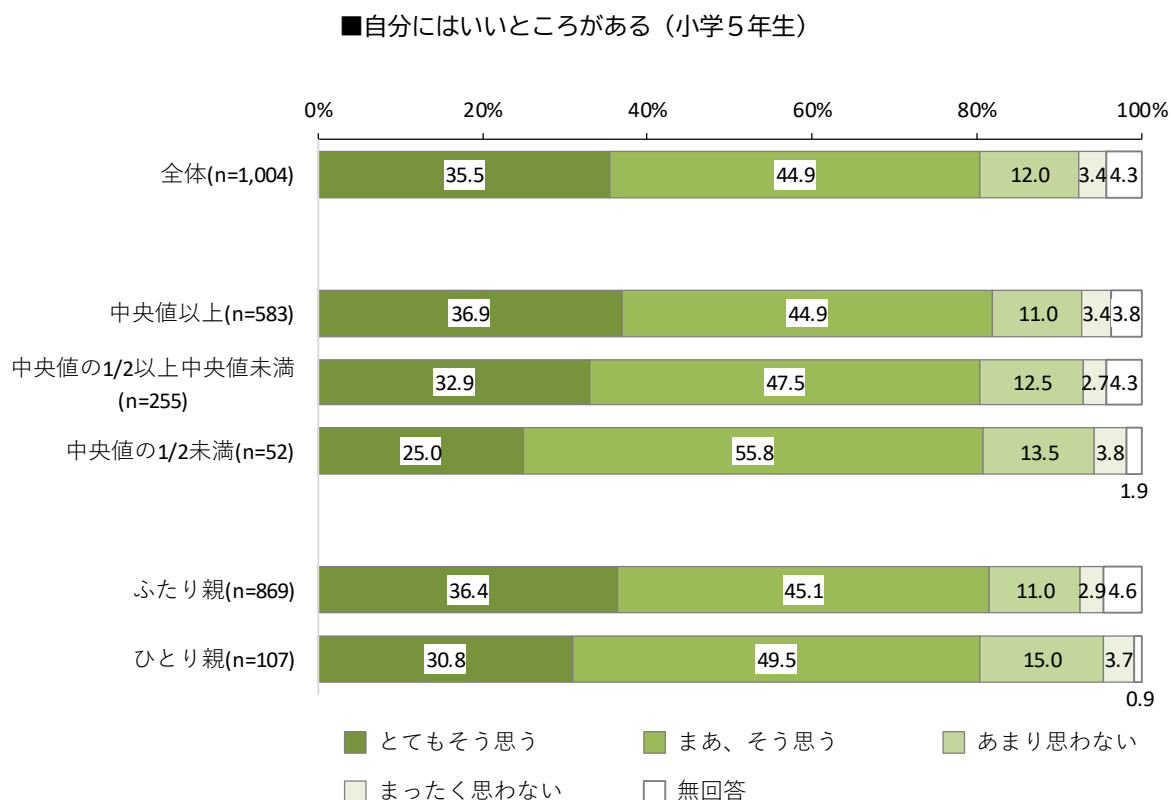
■自分のことが好きだ（中学2年生）



②自分にはいいところがある

【小学5年生】

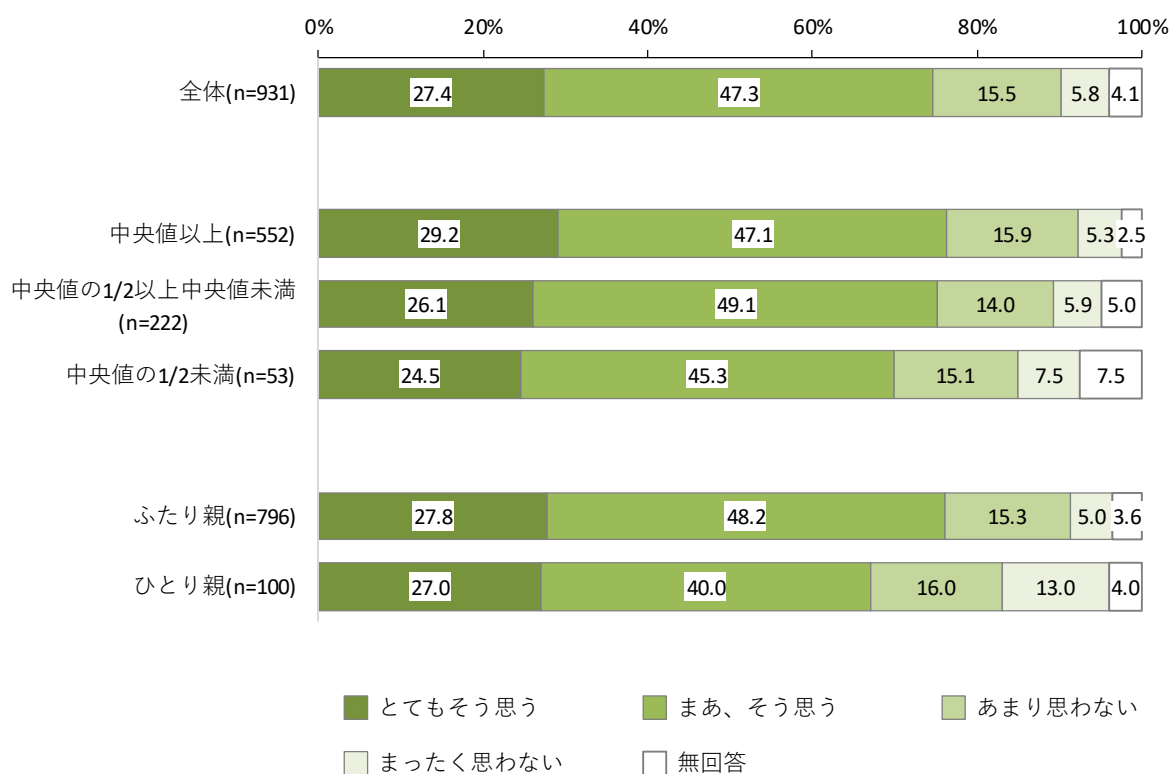
- 自分にはいいところがあると思うかどうかについて、「とてもそう思う」が35.5%、「まあ、そう思う」が44.9%、「あまり思わない」が12.0%、「まったく思わない」が3.4%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が80.4%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が15.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど「とてもそう思う」の割合が低く、「まあ、そう思う」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「とてもそう思う」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 自分にはいいところがあると思うかどうかについて、「とてもそう思う」が27.4%、「まあ、そう思う」が47.3%、「あまり思わない」が15.5%、「まったく思わない」が5.8%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が74.7%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が21.3%となっています。
- 世帯収入による大きな違いはみられません。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「まったく思わない」の割合が高く、「まあ、そう思う」の割合が低くなっています。

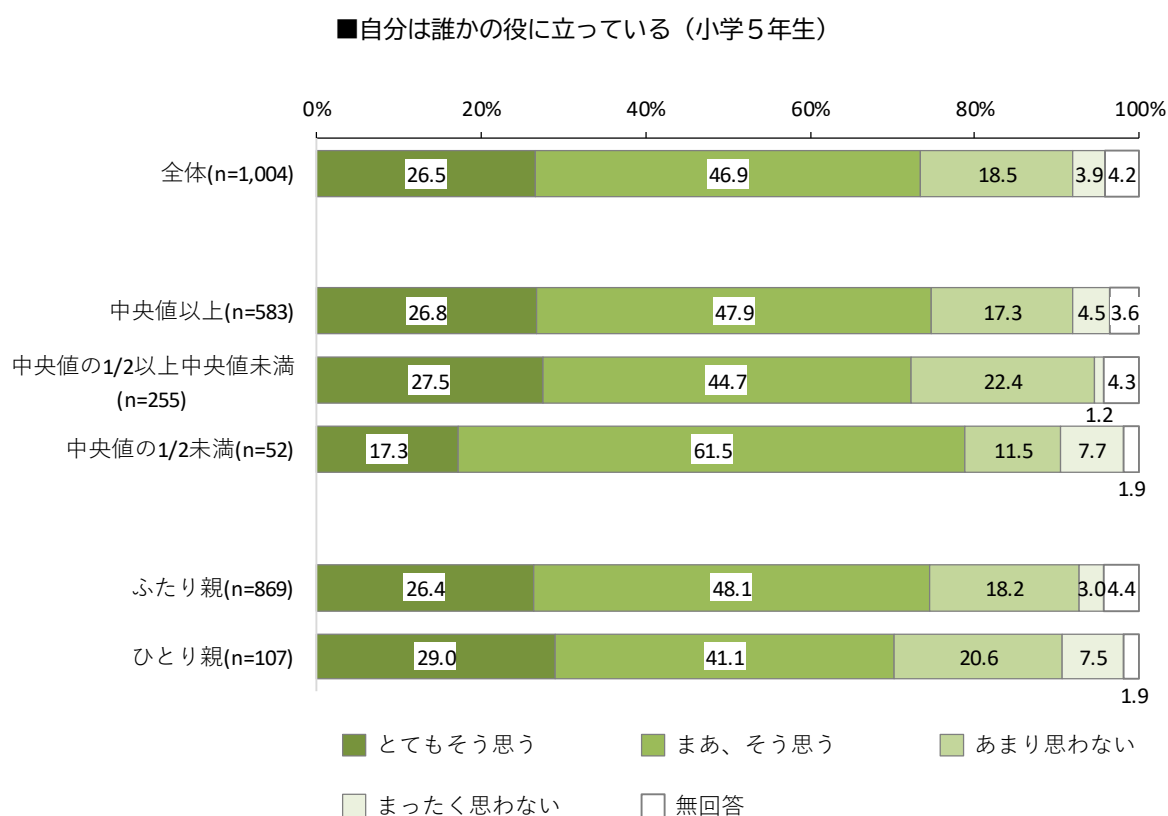
■自分にはいいところがある（中学2年生）



③自分は誰かの役に立っている

【小学5年生】

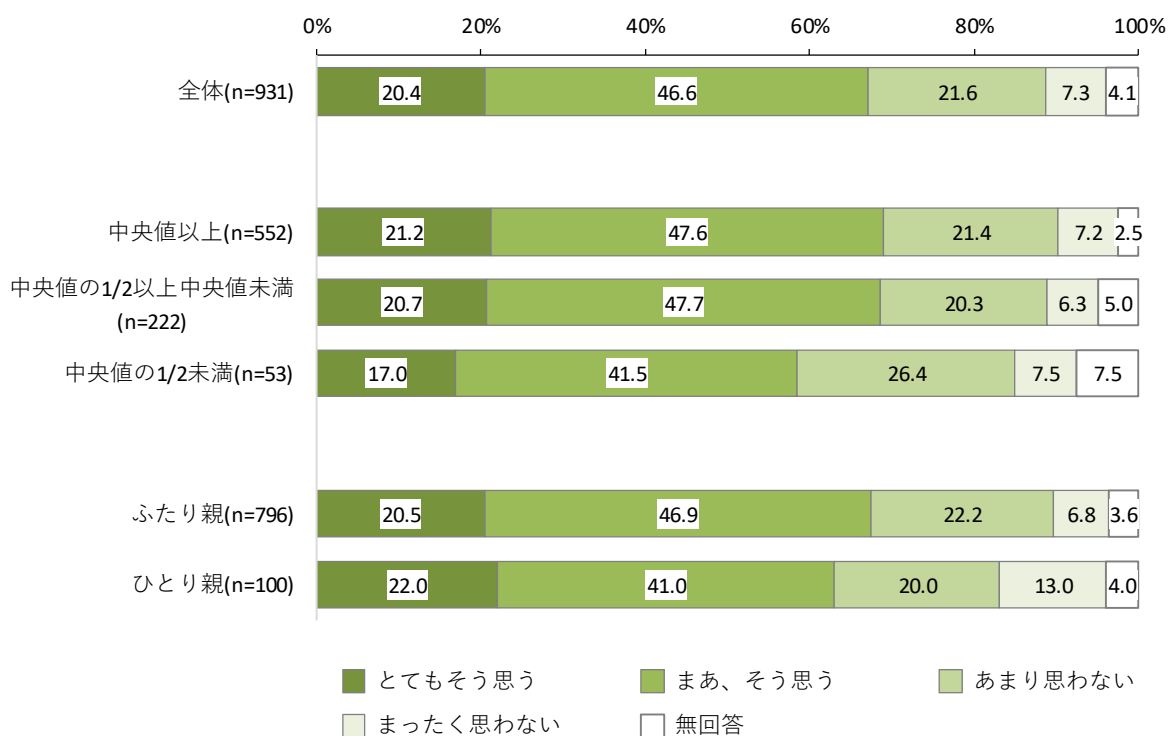
- 自分は誰かの役に立っていると思うかどうかについて、「とてもそう思う」が26.5%、「まあ、そう思う」が46.9%、「あまり思わない」が18.5%、「まったく思わない」が3.9%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が73.4%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が22.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「とてもそう思う」の割合が低く、「まあ、そう思う」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「まあ、そう思う」の割合が低くなっています。



【中学2年生】

- 自分は誰かの役に立っていると思うかどうかについて、「とてもそう思う」が20.4%、「まあ、そう思う」が46.6%、「あまり思わない」が21.6%、「まったく思わない」が7.3%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が67.0%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が28.9%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「まあ、そう思う」の割合が低く、「あまり思わない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「まったく思わない」の割合が高くなっています。

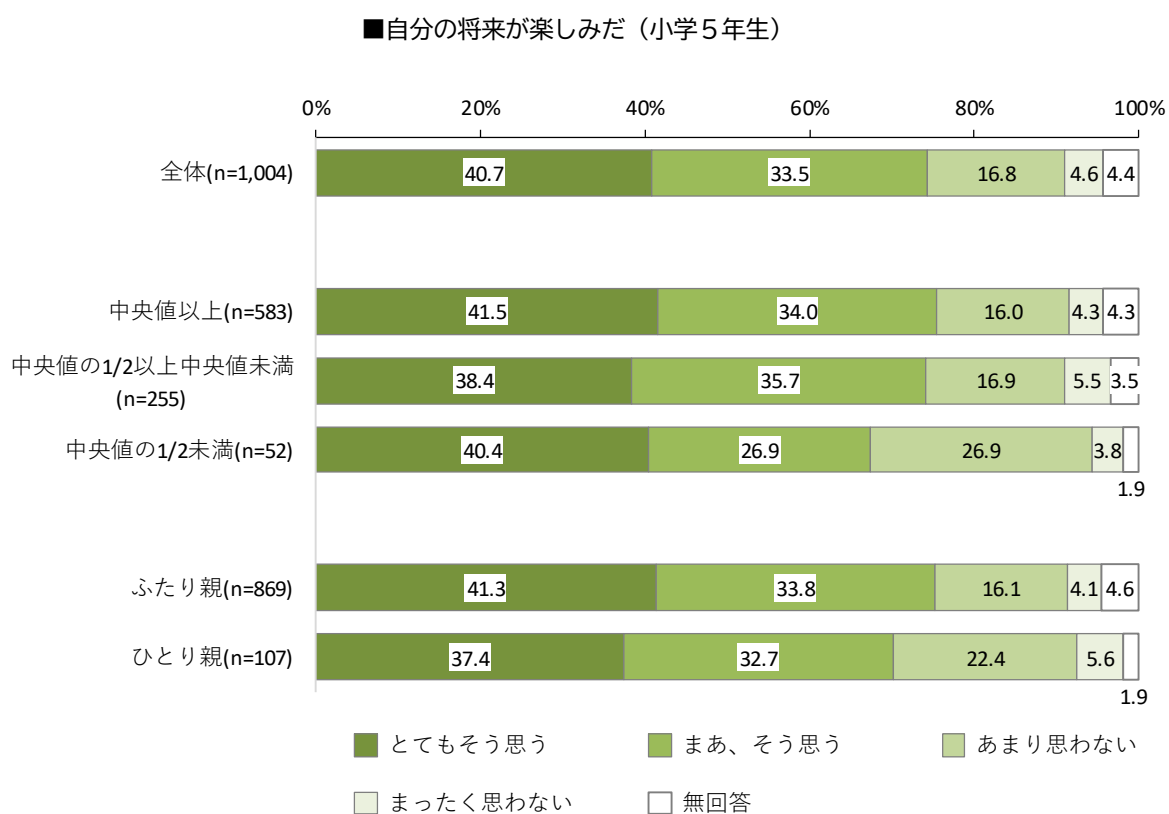
■自分は誰かの役に立っている（中学2年生）



④自分の将来が楽しみだ

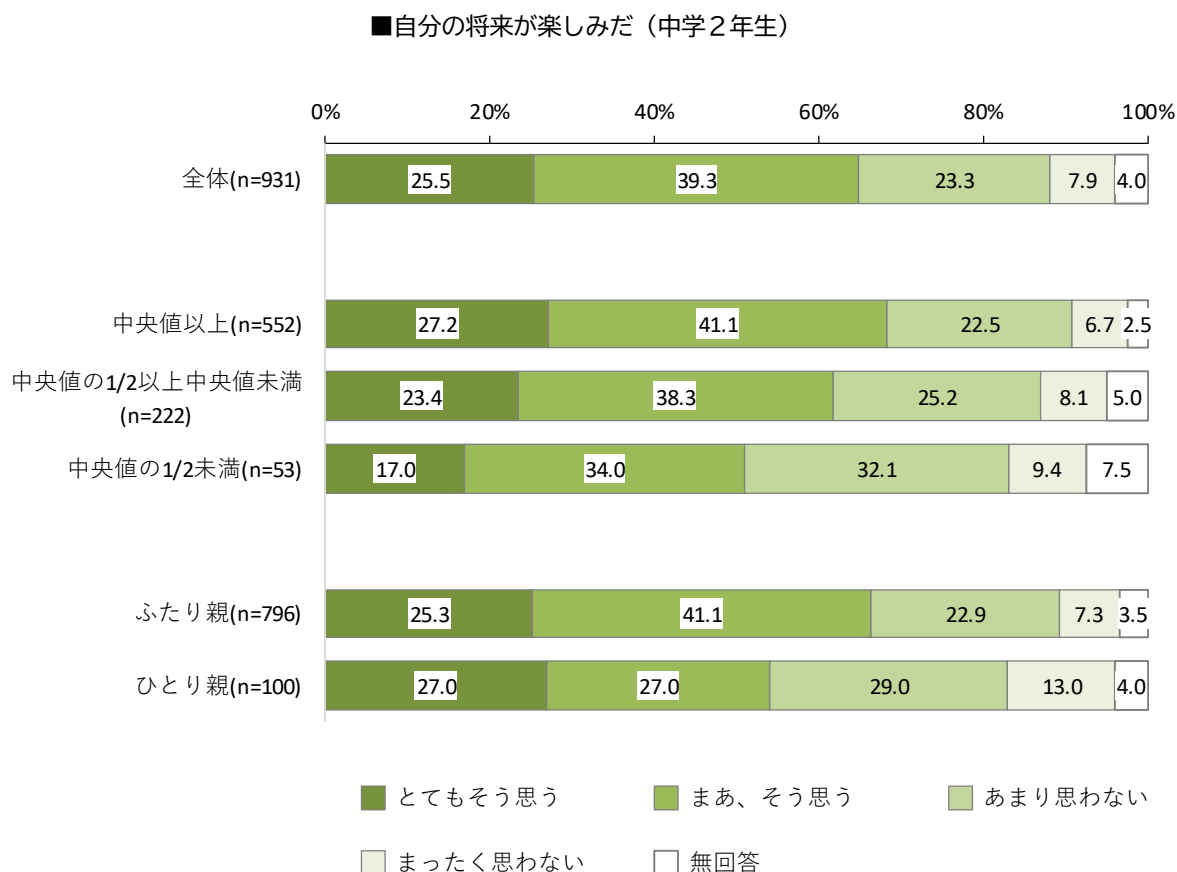
【小学5年生】

- 自分の将来が楽しみかどうかについて、「とてもそう思う」が40.7%、「まあ、そう思う」が33.5%、「あまり思わない」が16.8%、「まったく思わない」が4.6%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が74.2%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が21.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「まあ、そう思う」の割合が低く、「あまり思わない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『思わない』の割合が高くなっています。



【中学2年生】

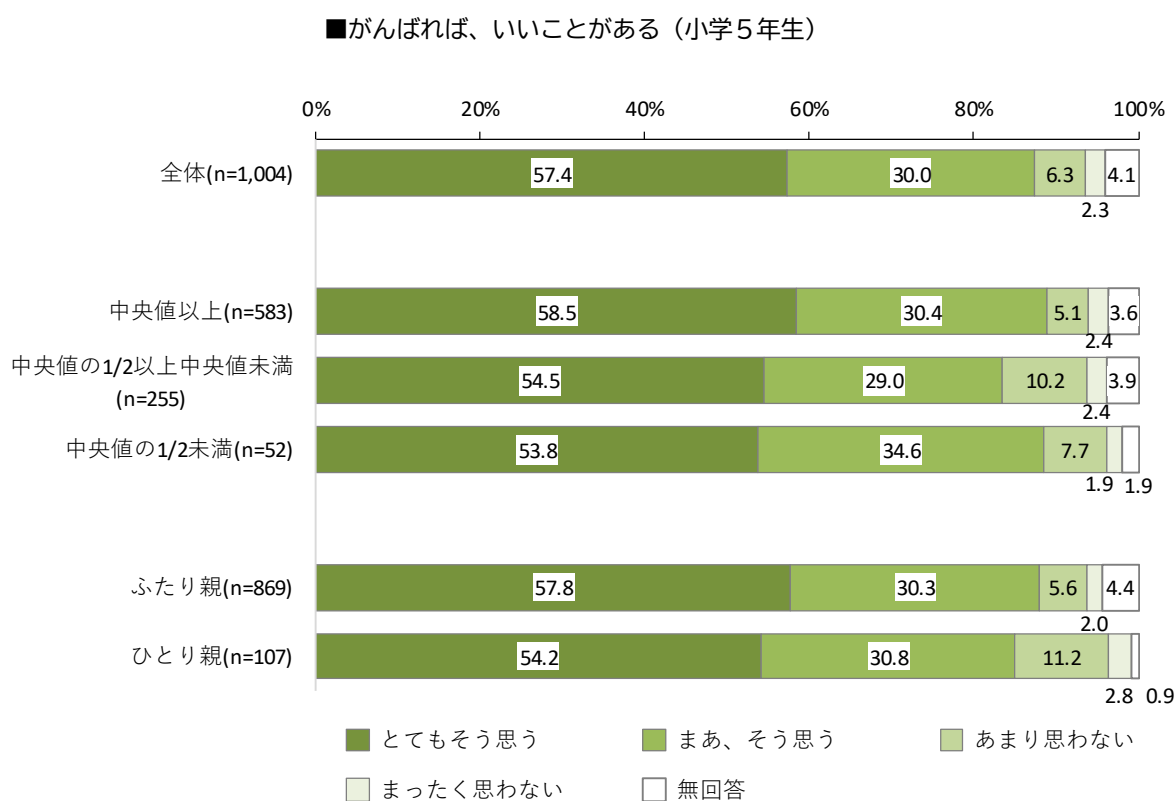
- 自分の将来が楽しみかどうかについて、「とてもそう思う」が25.5%、「まあ、そう思う」が39.3%、「あまり思わない」が23.3%、「まったく思わない」が7.9%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が64.8%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が31.2%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高いほど『そう思う』の割合が高く、世帯収入が低いほど『思わない』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて『そう思う』の割合が低く、『思わない』の割合が高くなっています。



⑤がんばれば、いいことがある

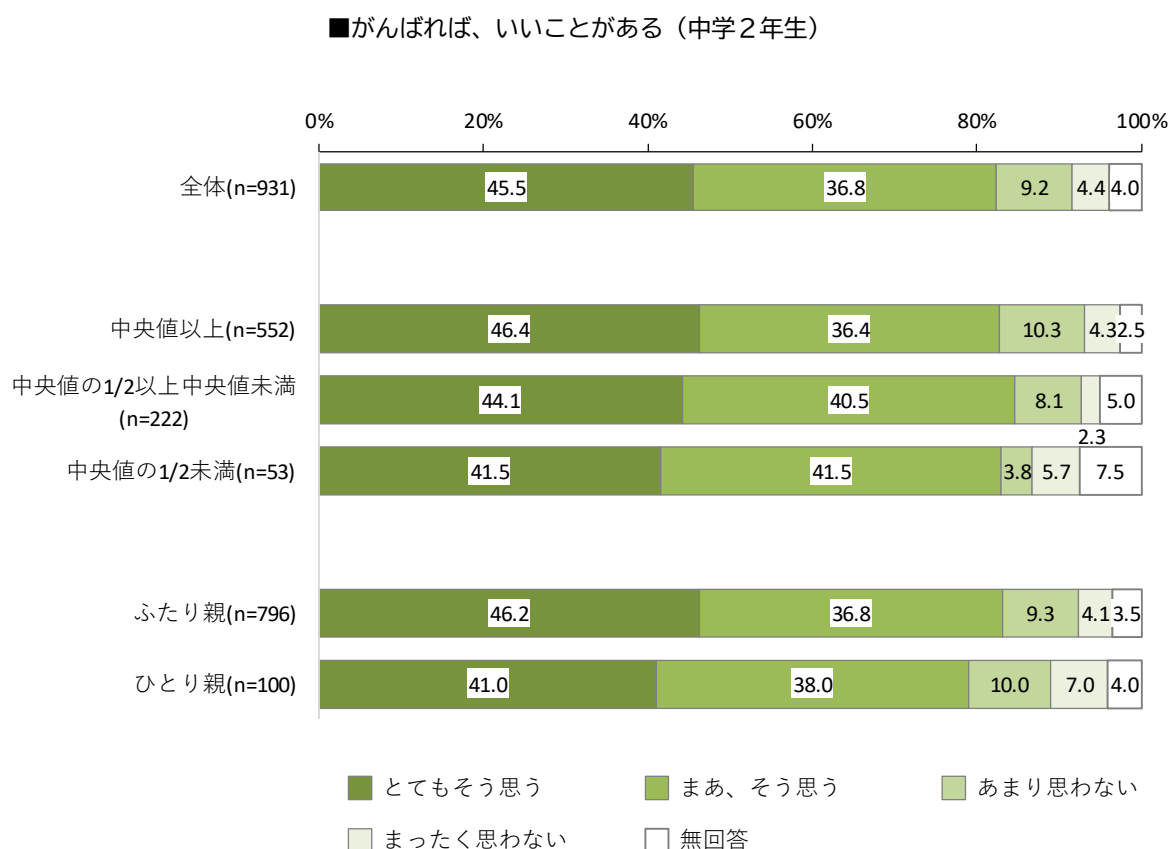
【小学5年生】

- がんばれば、いいことがあると思うかどうかについて、「とてもそう思う」が57.4%、「まあ、そう思う」が30.0%、「あまり思わない」が6.3%、「まったく思わない」が2.3%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が87.4%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が8.6%となっています。
- 世帯収入別による大きな違いはみられません。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「あまり思わない」の割合が高くなっています。



【中学2年生】

- がんばれば、いいことがあると思うかどうかについて、「とてもそう思う」が45.5%、「まあ、そう思う」が36.8%、「あまり思わない」が9.2%、「まったく思わない」が4.4%となっています。
- 「とてもそう思う」と「まあ、そう思う」を合わせた『そう思う』が82.3%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』が13.6%となっています。
- 世帯収入、世帯構成による大きな違いはみられません。



(2) 情緒の問題

情緒の問題に関して、以下の5つの項目の結果を足し合わせてスコアを算出しています。
(0～10点、得点が高いほど問題性が高いと考えられる。)

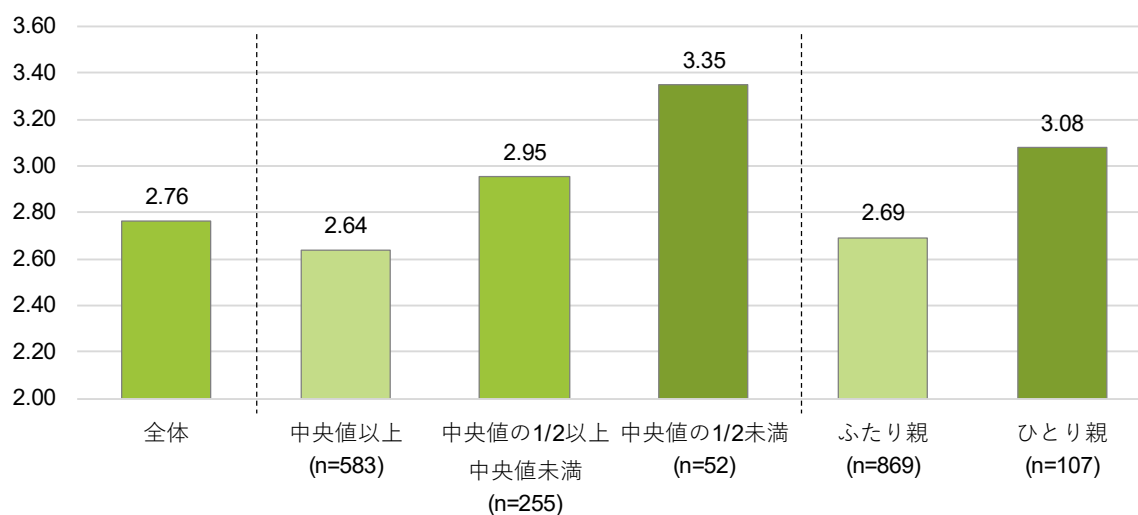
- ②私は、よく頭やおなかがいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- ⑤私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- ⑧私は、落ちこんでしずんでいたたり、なみだぐんだりすることがよくある。
- ⑩私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- ⑮私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

※あてはまる…2点、まああてはまる…1点、あてはまらない…0点

【小学5年生】

- 情緒の問題に関する項目のスコアは、全体で2.76点となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど高いスコアとなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて高いスコアとなっています。

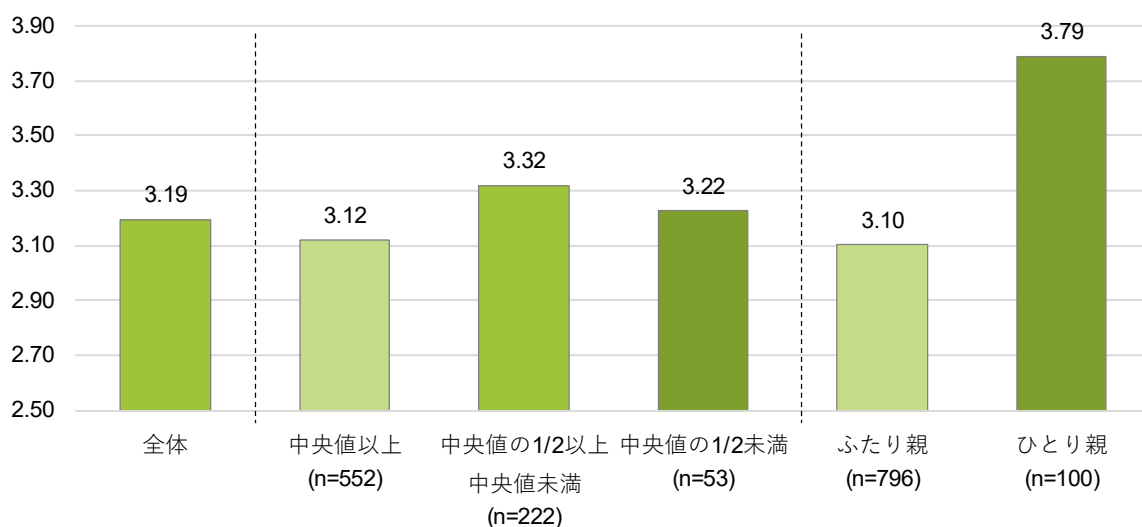
■情緒の問題に関するスコアの平均値（小学5年生）



【中学2年生】

- 情緒の問題に関する項目のスコアは、全体で 3.19 点となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の 1/2 以上中央値未満の世帯で最も高いスコアとなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて高いスコアとなっています。

■情緒の問題に関するスコアの平均値（中学2年生）



（参考）国調査（R3）の結果

	n	情緒の問題
全体	2, 687	3. 40
中央値以上	1, 309	3. 23
中央値の1/2以上中央値未満	954	3. 43
中央値の1/2未満	334	3. 84
ふたり親	2, 336	3. 36
ひとり親	335	3. 71

(3) 仲間関係の問題

仲間関係の問題に関して、以下の5つの項目の結果を足し合わせてスコアを算出しています。(0～10点、得点が高いほど問題性が高いと考えられる。)

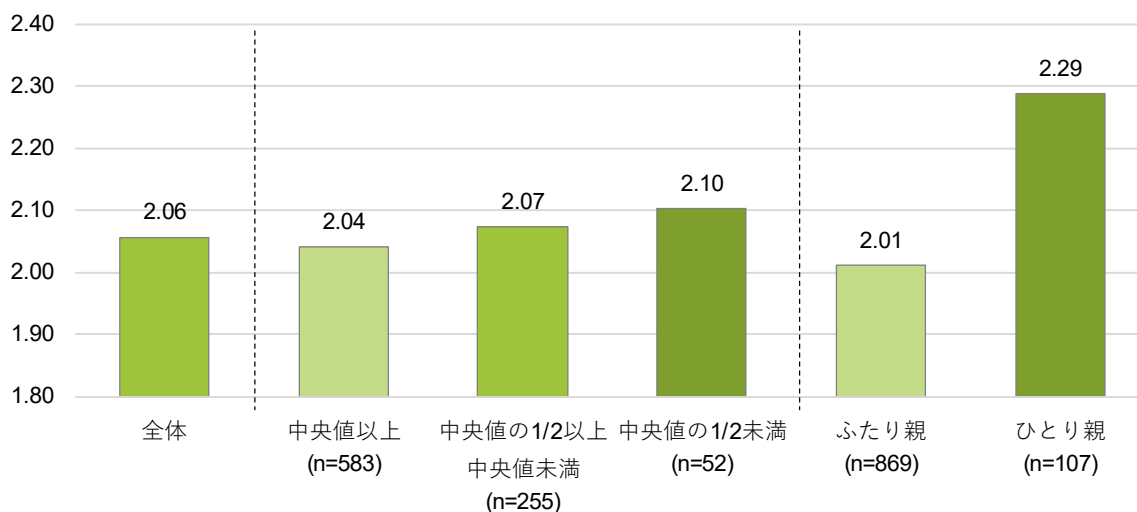
- ④私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことをさける。
- ⑦私は、仲の良い友達が、少なくとも一人はいる。
- ⑨私は、同じ学年の子どもからは、大体は好かれている。
- ⑫私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
- ⑭私は、他の子どもたちより、大人というほうがうまくいく。

※あてはまる…2点、まああてはまる…1点、あてはまらない…0点
(⑦、⑨の項目は逆転項目としてスコアを算出)

【小学5年生】

- 仲間関係の問題に関する項目のスコアは、全体で2.06点となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど高いスコアとなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて高いスコアとなっています。

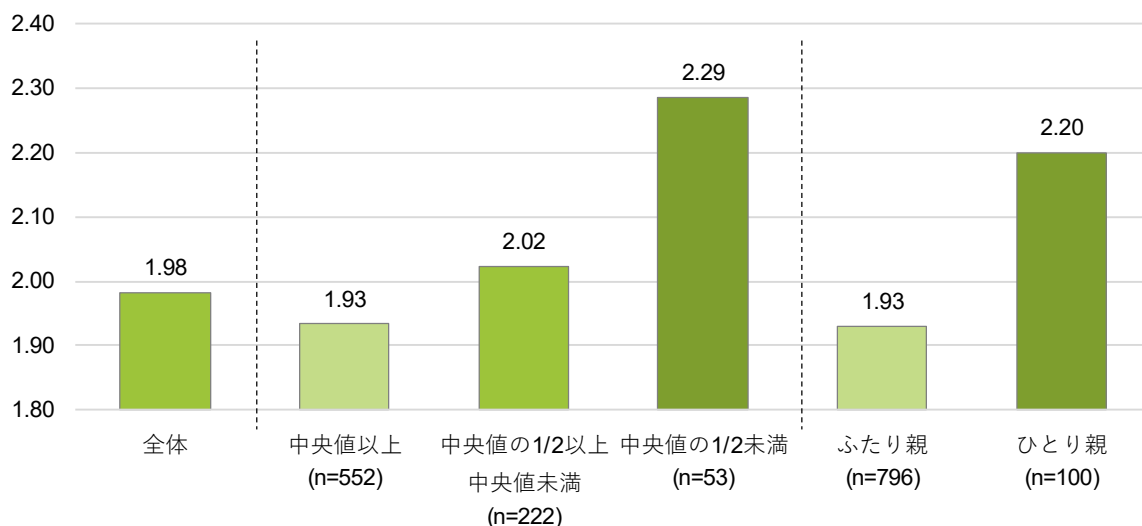
■仲間関係の問題に関するスコアの平均値（小学5年生）



【中学2年生】

- 仲間関係の問題に関する項目のスコアは、全体で 1.98 点となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど高いスコアとなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて高いスコアとなっています。

■仲間関係の問題に関するスコアの平均値（中学2年生）



（参考）国調査（R3）の結果

	n	仲間関係の問題
全体	2,686	2.06
中央値以上	1,309	1.90
中央値の1/2以上中央値未満	954	2.15
中央値の1/2未満	335	2.38
ふたり親	2,335	2.04
ひとり親	335	2.17

(4) 向社会性

向社会性に関して、以下の5つの項目の結果を足し合わせてスコアを算出しています。
(0～10点、得点が高いほど社会性が高いと考えられる。)

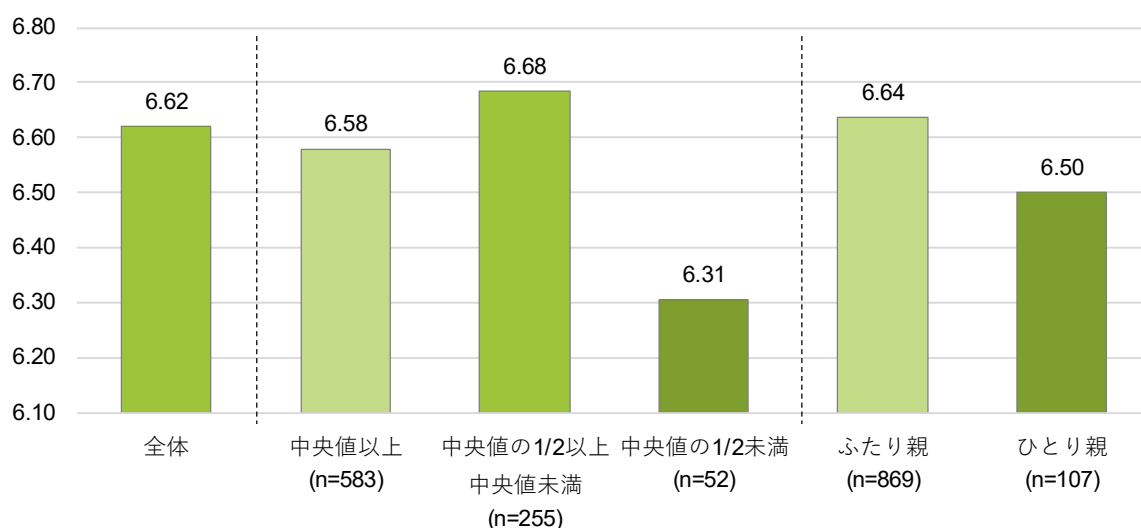
- ①私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
③私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
⑥私は、だれかが心をいためていたり、落ちこんでいたり、いやな思いをしているときなど、
すすんで助ける。
⑩私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
⑬私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子どもたちなど）。

※あてはまる…2点、まああてはまる…1点、あてはまらない…0点

【小学5年生】

- 向社会性に関する項目のスコアは、全体で6.62点となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2以上中央値未満の世帯で最もスコアが高く、中央値の1/2未満で最もスコアが低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて低いスコアとなっています。

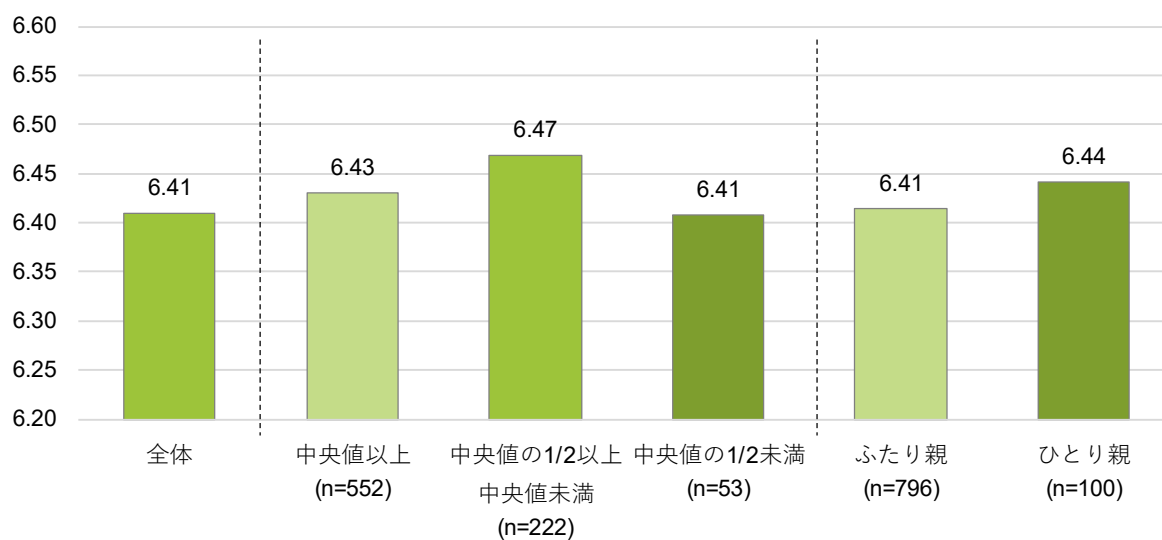
■向社会性に関するスコアの平均値（小学5年生）



【中学2年生】

- 向社会性に関する項目のスコアは、全体で 6.41 点となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の 1/2 以上中央値未満の世帯で最もスコアが高く、中央値の 1/2 未満で最もスコアが低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて高いスコアとなっています。

■向社会性に関するスコアの平均値（中学2年生）



（参考）国調査（R3）の結果

	n	向社会性
全体	2, 679	6. 05
中央値以上	1, 304	6. 08
中央値の1/2以上中央値未満	953	6. 02
中央値の1/2未満	333	5. 96
ふたり親	2, 327	6. 08
ひとり親	335	5. 90

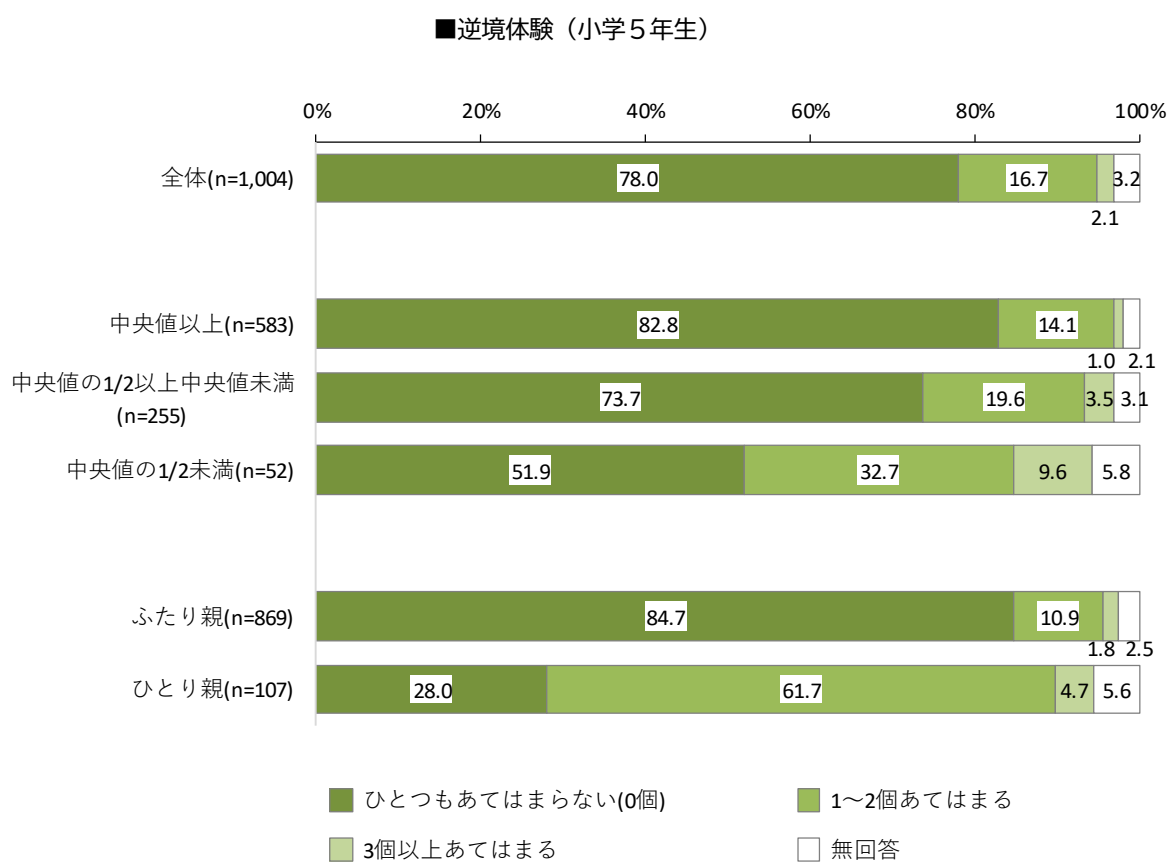
(5) 逆境体験

「逆境体験」について、以下の8項目について、あてはまる個数をうかがいました。

- 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられる、体をさわられていやな思いをする、といったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人または自殺しようとした人がいる

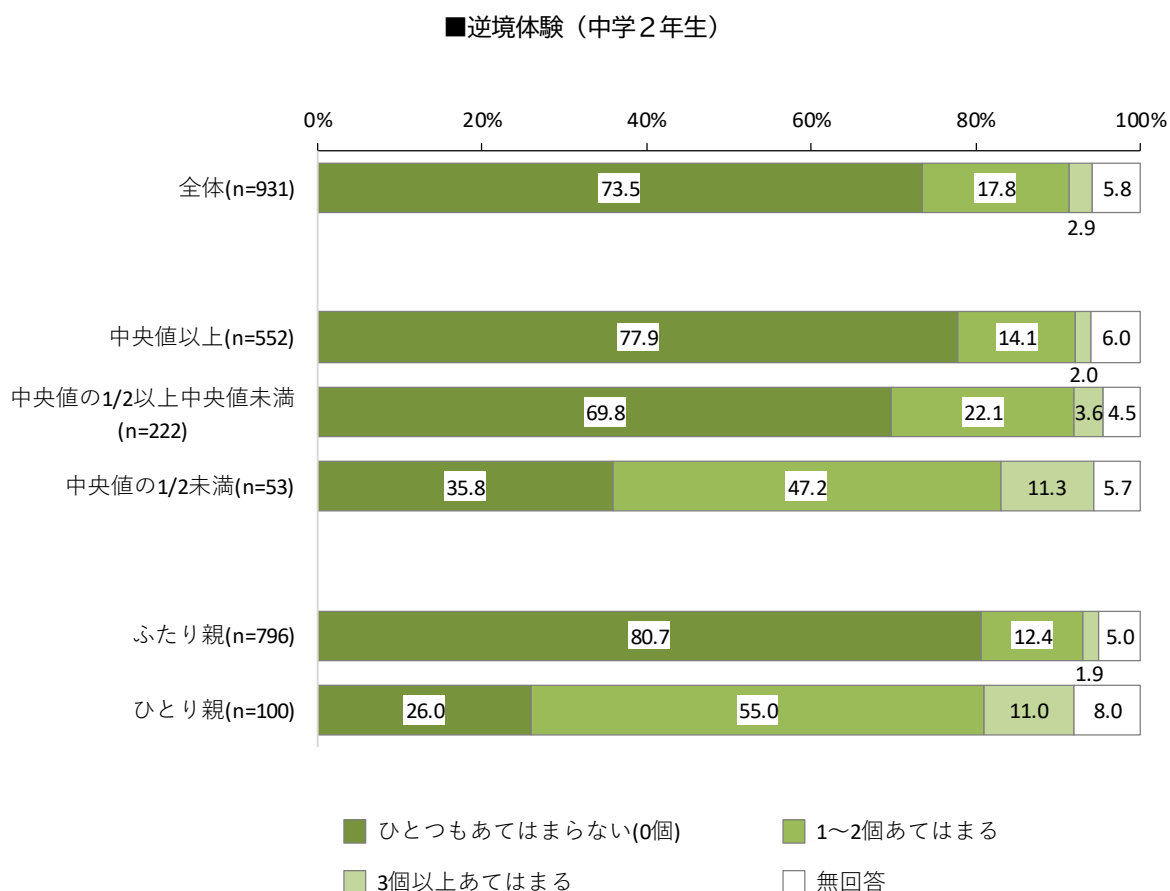
【小学5年生】

- 逆境体験に関する8つの項目のうち、「ひとつもあてはまらない」が78.0%、「1～2個あてはまる」が16.7%、「3個以上あてはまる」が2.1%となっています。
- 「1～2個あてはまる」と「3個以上あてはまる」を合わせた『あてはまる』は18.8%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高いほど「ひとつもあてはまらない」の割合が高く、世帯収入が低いほど『あてはまる』の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、『あてはまる』が66.4%と、ふたり親の12.7%と比べて高くなっています。



【中学2年生】

- 逆境体験に関する8つの項目のうち、「ひとつもあてはまらない」が73.5%、「1～2個あてはまる」が17.8%、「3個以上あてはまる」が2.9%となっています。
- 「1～2個あてはまる」と「3個以上あてはまる」を合わせた『あてはまる』は20.7%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が低いほど『あてはまる』の割合が高く、中央値の1/2未満の世帯では『あてはまる』が58.5%となっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、『あてはまる』が66.0%と、ふたり親の14.3%と比べて高くなっています。



(参考) 国調査 (R3) の結果

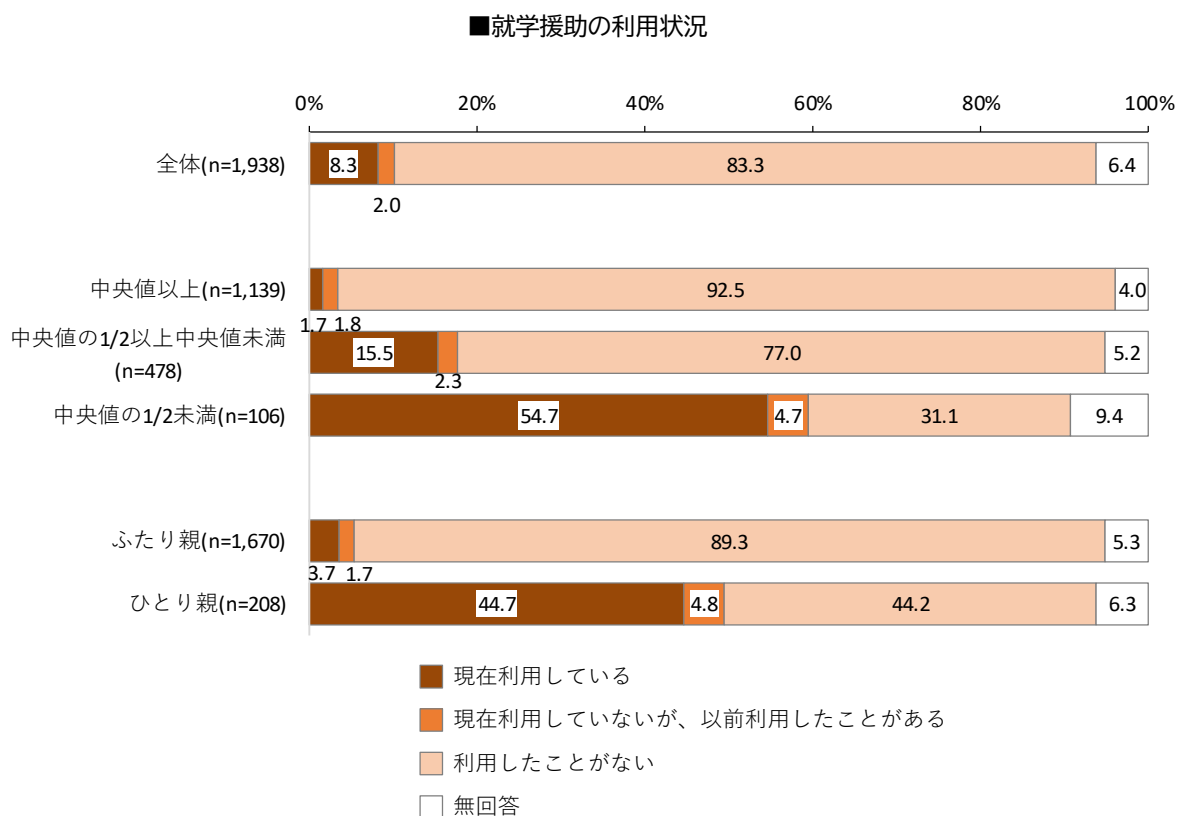
	n	ひとつもあてはまらない(0個)	1～2個あてはまる	3個以上あてはまる	無回答
全体	2,715	75.5	18.9	2.7	2.9
中央値以上	1,294	84.9	12.6	2.6	—
中央値の1/2以上中央値未満	934	77.6	19.9	2.5	—
中央値の1/2未満	319	50.2	44.8	5.0	—
ふたり親	2,294	85.6	12.1	6.5	—
ひとり親	281	23.5	70.1	6.4	—

3 支援制度の利用状況

3.1 保護者の利用状況

(1) 就学援助

- 就学援助の利用状況について、「現在利用している」が8.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.0%、「利用したことがない」が83.3%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、「現在利用している」が54.7%、「利用したことがない」が31.1%となっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、「現在利用している」が44.7%、「利用したことがない」が44.2%となっています。

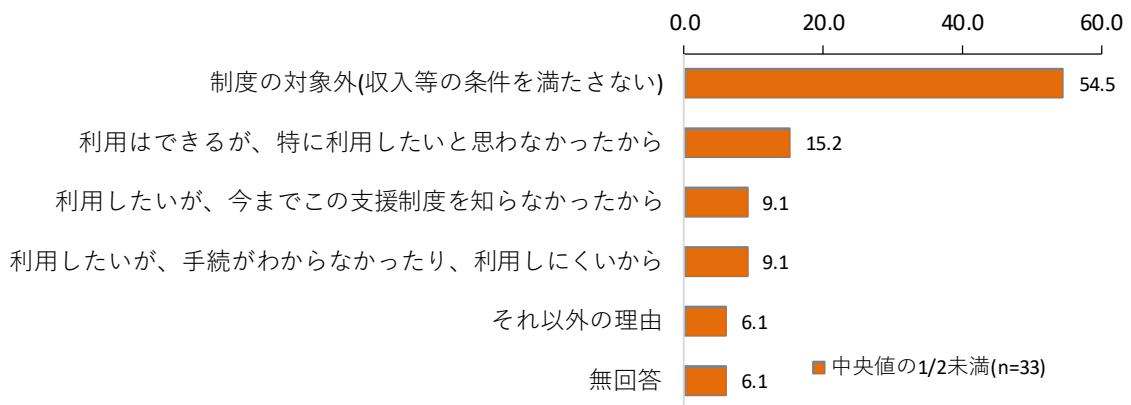


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2,715	12.6	5.2	78.4	3.8
中央値の1/2以上中央値未満	923	14.6	8.0	77.4	—
中央値の1/2未満	319	58.6	6.6	34.8	—
ひとり親	318	61.0	7.5	31.4	—

- 就学援助を「利用したことがない」と回答した人にその理由をうかがったところ、中央値の1/2未満の世帯において、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）」が54.5%で最も高く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が15.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」がそれぞれ9.1%と続いています。

■就学援助を利用したことがない理由

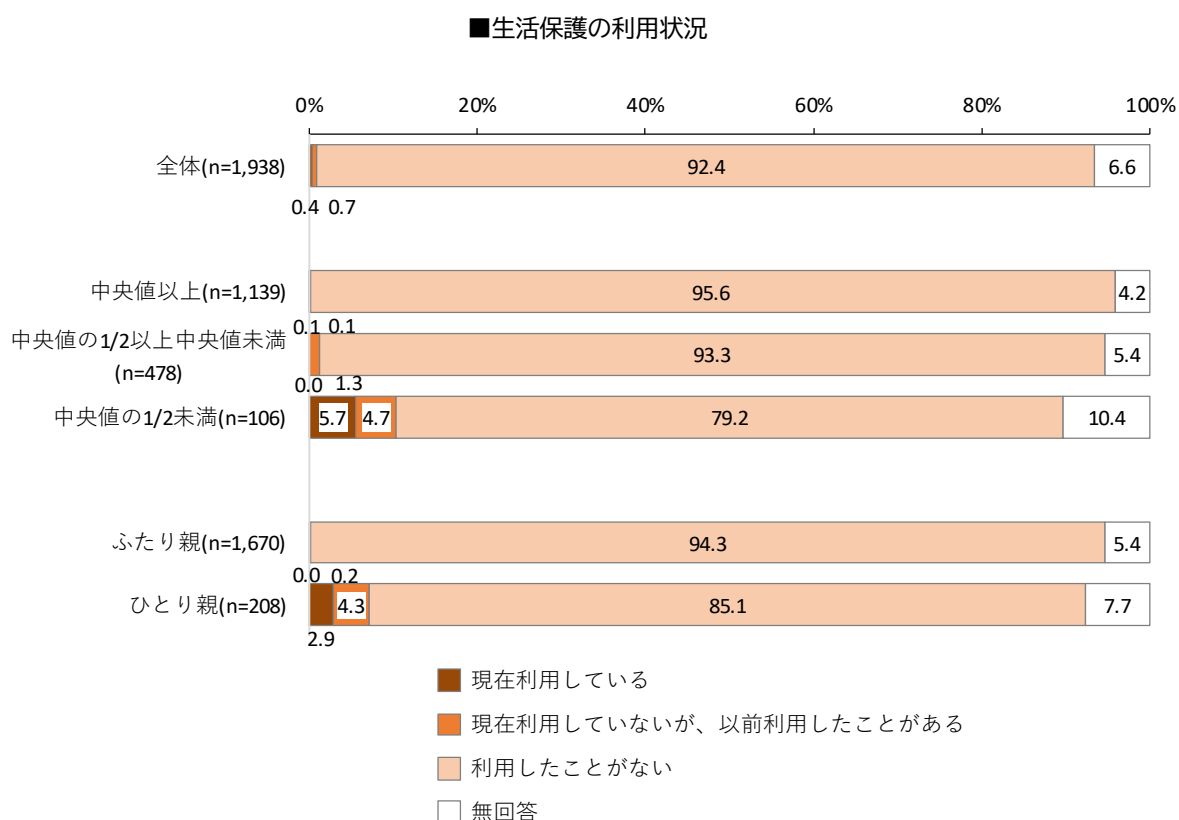


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
中央値の1/2未満	97	77.3	5.2	3.1	7.2	7.2

(2) 生活保護

- 生活保護の利用状況について、「現在利用している」が0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が92.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、「現在利用している」が5.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.7%となっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、「現在利用している」が2.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.3%となっています。

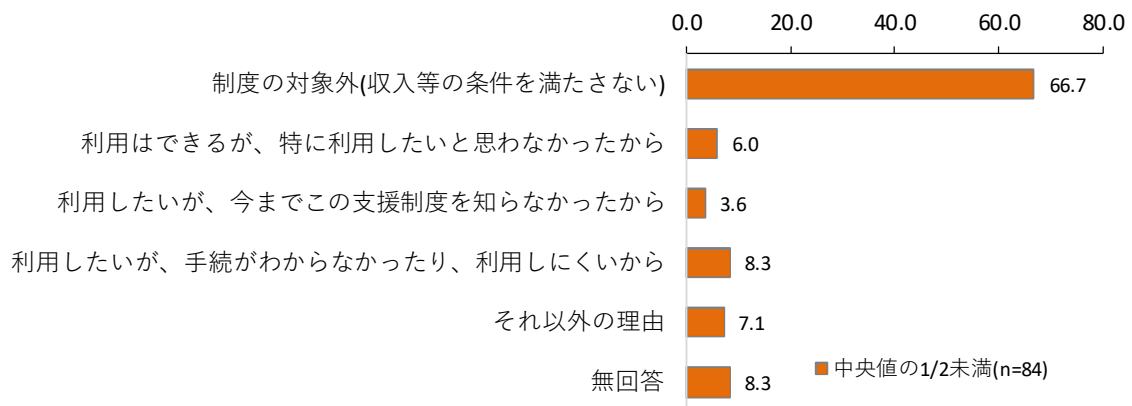


(参考) 国調査(R3)の結果

	n	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2,715	1.0	0.7	93.2	5.2
中央値の1/2以上中央値未満	905	0.7	1.1	98.2	—
中央値の1/2未満	300	6.0	2.7	91.3	—
ひとり親	301	7.3	3.7	89.0	—

- 生活保護を「利用したことがない」と回答した人にその理由をうかがったところ、中央値の1/2未満の世帯において、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）」が66.7%で最も高く、次いで「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が8.3%、「それ以外の理由」が7.1%と続いています。

■生活保護を利用したことがない理由

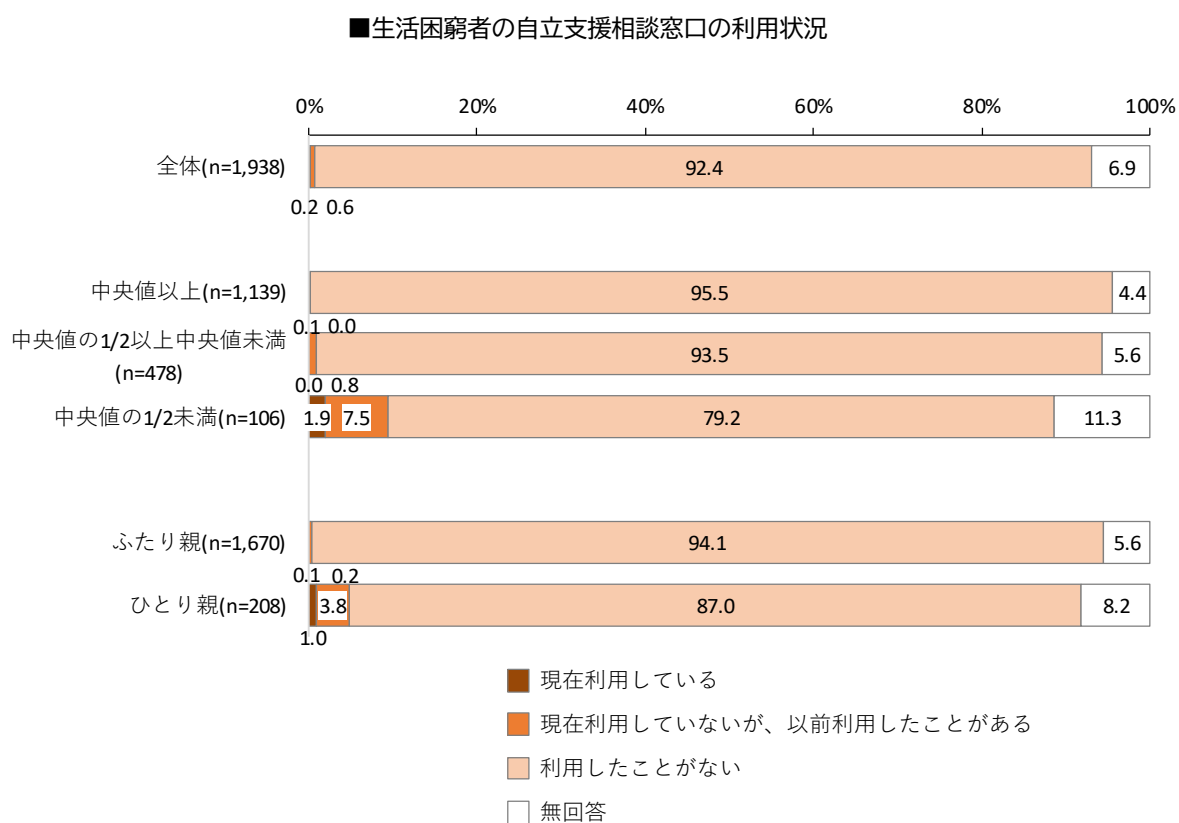


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
中央値の1/2未満	242	83.1	3.3	0.4	1.2	12.0

(3) 生活困窮者の自立支援相談窓口

- 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.6%、「利用したことがない」が92.4%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、「現在利用している」が1.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.5%となっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、「現在利用している」が1.0%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.8%となっています。

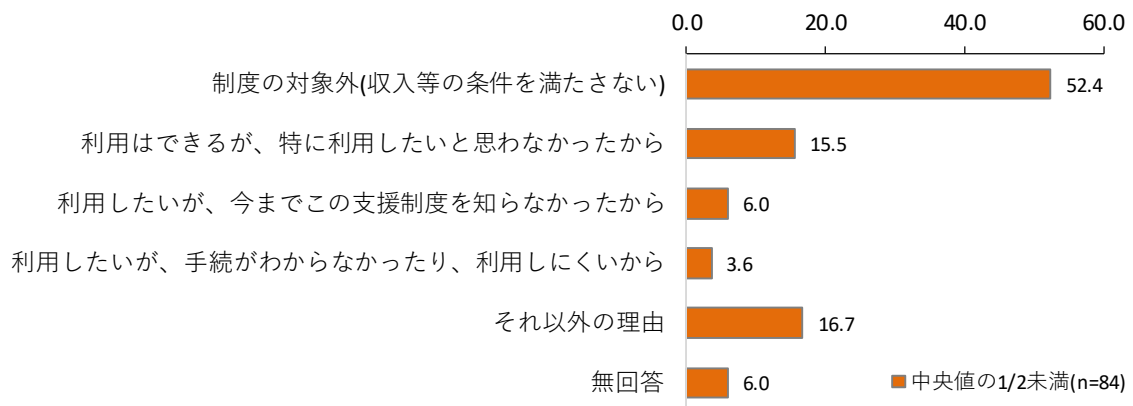


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2,715	0.1	0.4	93.8	5.7
中央値の1/2以上中央値未満	901	0.0	0.6	99.4	—
中央値の1/2未満	291	1.0	1.7	97.3	—
ひとり親	291	0.7	2.4	96.9	—

- 生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した人にその理由をうかがったところ、中央値の1/2未満の世帯では、「制度の対象外」が52.4%で最も高く、次いで「それ以外の理由」が16.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が15.5%と続いています。

■生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由

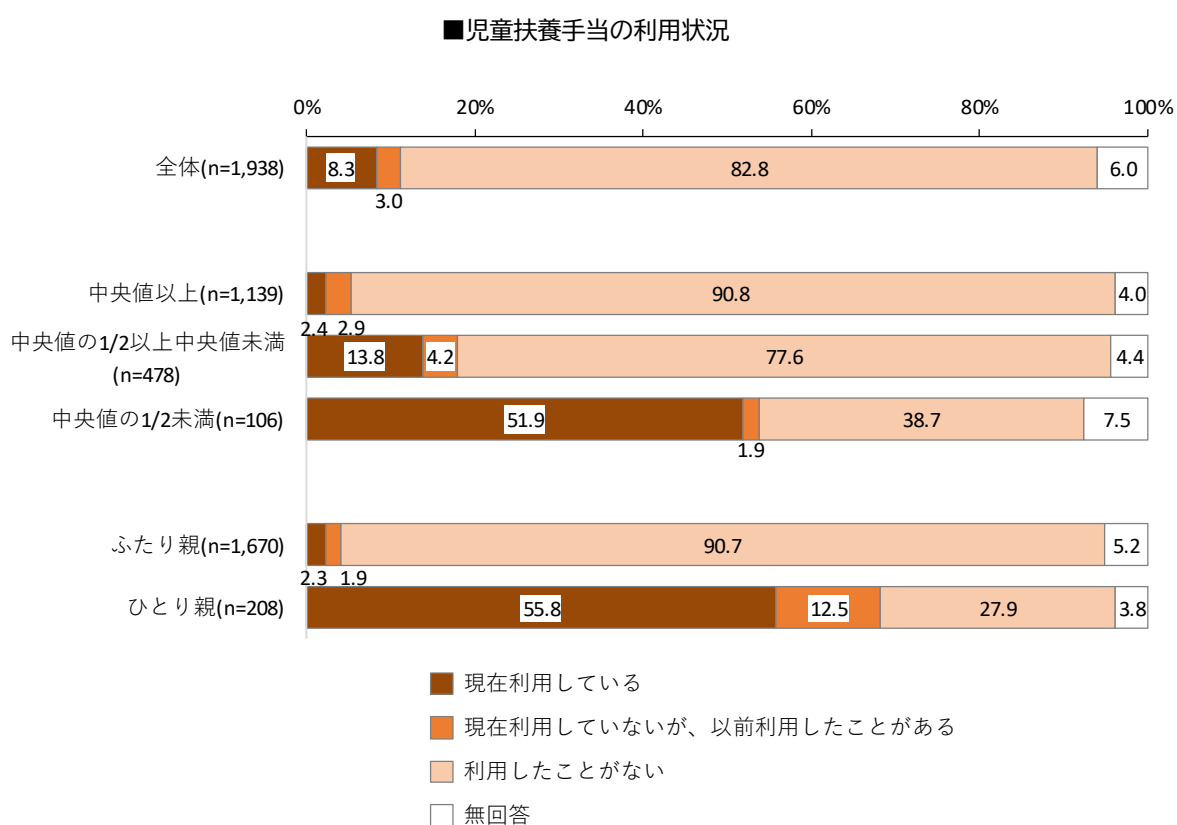


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
中央値の1/2未満	250	73.6	5.6	4.4	5.2	11.2

(4) 児童扶養手当

- 児童扶養手当の利用状況について、「現在利用している」が8.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.0%、「利用したことがない」が82.8%となっています。
- ひとり親世帯では、「現在利用している」が55.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が12.5%、「利用したことがない」が27.9%となっています。

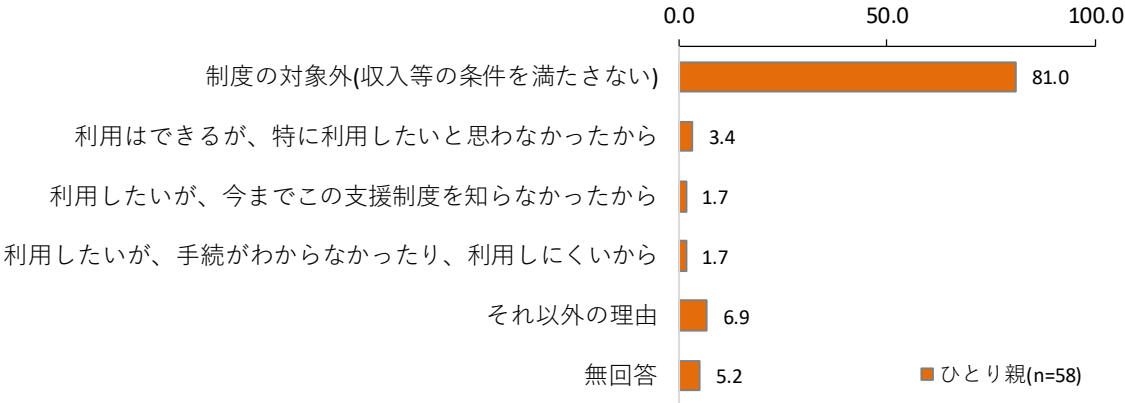


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2,715	11.9	2.6	81.7	3.8
中央値の1/2以上中央値未満	920	12.8	3.6	83.6	—
中央値の1/2未満	318	46.2	3.8	50.0	—
ひとり親	329	65.7	8.8	25.5	—

- 児童扶養手当を「利用したことがない」と回答した人にその理由をうかがったところ、ひとり親世帯では、「制度の対象外」が81.0%となっています。

■児童扶養手当を利用したことがない理由

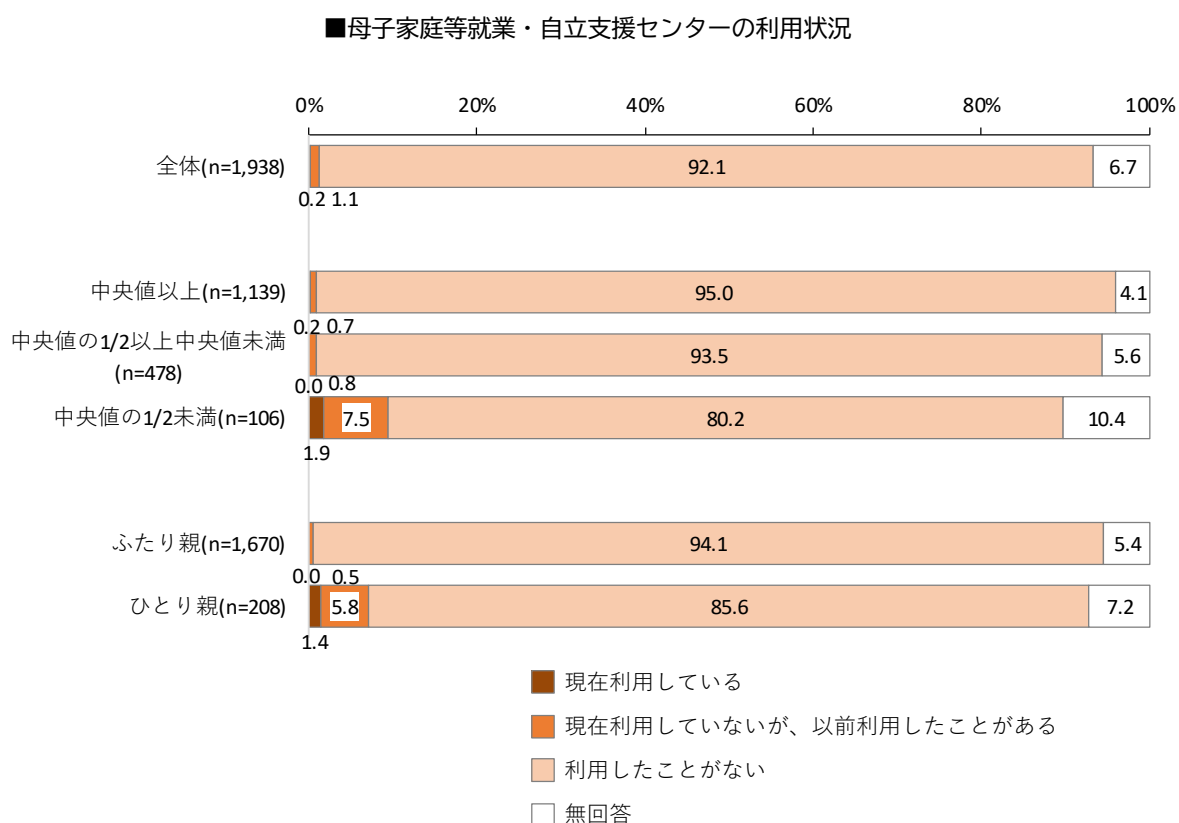


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
ひとり親	77	81.8	2.6	2.6	2.6	10.4

(5) 母子家庭等就業・自立支援センター

- 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.1%、「利用したことがない」が92.1%となっています。
- ひとり親世帯では、「現在利用している」が1.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.8%、「利用したことがない」が85.6%となっています。

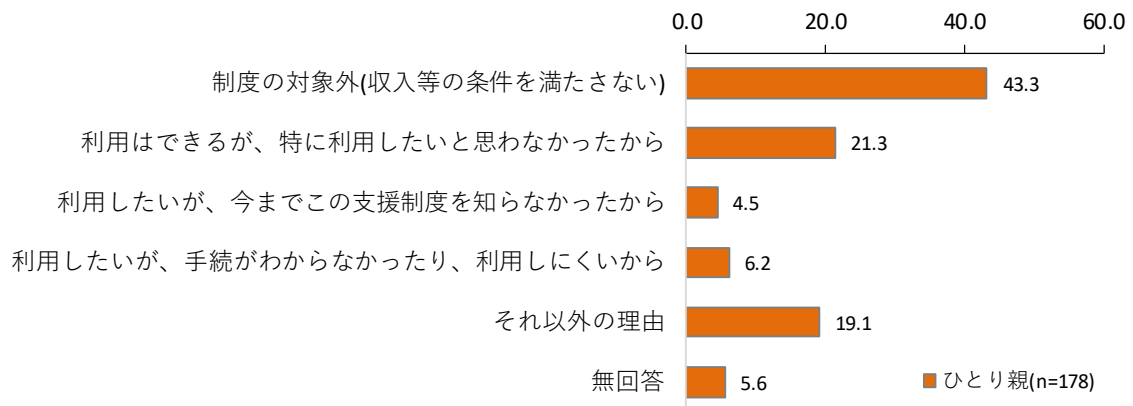


(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	現在利用して いる	現在利用して いないが、以 前利用したこ とがある	利用したこと がない	無回答
全体	2,715	0.3	1.1	92.9	5.7
中央値の1/2以上中央値未満	897	0.3	1.8	97.9	—
中央値の1/2未満	294	1.4	4.1	94.6	—
ひとり親	295	2.0	6.4	91.5	—

- 母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した人にその理由をうかがったところ、ひとり親世帯では、「制度の対象外」が43.3%で最も高く、次いで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が21.3%、「それ以外の理由」が19.1%と続いています。

■母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことがない理由



(参考) 国調査 (R3) の結果

	n	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
ひとり親	247	41.3	21.5	6.1	10.9	20.2

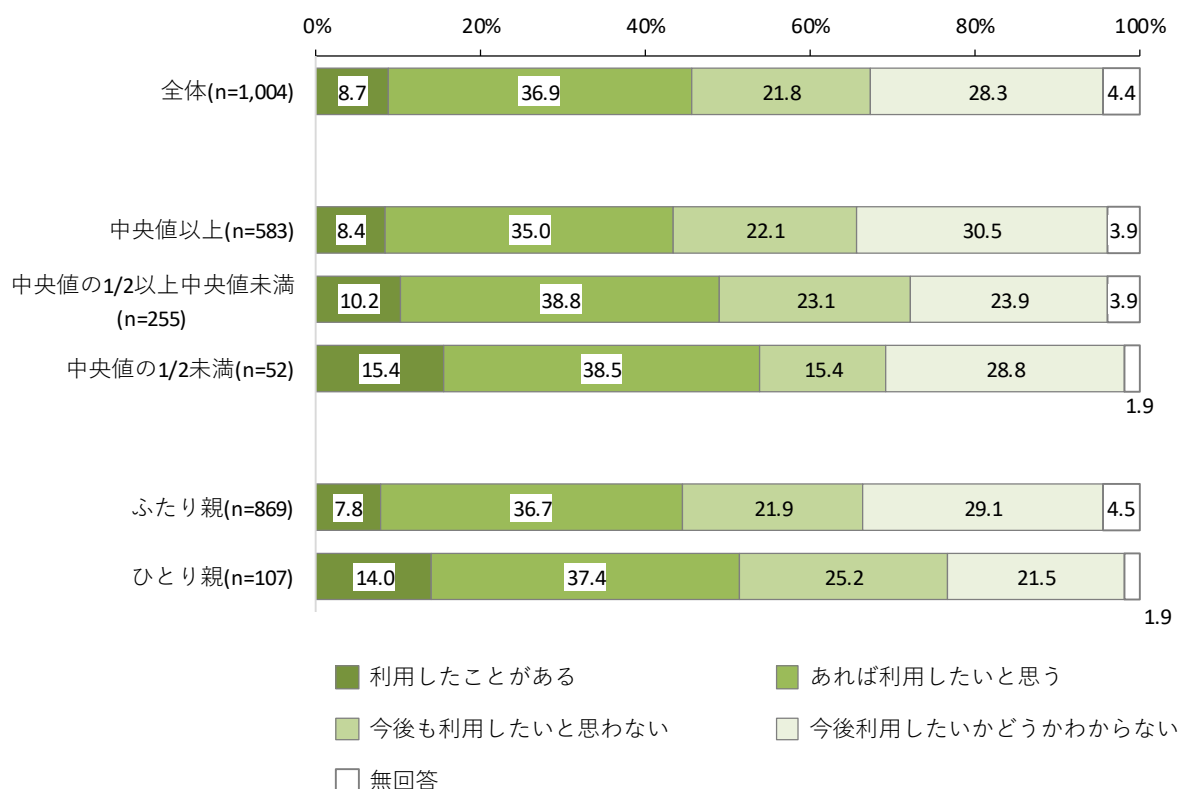
3.2 子どもの利用状況

(1) 晩ごはんを無料か安く食べることができる場所

【小学5年生】

- 晩ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用について、「利用したことがある」が8.7%、「あれば利用したいと思う」が36.9%、「今後も利用したいと思わない」が21.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が28.3%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2未満の世帯では、中央値の1/2以上の世帯に比べて「利用したことがある」の割合が高く、「今後も利用したいと思わない」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「利用したことがある」の割合が高く、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が低くなっています。

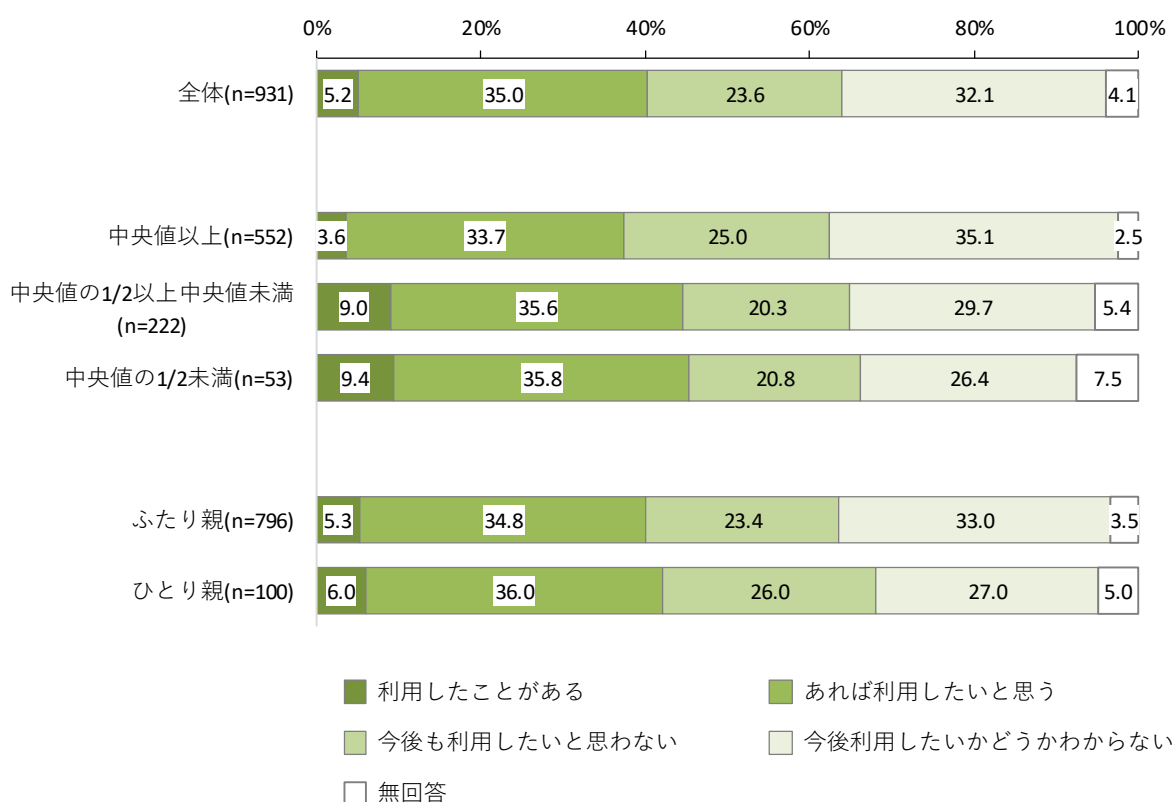
■晩ごはんを無料か安く食べることができる場所などの利用状況（小学5年生）



【中学2年生】

- 晩ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用について、「利用したことがある」が5.2%、「あれば利用したいと思う」が35.0%、「今後も利用したいと思わない」が23.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が32.1%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値未満の世帯では、中央値以上の世帯に比べて「利用したことがある」の割合が高く、「今後も利用したいと思わない」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「今後利用したいかどうか分からない」の割合が低くなっています。

■晩ごはんを無料か安く食べることができる場所などの利用状況（中学2年生）

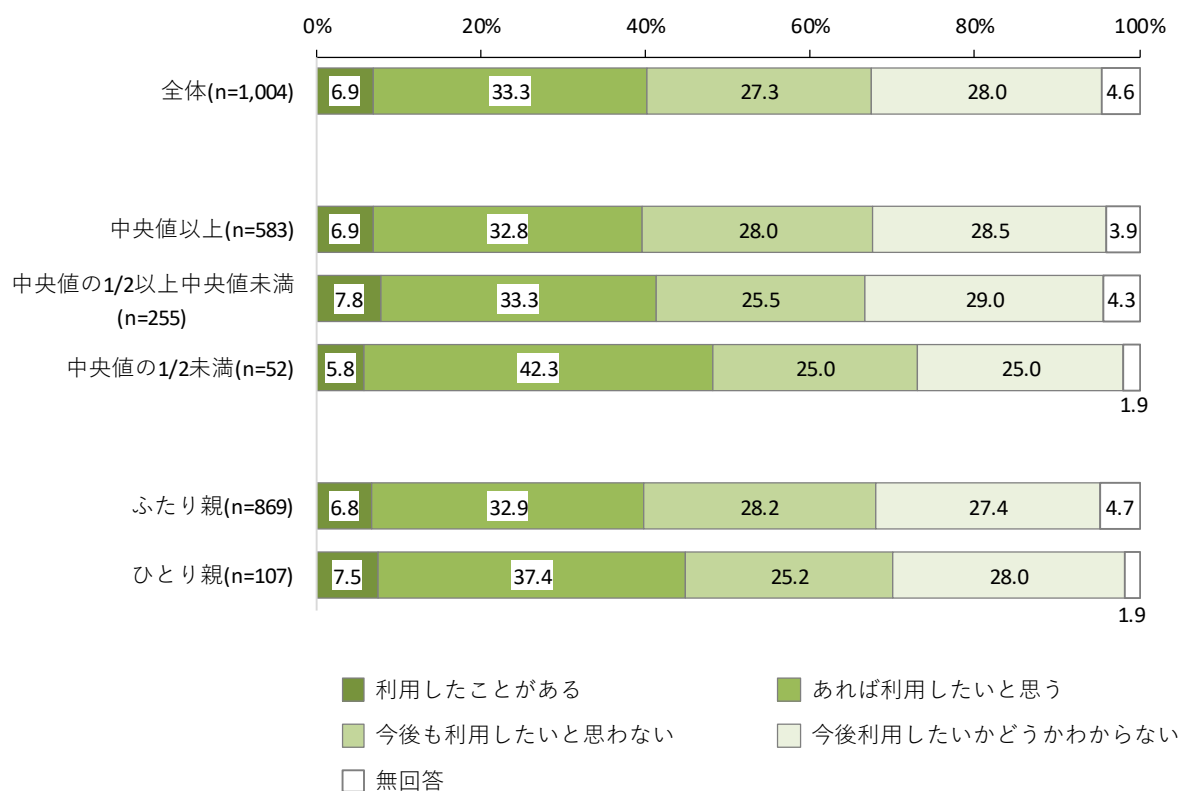


(2) 勉強を無料でみてる場所

【小学5年生】

- 勉強を無料でみてる場所の利用について、「利用したことがある」が 6.9%、「あれば利用したいと思う」が 33.3%、「今後も利用したいと思わない」が 27.3%、「今後利用したいかどうか分からない」が 28.0%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の 1/2 未満の世帯では、中央値の 1/2 以上の世帯に比べて「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。

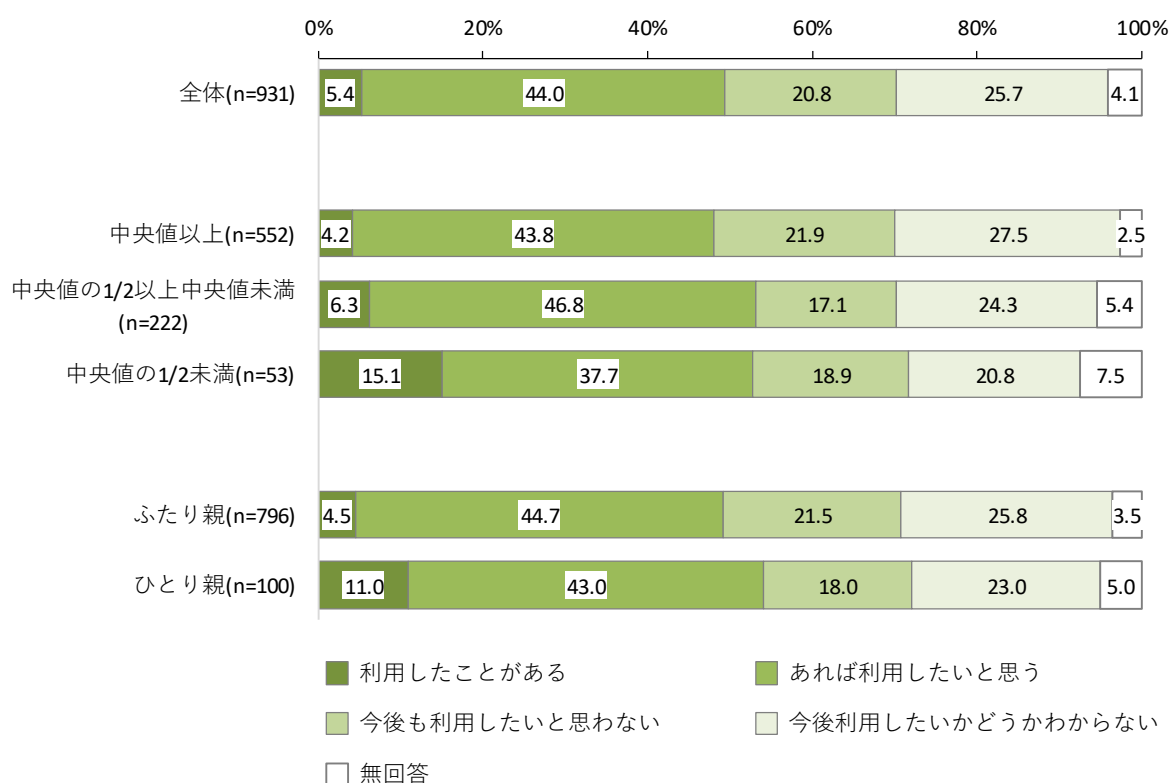
■勉強を無料でみてる場所の利用状況（小学5年生）



【中学2年生】

- 勉強を無料でみてくれる場所の利用について、「利用したことがある」が 5.4%、「あれば利用したいと思う」が 44.0%、「今後も利用したいと思わない」が 20.8%、「今後利用したいかどうかわからない」が 25.7%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の 1/2 未満の世帯では、中央値の 1/2 以上の世帯に比べて「利用したことがある」の割合が高く、「あれば利用したいと思う」の割合が低くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「利用したことがある」の割合が高くなっています。

■勉強を無料でみてくれる場所の利用状況（中学2年生）

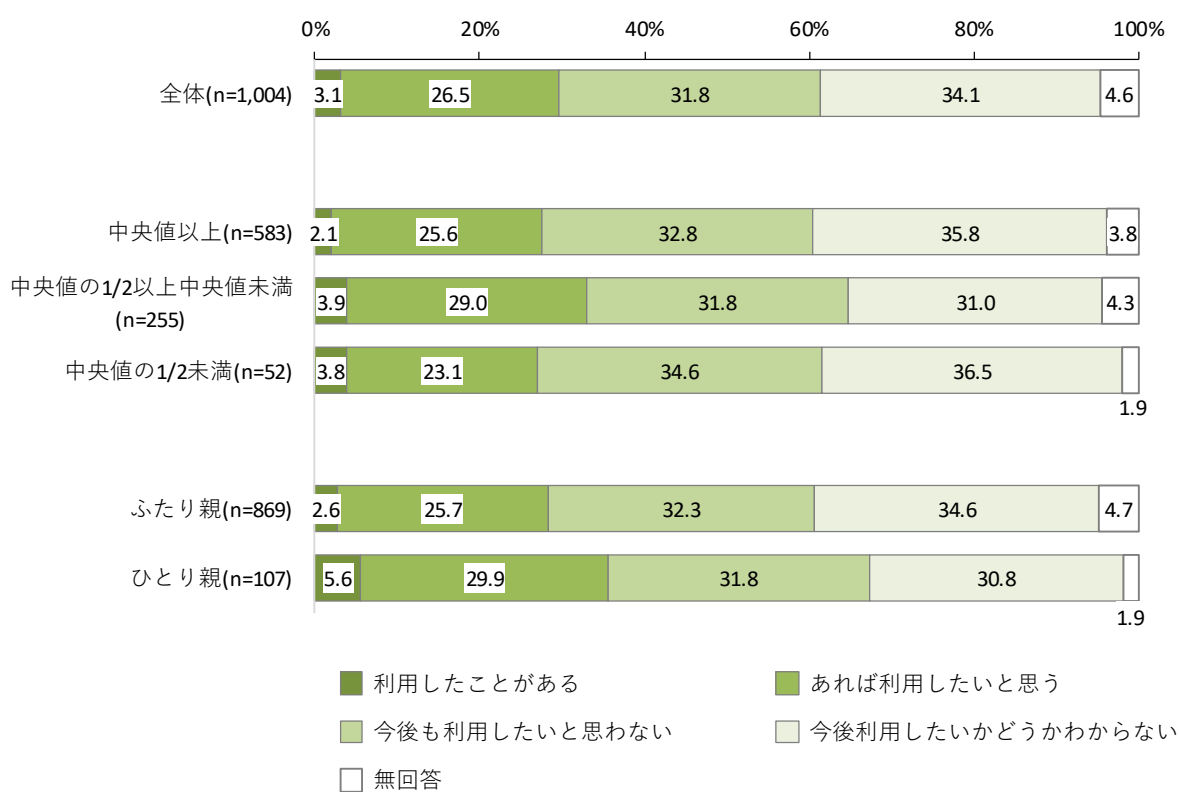


(3) 何でも相談できる場所

【小学5年生】

- 何でも相談できる場所の利用について、「利用したことがある」が3.1%、「あれば利用したいと思う」が26.5%、「今後も利用したいと思わない」が31.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が34.1%となっています。
- 世帯収入別にみると、中央値の1/2以上中央値未満の世帯では、他の世帯に比べて「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。
- 世帯構成による大きな違いはみられません。

■何でも相談できる場所の利用状況（小学5年生）



【中学2年生】

- 何でも相談できる場所の利用について、「利用したことがある」が2.8%、「あれば利用したいと思う」が24.2%、「今後も利用したいと思わない」が30.6%、「今後利用したいかどうか分からない」が38.3%となっています。
- 世帯収入別にみると、世帯収入が高いほど「今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。
- 世帯構成別にみると、ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「あれば利用したいと思う」の割合が高く、「今後も利用したいかどうか分からない」の割合が低くなっています。

■何でも相談できる場所の利用状況（中学2年生）

